

## 区立幼稚園の今後の対応について

### 1 パブリックコメント実施結果 別紙1のとおり

### 2 中間のまとめからの主な変更点

| 頁   | 該当箇所                      | 変更内容   |
|-----|---------------------------|--|
| 2   | はじめに                      | 新たに記載を追加   |
| 13  | 図14 預かり保育定期登録利用者の推移       | 登録者数及び登録率について、令和6年度見込みの数値を実数に変更                        |
| 25  | 5 今後の対応<br>(2) 学級編制基準の見直し | 預かり保育（定期利用）非拡充園について、新たな学級編制基準の適用時期を、令和9年度募集分からとすることに変更 |
| 25  | 5 今後の対応<br>(6) 弁当給食の本格実施  | 弁当持参が必要な場合を、「アレルギーや宗教上等の理由から」に変更                       |
| 26  | 5 今後の対応<br>(7) 情報発信の強化    | 今後の対応策の一つとして、「情報発信の強化」を新たに追加                           |
| 27～ | 資料編                       | パブリックコメント実施結果など記載内容を追加                                 |

### 3 区立幼稚園の今後の対応（案） 別紙2のとおり

### 4 今後の予定

令和6年11月上旬  
 令和7年4月

令和7年度入園児募集  
 預かり保育（定期利用）の全園実施、  
 週5回弁当給食の本格実施

## 『区立幼稚園の今後の対応 中間のまとめ』

## パブリックコメント実施結果

|                                  |   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
|----------------------------------|---|----------------|----|---------------|------|---------------------|----|----------------------------------|----|---------------------|-----|--------------|-----|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|
| 意見受付期間                           | 令和6年4月26日（金） ～ 令和6年5月16日（木）   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| 意見受付場所                           | 区公式ホームページ上での受付のほか、各区民事務所・分室・地区センター、区政情報コーナー、生涯学習センター、各区立幼稚園、各子ども家庭支援センター、各児童館、台東保健所、浅草保健相談センター、各地域型保育園（小規模保育所）、認証保育所、学務課窓口において中間のまとめを閲覧、意見受付。   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| 意見受付件数                           | 250人、453件   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| 提出方法の内訳                          | 郵送0人（0件） ファクシミリ 0人（0件）<br>ホームページ 210人（388件） 持参 40人（65件）   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| 項目別件数                            | <p>【今後の対応】</p> <table border="0"> <tr> <td>（1）質の高い幼児教育の提供</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>（2）学級編制基準の見直し</td> <td>118件</td> </tr> <tr> <td>（3）地域における子育て支援活動の充実</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>（4）配慮を要する子供や医療的ケア児等の<br/>受入れ体制の充実</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>（5）預かり保育（定期利用）の全園実施</td> <td>53件</td> </tr> <tr> <td>（6）弁当給食の本格実施</td> <td>31件</td> </tr> </table> <p>【その他項目】</p> <table border="0"> <tr> <td>・情報発信</td> <td>86件</td> </tr> <tr> <td>・園運営</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>・全般</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>41件</td> </tr> </table> | （1）質の高い幼児教育の提供 | 9件 | （2）学級編制基準の見直し | 118件 | （3）地域における子育て支援活動の充実 | 7件 | （4）配慮を要する子供や医療的ケア児等の<br>受入れ体制の充実 | 6件 | （5）預かり保育（定期利用）の全園実施 | 53件 | （6）弁当給食の本格実施 | 31件 | ・情報発信 | 86件 | ・園運営 | 32件 | ・全般 | 70件 | ・その他 | 41件 |
| （1）質の高い幼児教育の提供                   | 9件  |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| （2）学級編制基準の見直し                    | 118件  |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| （3）地域における子育て支援活動の充実              | 7件  |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| （4）配慮を要する子供や医療的ケア児等の<br>受入れ体制の充実 | 6件  |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| （5）預かり保育（定期利用）の全園実施              | 53件   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| （6）弁当給食の本格実施                     | 31件   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| ・情報発信                            | 86件   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| ・園運営                             | 32件   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| ・全般                              | 70件   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |
| ・その他                             | 41件   |                |    |               |      |                     |    |                                  |    |                     |     |              |     |       |     |      |     |     |     |      |     |

## 【今後の対応】

| 分類                       | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|--------------------------|----|---|---|
| 1<br>質の高い<br>幼児教育の<br>提供 | 1  | 併設小学校との連携は素晴らしいが、統廃合の結果併設幼稚園を持たない小学校も多い。蔵前小学校など併設幼稚園のない学校が学区校の場合は、他学区の幼稚園を選択することになる。幼稚園としても併設以外の小学校へ進学希望者が出ている場合は、地域散策などの機会を使ってそちらの小学校ともある程度交流の機会を設けてほしい。小学校側にも幼児と交流するメリットはあるはずである。 | 現在実施している園もござい<br>ますが、併設小学校に加えて、<br>近隣小学校との交流機会を今後<br>も積極的に作るよう努めてまい<br>ります。 |

| 分類               | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|------------------|----|---|---|
| 1<br>質の高い幼児教育の提供 | 2  | <p>区立、私立問わず幼稚園入園数が減っているのは、台東区にとどまらず他区においても課題であると聞く。中間のまとめにあるように、社会環境により保護者の就労が増加したことや未就学児童の減少を考えた場合に、保育所を増園したのであれば、そちらに流れていくのは想像にたやすい。保護者にとっては一定時期、就労時間に子どもを安心して預かってくれる場はどうしても必要である。</p> <p>だが長期的にみると、その期間（0歳～6歳）の次には小学校入学と次の段階があり、入学前には今度は小学校で無事に過ごせるかなど心配はつきない。区立幼稚園が小学校併設であることのメリットを生かし、幼小連携の長期的なカリキュラムを編成して行ってほしい。保護者にとっては前述したように一義的には「保育をする場がある」ことが優先されているが、本音は「自分の子どもが、安心できる場で質のよい教育をうけてほしいし、家庭との丁寧な連携も図ってほしい」と思っている。</p> | <p>区立幼稚園では、今後も、就学前教育の充実と小学校への円滑な接続に向けて、「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づき、「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践してまいります。</p> <p>また、小学校併設の利点を活かして、小学校との接続を意識した取り組みを積極的に行ってまいります。</p> |
|                  | 3  | <p>現在、5園で試行実施している預かり保育ですが、区立幼稚園と認定保育園との違いの1つに保育時間があると思います。共働き（パートタイムも含む）の親御さんでもお子さんを通園させやすいようにとの配慮から実施されていると思いますが、中には仕事の就業時間に間に合わない為、保育時間を早めて欲しいと希望される親御さんがいらっしゃるかもしれません。もし、その要望を受け入れてしまうと認定保育園の保育時間とあまり変わらず、延長保育時間の有無で比較されてしまうことになりかねないと思いました。柔軟な対応で保育ニーズに対応していくとのことですが、区立幼稚園には区立幼稚園の強み（質の高い幼児教育の提供や小学校と併設しているという利点を生かした取り組み等）があると思うので、その強み、特に「ちいさな芽」のカリキュラムをもっと周知させることが重要だと思います。</p>  | <p>「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づく、子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育の実践や、小学校併設の利点を生かした取り組みなど、区立幼稚園の魅力が十分に伝わるよう、未就園児の会をはじめ様々な機会を捉えて周知に努めてまいります。</p>                        |

| 分類          | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|-------------|----|--|--|
| 1           | 4  | <p>(既に取り入れているのかもしれませんが)外国語などに親しむ時間を定期的に作るなど、より時代に合った教育も取り入れていただきたいです。</p> <p>区立幼稚園でも、他国籍の子どもが増え、また外国語に触れる機会も多い時代です。小学校併設の強みを生かし、小学校の英語教育に携わる方や地域の英語教室の活用などで、外国語や他国籍の方に親しむ機会を作っていただきたいです。ことばの勉強よりも、実際に経験する機会が得られることを期待します。</p> <p>保育園等でも、英語や体操教室など民間に委託して取り入れているところもあると思いますが、区立幼稚園でも同じように取り入れることは難しいのでしょうか。</p>   | <p>区立幼稚園では、教員が様々な研修を通じて専門性の向上を図りながら、「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づき、幼児教育を実践しています。</p> <p>また、区の事業を活用して全園で体操教室を実施するとともに、園の教育目標に応じて英語教育を取り入れている園もございます。</p> <p>現時点で、民間委託等による幼児教育の実施は検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>   |
| 質の高い幼児教育の提供 | 5  | <p>教育方針や内容について</p> <p>我が子の通う幼稚園には外国籍のお子さんが何人か在園しています。そのお子さん同士が英語や中国語で会話をしている様子を見たことがあります。台東区は地域柄か外国籍のお子さんがどこにも一定数おられ、今後ますます増えていくかもしれないと考えると、全園児向けに英会話のクラスを定期的に導入するなど積極的にグローバル教育を取り入れていただきたいです。英会話を習得することはどのお子さんにも役立つと思いますし、不慣れな言語で自己表現することの大変さを実感する体験自体が、多様な背景を持つお友達への理解につながるのではないのでしょうか。</p> <p>幼児教育は長年の蓄積により確立されている方法論があり、区立幼稚園はそれに則った教育を提供してくださっているのだと思いますが、伝統的な手法に加えてこれからの時代を生きていくための具体的なスキルや思考力をつけさせるような教育をしていただけたら有難いです。</p> | <p>区立幼稚園では、現在も英語圏だけでなく様々な国の方々が入籍しており、その国の言葉や文化などを身近に感じられるような掲示や活動、外国籍の保護者によるお話や遊びの紹介などを通して、他の国の言葉にも興味を持てるように工夫しています。</p> <p>また、園の教育目標に応じて英語教育を取り入れている園もございます。</p> <p>今後も教員が様々な研修を通じて専門性の向上を図りながら、「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づき、幼児教育を実践してまいります。</p> <p>現時点で、英会話クラスの定期的な導入は検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |

| 分類               | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|------------------|----|--|--|
| 1<br>質の高い幼児教育の提供 | 6  | <p>入園してから、私立幼稚園・保育園に比べ、メリットがなくデメリットしかないことに落胆している。デメリットのどれかでも改善しないと、区立幼稚園を周囲の人に全く勧められない。共働きでも歓迎と言っている割には、たくさんの不便さや不満を感じる。園児数を集めたいならば、しっかりと実際に通っている保護者の意見を聞いて改善して欲しい。</p> <p>教育面の乏しさ。最初に述べた費用面でも私立幼稚園や保育園より劣っており、さらにほとんどの園がとりいれている教育面（特に英語教育、体操）に対して大変乏しいため、区立幼稚園に入園したくないのは当たり前の判断となる。この面で魅力がないのであれば、せめて費用面で区立幼稚園に入るメリットがないと意味がない。</p> | <p>区立幼稚園では、教員が様々な研修を通じて専門性の向上を図りながら、「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づき、幼児教育を実践しています。</p> <p>また、区の事業を活用して全園で体操教室を実施するとともに、園の教育目標に応じて英語教育を取り入れている園もございます。</p> <p>区立幼稚園が大切にしている教育内容については、今後も丁寧に周知していきます。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |
|                  | 7  | <p>私立のように、園の保育時間内や時間外で、習い事があると嬉しいです。</p>   | <p>区立幼稚園では、教員が様々な研修を通じて専門性の向上を図りながら、「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づき、幼児教育を実践しています。</p> <p>また、区の事業を活用して全園で体操教室を実施するとともに、園の教育目標に応じて英語教育を取り入れている園もございます。</p> <p>現時点で、教育時間外の習い事の実施は検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>                  |

| 分類               | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|------------------|----|--|--|
| 1<br>質の高い幼児教育の提供 | 8  | <p>先日は田原幼稚園にて説明会を行っていただきありがとうございました。仕事の都合上、説明のみ聞いて退出させてもらったのですが、説明の中で感じたのは幼稚園の「保育園化」に重きを置いているのかなと思いました。確かに働く親には一番必要な事なのでそれは大前提だと思うのですが、それを踏まえた上で大切なのは、「保育園との差別化」なのではと思っています。</p> <p>私は保育園から幼稚園に転園してきましたのですが、保育園のママ友から言われる事は「幼稚園ってPTAとか行事とか多くて大変でしょ?休みの日も多いでしょ?親の負担が増えるでしょ?幼稚園も考えたけど、お友達も居るしこのままの方が楽かなって。」という、デメリットやリスクばかりです。つまり、そこまでのリスクを負ってまで、幼稚園へ転園するメリットを感じていないのだと思います。働く親は、0才や1才からすでに保育園へ入園させています。その人達を、わざわざ幼稚園に転園させるには、幼稚園には保育園では叶わない魅力的な何か(教育、体験、行事、等)が見えてこない、ある一定数から増加に向かうのは難しいのではと思います。</p> <p>幼稚園は、ローリスク、ハイリターンである事が認知されたら、もっと変われる気がします。保育園と幼稚園でやっている事が変わらないと、親は楽な方を選んでしまうものです。</p> | <p>「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づく、子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育の実践や、小学校併設の利点を生かした取り組みなど、区立幼稚園の魅力が十分に伝わるよう、未就園児の会をはじめ様々な機会を捉えて周知に努めてまいります。</p> |
|                  | 9  | <p>区立幼稚園なのだから、もっと区立の施設を利用する等、教育の拡充を図って下さい。今の教育内容にとっても満足しているが、これから入園を検討する方にとっても魅力的になるのではないのでしょうか。</p>   | <p>現在も、生涯学習センターや中央図書館、リバーサイドスポーツセンター、近隣公園、児童館など区立施設を活用した教育活動を行っていますので、引き続き、積極的な活用に取り組んでまいります。</p>                                      |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 10 | <p>募集基準の下限を 10 人に引き上げるというのは、幼稚園の現状を考えると難しいのではないのでしょうか。</p> <p>今年下の娘が公立幼稚園に入園させていただきました。まさに入園前に辞退があったようで、下限を割った人数でしたが、何とか入ることができて本当に助かりました。入園できるとわかった時には涙が出ました。</p> <p>下限を引き下げたり撤廃するならまだ分かりますが、引き上げれば希望の園に入れない保護者と子供の双方に不利益が生じます。最寄りの園に入れなかった場合、小さい子供を連れて家から離れた園に通わなくてははいけません。行き帰りの安全面にも不安が伴います。ましてや兄弟姉妹がいれば尚更です。</p> <p>10 人以上いなければ適切な教育ができないというのであれば、僻地の分校などはどうなってしまうのでしょうか。義務教育とは違うのかもしれませんが、少人数なら少人数なりの良さがあると思います。</p> <p>中間報告を拝読し、方向性が逆流しているように感じます。このままでは幼稚園が無くなってしまいます。データ上、どこにニーズがあるのかわかっていることから、そちらを充足させるような取り組みの方が優先されるべきではないのでしょうか。どうすれば保護者が入園させたいのか、子ども園などの人気ぶりを見れば一目瞭然です。</p> <p>上の娘も幼稚園に3年間通わせていただき、きめ細かいご指導で本当に良くしていただきました。幼稚園を選んだ一保護者として、「集まらなければ切り捨てる」ではなく、幼稚園の良さをもっとわかっていただけのような、保育園ではなく幼稚園に預けたいような、そういった施策を検討していただきたいと思います。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 11 | <p>少子化が進んでいく昨今、新3歳児の募集人数を10人以上とすることは些か困難を有するのではないかと考えております。台東区の場合、保育園の数も減少していることから子供自体が減っている可能性が高いのではないかと考えております。</p>   |   |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 12 | <p>募集人数による閉園について</p> <p>区立幼稚園の良さは、①通園が近く安全なこと、②地域や小学生、他年齢児との繋がり、③支援を必要とする子どもの受け入れ体制が整っていること、④地域の子育て拠点となっていること、⑤身体を十分に動かせる環境にあると感じています。</p> <p>来年度以降、募集時 9 人以下が 2 年続くと閉園とありましたが、通園が遠くなるだけで区立幼稚園の魅力は大幅に減少してしまうため反対です。また、支援が必要な子どもの受け入れ先が近隣地域になくなることは、それだけで保護者にとって不安なことだと思います。</p> <p>まずは預かり保育や弁当給食、カリキュラムの充実を図り、それから閉園を検討すべきではないかと思えます。人数的な集団保育の問題は、他学年との合同教育や他園との積極的な交流により、ある程度解消できれば良いのではと感じます。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を 10 人以上に見直しました。</p> <p>今後は、3 歳児クラスの学級編制基準を 10 人以上とし、「募集時に 9 名以下の場合」や、「2 年連続で、4 月時点で 3 歳児が 9 名以下の場合」は翌年度の学級編制を行わないこととして、一定の園児数が確保された環境を整うよう努めてまいります。</p> |
|                 | 13 | <p>クラスの人数が 10 人集まらないと募集が停止されてしまうというのは、現在幼稚園のプレクラスに行っていて、10 人に満たないことが多いので心配です。そこは現行と同じように、7 人であると安心です。</p>   |   |
|                 | 14 | <p>時代や環境が変わり、保育園のニーズが高まってきたりして人数の減少は致し方がないとは思いますが、少人数なりの良さがあるため人数に満たない場合一律で閉園は危機感を感じる。手厚い保育や、少人数の良さは必ずある。</p>   |   |
|                 | 15 | <p>学級編制基準については、とくに、3 歳については強引に 10 名以上というふうにしつけているように思えてなりません。有識者というより経済効率なのではないかということです。公立幼稚園は高い水準の教育を提供していると考えます。もちろん、アピールは足りない気はします。でも、流行にとらわれない大切な幼児教育の価値観をもって先生方は指導にあたられていると思っています。公立幼稚園の教育力の高さを区自体もアピールできるようご協力よろしく願いいたします！</p>  |   |



| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 16 | <p>現在、区立幼稚園の園児の人数が減少しており、このまま入園児の人数が一定数を下回ると閉園も検討せざるを得ないという厳しい状況であることを知りました。区の財政状況、幼児期の集団生活の必要性などから、在園児の少ない園を存続させるのが困難であるのは理解できます。ただ、新たな基準により学級編制や閉園の検討をするのは時期尚早に感じます。</p> <p>上記のように預かり保育や週5の給食など区が近年始めた取り組みが共働き家庭のニーズを満たすものであり、幼稚園を選択する決め手になりうることを鑑みると、全園預かり保育が浸透するまでは少なくとも募集停止や閉園はしないほうが良いと考えます。たとえば、多子世帯で上のお子さんが既に保育園に通っているような場合は、下のお子さんもまずは同じ保育園に通わせることが第一選択になると思うので、幼稚園の預かり保育が導入されても最初のうちは飛躍的に幼稚園希望者が増えるわけではないかもしれません。なので、1年2年で結論を出すのではなく、より長期的な動向を見ていく必要があると思います。</p> <p>また、幼稚園入園者のデータを見ると「家が近い」という理由も幼稚園選択の主要な理由になっていると見受けられました。そうだとすると、閉園により幼稚園の施設数が減ることで「近所には幼稚園がないから通わせられない」「幼稚園のイメージがわからない」とますます幼稚園が敬遠されてしまったり、幼稚園が近くにないことで周辺エリアの子育て世帯自体が減少していくといった懸念もあります。教育的な面でも、幼稚園側は徒歩通園を推奨しているのに、閉園により徒歩で通える範囲には幼稚園が存在しない家庭ができてしまうのは公的な教育機関として不平等な気がします。幼稚園は最低10名程度の学級編制が妥当との見解もあるようですが、親目線としては少人数であっても近所のお子さん同士で、地域に密着しながら育つことにも意味があると感じます。もし一定の人数以上を要する活動があるとしたら、その時は複数の園の合同や区立保育園との連携などでカバーするやり方もあるのでは？と思います。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>今後は、3歳児クラスの学級編制基準を10人以上とし、「募集時に9名以下の場合」や、「2年連続で、4月時点で3歳児が9名以下の場合」は翌年度の学級編制を行わないこととして、一定の園児数が確保された環境が整うよう努めてまいります。</p> <p>なお、新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 17 | <p>来年度からの3歳児募集人数には賛成できません。5人から10人が望ましいと思います。園児一人一人の性格を理解して導いていくには人数が多いと目が行き届かないと思うのです。小学校も大切ですが園児時代に、一人一人が自信をもって行動できる、友達と仲良く遊べる楽しさ、友達と協力して成し遂げる楽しさ、失敗しても諦めないで挑戦する、心から謝れる心が育って欲しいです。その経験があれば将来ひきこもりにはならないと思うのです。</p> <p>小学校の合同行事大賛成です。皆と食べれば好き嫌いがなくなるのでは、食育を頑張っていたきたいです。兄弟が別々の幼稚園に行くのは悲しいです。年長と年少の姿が見たいです。人を思いやる気持ちも成長すると思うのです。園児一人一人が安心して通園できることを希望します。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>今後は、3歳児クラスの学級編制基準を10人以上とし、「募集時に9名以下の場合」や、「2年連続で、4月時点で3歳児が9名以下の場合」は翌年度の学級編制を行わないこととして、一定の園児数が確保された環境が整うよう努めてまいります。</p> <p>なお、新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 18 | <p>学級編制を諦めるというのは仕方がない面もあるけれど、兄弟在籍しようと思っている方には辛いですね。可能ならば避けたいです。</p>   |   |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 19 | <p>上の子どもが区立幼稚園を卒園し、現在は併設している小学校に在籍しております。下の子が令和7年度、同じ区立幼稚園に入園予定です。</p> <p>今回の区立幼稚園の中間報告と調査内容を読みまして、我が子にも直接関わることであり、感じたことがありましたので、伝えさせていただきます。</p> <p>私は、区立幼稚園が家からとても近く、小学校とも併設していることで連携もとれ、上の子も安心して通っております。そして、主人も通っていた経緯もあり、親子共々お世話になった園ですので、もちろん弟も入園させる予定です。</p> <p>区立幼稚園存続のために、来年度から、預かり保育やお弁当給食のますますの充実をはかる予定とのこと、私も周りの保護者もみんな望んでおりましたことで、嬉しく、現在の保護者のニーズに合っており、素晴らしい取り組みだと思います。</p> <p>しかし、来年度の募集人数が9名以下の場合、それが続いたら閉園を検討していくとのこと、とても悲しく、驚きを隠せなかったです。</p> <p>区立幼稚園は9人以下でも、必ず存続させ続け、少ない人数での保育方法をさらに検討し続けていく、というぐらい提言していただきたかったです。そうでなければ、何年か後に閉園するかもしれない、また、下の学年の子どもたちが入園しない可能性があるなら、区立幼稚園はやめておこうかな？と、始めから私立幼稚園や保育園に入園させる保護者がますます増えると思います。来年度からの政策を10年？など、長いスパンをかけてやってみて、それから閉園？統合？などは、検討すべきことではないのでしょうか？</p> <p>区立幼稚園を、ますます閉園に追い込んでいるように感じられる文章で、とても残念です。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>また、年度当初に7名を下回る園が毎年出ている状況になっていることから、対応策は速やかに実施していく必要があると考えます。</p> |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 20 | <p>7 ページほか「(2) 園児数」について、区立幼稚園の在籍園児数が減少傾向にあることは理解できるが、区立幼稚園が、日本語が話せない園児や、配慮を要する園児らの重要な就園先になっていることは、「中間のまとめ」において、区も認めている。</p> <p>園児やその保護者らにとって、毎日自宅から離れた園に子を通わせるのは、想像以上にたいへんである。とりわけ配慮が必要な子らは、朝早く起きるのが困難であったり、かんしゃくをおこしたりと、ただでさえ園への送り迎えがたいへんであるにもかかわらず、さらに自宅から離れた園に通わせるとなると、その負担は計り知れない。園児数が減少傾向にあるとはいえ、入園児募集時に9名以下の場合であっても、容易に幼稚園の数を減らしていくことなど、絶対にあってはならない。いちどなくした園を、ふたたび作りなおすことはむずかしい。少なくとも、園児数などの数値のみで、園の将来を決めてしまうのではなく、さまざまな事情を考慮しつつ、慎重に考えるべきであろう。なお 27 ページ「参考資料」における篠原氏の見解に、「学級の園児数は、最低 5～10 人が望ましいと考える」とある。仮に園児数を基準とするのであっても、「入園時 9 名」をボーダーとするのではなく、まずはここで下限とされている「5名」をボーダーとするべきではないか。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を 10 人以上に見直しました。</p> <p>具体的には最低 5 人の集団が複数、少なくとも 2 グループ作れることで、5 人の中での関係性に加えて、さらにグループ間相互の刺激や協力が生まれ、より良い集団教育につながると考え、10 人以上と設定しました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 21 | <p>「3 歳児クラスの学級編制基準を 10 人以上」や「2 年連続で学級編制が行われない場合は閉園を検討する」対応を見直していただきたいと思えます。通園距離や費用の面で公立幼稚園を選ばざるを得ない家庭も一定数あると想定できることや、4 歳児、5 歳児にとっても異なる学年と交流するメリットがあると思えます。</p> <p>学識経験者の意見として「園児数は最低 5～10 人が望ましい」と挙げられているため、編制基準を最低の 5 人に合わせても良いのではないかと思います。</p>   |   |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 22 | <p>全国的に人口が減少している中、来年度から開園の人数を7人から10人に急にあげる、それが叶わなければ開園できないというのは流石に期間が短すぎるなどと思います。預かり保育やお弁当が始まって、保育園を考えていた方達が、幼稚園にしよう！と流れるかもしれない中で、急に来年度からではあまりにも猶予の期間がないです。6月の議会で決定されてからの公表になると教育委員会の方から説明を受けました。希望の幼稚園へ願書を出すのは11月の頭だったはずで、4、5ヶ月でどこまでの周知が可能でしょうか？</p> <p>そして、今上の子は年中として幼稚園に通っていますが、下の子が来年から幼稚園に入園予定です。もしも来年開園できなかった場合は、2箇所の幼稚園に通わなければならないということでしょうか。それってすごく大変なことです。毎朝の送り、お迎えだけでも大変です。そして、2箇所通っている人から聞く話では、運動会や学芸会などのイベントがよくかぶるそうです。私自身の親意見としては、年長の最後の出し物を見たい。でも年少の初めての出し物だって見たいですよ。それをどちらか選べということですよ？これは本当に私たちの為にと、より良い幼稚園生活になるようにと動いてくれている区の判断なのではないでしょうか？上の子がすでに幼稚園に通っていて、下の子が入れなかった場合の対応策はどのようにお考えでしょうか？下の子が同じ幼稚園に入れなければ、上の子が年長最後の1年だとしても上の子の転園や他の保育施設に行くことを考えなければならない家庭もたくさん出てくるはずで、そうすると更に幼稚園の人数減少に繋がってしまいますよね。</p> <p>なにもかもが急すぎて、すぐに結果が出ることでもないはずなのに様子見の時間も与えられずに来年度からもう変えましょうというのは、あまり良い方向に進む気がしません。その結果素敵な幼稚園がどんどんなくなってしまって、区は幼稚園を減らしたいだけなのかな？と思ってしまいました。1度でも開園ができなくなると、次年度は上の学年がいけないということで、新しく入る人たち</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>今後は、3歳児クラスの学級編制基準を10人以上とし、「募集時に9名以下の場合」や、「2年連続で、4月時点で3歳児が9名以下の場合」は翌年度の学級編制を行わないこととして、一定の園児数が確保された環境が整うよう努めてまいります。</p> <p>なお、新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |

| 分類 | 項番         | 意見   | 区の考え方 |
|----|------------|--|-------|
| 2  | 学級編制基準の見直し | <p>も敬遠するんじゃないかなと思います。幼稚園が存続するかどうか、こんな大事なことを、何十年も続いてきた歴史を、この1年で急に切り捨てるのでしょうか。せっかく預かり保育や給食も始まることになったのだから、もう少し様子を見て決めていくべきかなと思います。人数が少ないと同学年とのつながりが減って教育の質が下がると教育委員会の方がおっしゃっていましたが、私はそうは思いません。むしろ異年齢交流が盛んで、年齢関係なく一緒に遊べることはとても素敵なことだと思います。上の学年から教えてもらうこと、下の学年に教えてあげること、それを体験できるのは異年齢交流のとても良いメリットです。</p> <p>人数が少ないからこそ先生が目も行き届いていて安心だし人数が少ないのは悪いことばかりではないです。10人いないと教育的に良くないからではなくて人数にとらわれすぎないで欲しいですし、10人いないと開園できなくするのであれば、今急に言われてもすでに上は通っているのに下は入れなかったなどの兄弟の問題をどうするかなど対応策も考えた上でこれからの幼稚園についてもっと具体的に長い目で考えて欲しいです。</p> |       |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 23 | <p>中間報告について、令和7年度から学級編制基準を10名とするのは時期尚早であり、いきなりすぎます。確かに10名以上いた方が、保育の質の向上や就学に向けての集団行動等につながるかもしれませんが、少人数だからといって保育の質が落ちるわけではないし、実際入園している方はむしろ少人数に魅力を感じて選んでいる方が多いのではと思います。私の子供は発達障害があり、入園当初より支援員さんの手配もしてくださり、毎日手厚く接していただき本当に感謝しています。発達障害等、大きな集団での適応が難しい子や配慮のいる子供を受け入れという意味も込めて、せめて現状の条件（7名）のままにしていきたいです。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>今後は、3歳児クラスの学級編制基準を10人以上とし、「募集時に9名以下の場合」や、「2年連続で、4月時点で3歳児が9名以下の場合」は翌年度の学級編制を行わないこととして、一定の園児数が確保された環境が整うよう努めてまいります。</p> <p>なお、新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|-----------------|----|--|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 24 | <p>現在在園している園は、他の園に比べて突出して園児数が減少しています。学級編制基準7名から10名に引き上げる事により、閉園になる可能性が非常に高いと感じました。来年度には兄弟が入園を控えています、10名に満たない場合は、兄弟で同じ園に通わせる事ができません。兄弟で別々に園に通わせる事は難しい為、上の子も転園させる事になりますので、兄弟児がいる家庭に対しての救済策を望みます。</p> <p>また、現状在園児が少ない園に対しては学級編制基準は段階的に引き上げる、設備投資等、特別な配慮の必要性を強く感じます。数年をかけて園を存続させる為の計画をお願い致します。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>今後は、3歳児クラスの学級編制基準を10人以上とし、「募集時に9名以下の場合」や、「2年連続で、4月時点で3歳児が9名以下の場合」は翌年度の学級編制を行わないこととして、一定の園児数が確保された環境が整うよう努めてまいります。</p> |
|                 | 25 | <p>学級編制基準の見直しについて、7人から10人への引き上げは変更の影響が大き過ぎるため、より柔軟な編制に改善して頂きたいです。</p> <p>一度10人未満になるだけで必ず空白学級が生じる制度では年長年中の保育運営に悪影響がでることに加えて、以降の入園希望者も見込めなくなります。</p> <p>仮に隣接する千束と富士が各9人応募だった場合、統合すれば十分な園児になるのに今回の案では両園とも0人学級が生じます。他園の状況を勘案した柔軟な基準にできないでしょうか。</p>   | <p>なお、新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更しますが、その他特例要件は現時点では検討しておりません。頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p>                     |



| 分類 | 項番               | 意見  | 区の考え方  |
|----|------------------|---|--|
| 2  | 学級編制基準の見直し<br>26 | <p>来年度より10名に満たない場合の学級編制を行わないという方針については、時期尚早と考える。もう少し様子を見ても良いと思う。預かり保育などの効果を見ても利用者数が増えない場合は再度検討するなど、学級編制見合わせの基準引き上げについては慎重な判断をお願いしたい。兄弟が既に入園している場合、下の子どもの学級編制がなされないことにより別園に通わせる保護者負担が増加したり、上の子まで転園して上級学年の人数が減少する等の影響が懸念される。学級編制を行わないとする手段は、現時点での最終手段であると考え。それに至るまでに可能な限りの対策がなされることを期待する。</p> <p>また、最低5～10名程度という学識者のコメントを根拠とするのであれば、必達条件としたら5名という事になるのではないかと感じる。台東区の教育行政を持続的に発展させていくためには、保護者の理解と協力は重要な要素であり、そのためにも保護者との信頼関係を一層大切にしたい。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、学級編制基準を見直しました。</p> <p>具体的には、最低5人の集団が複数、少なくとも2グループ作れることで、5人の中での関係性に加えて、さらにグループ間相互の刺激や協力が生まれ、より良い集団教育につながると考え、10人以上と設定しました。</p> <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更しますが、その他特例要件は現時点では検討しておりません。頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 27 | <p>少子化や共働き世帯の増加、保育所の増加、保育園の待機児童の減少などで、今ある台東区の幼稚園の数が適正であるのかどうかを見直していく段階ではあると思いますが、公立幼稚園の保育サービスがどの園も同じではなく、幼児数の地域格差もある状況で、閉園を見据えた措置をとることは、どうしても不公平に感じてしまいます。千束幼稚園のように急激に園児数が減少し、そのまま増加しない幼稚園でも、敢えて選んで入園する家庭もあるので、集団生活を送ることが幼児教育のひとつであるという理論が分からない訳ではないけれど、現時点では10人に満たないから幼稚園の教育が出来ないということは今通園させていたり、1～2年後に入園させたいと思っている保護者には受け入れ難いと思う。延長保育の全園実施をすることにより、教育サービスはどの園も同等であるということですが、実際は支援を必要とする子どもがいたり、日本語が不自由な外国籍の子どもがいたり、入ってみたいと分からない実情があると思います。それをサポートする教員が足りないから、規定数に満たない園は閉園の方向で進めて行きたいのでしょうか。ということであれば、そういうことも公立幼稚園の実情としてもっと発信して、議論すべきだと思います。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> <p>なお、新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> |
|                 | 28 | <p>令和7年度から預かり保育を開始する園がある中で、令和7年度のクラス編制から可否基準を10名としてしまうのは、時期尚早ではないでしょうか？預かり保育実施が浸透してから10名以上という基準を設けるなりして欲しい。</p> <p>人数を集めようとしています。今後増えるというのが難しいのであれば、逆手にとり少人数で教育指導のアピールをしていく。</p>  |  |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 29 | <p>現在、区立幼稚園の3歳児に子供が通園しています。子供の学年は7人に満ちていません。人数については、入園前から何度も悩み、正直に言えば今も尚、今後について不安がないとは言いきれません。この現況について、次年度から募集人数を10人以上にする、下回る場合には学級編制をしない等の対策をすること、我が子の年度がそうであったら、今のように入園後も悩むことはなかったのかなと思ってしまう気持ちがないわけではありません。1番不安や疑問を感じたのは、7人が教育の質を保つための最低人数だと明記されていたが、満ちていないにも関わらず入園が決定したことです。7人は少ないが、7人いれば、家庭とは違う集団を経験できる（ごっこ遊び、簡単なルールのある遊び、他の子がやっている遊びを見るなど）、または途中入園などで、10人程度になる可能性もあるかもと考え、入園申し込みをしました。そして、そこには7人に満たなければ残念ではあるが、人数が集まっている園へ入園させることができる、そうしようという考えがあったからです。しかし、実際は入園希望者が7人いたと知り安堵していたら、入園前の健康診断や面接の日に減っていたことを知り、どうしてだろうとショックを受けました。そこから再び悩み、園長先生にも相談させていただき、他園との交流など人数が少ないことを補っていけるよう対策を考えてくださっていることがわかったので、そのまま入園することを決めた次第です。このような思いをする保護者がいなくなり、通う子供達の育ちに不安や心配が起きないようにする必要性は感じます。しかし、現在通園している園児や保護者への配慮に欠けている気もしてしまいます。いつかはやらねばならない対策かもしれませんが、これが決定事項であるならば、あまりに唐突で受け入れ難い気持ちもあります。「年中組さん、年長組さんてすごいんだよ！優しいんだよ！」と今、既に憧れの気持ちを抱いている我が子が、1年後、進級の喜びを感じ今度は自分が少し年上のお兄さんお姉さんとして接したい</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>万が一、学級編制が出来ないことが判明した際は、速やかに該当園を希望されている保護者へ通知し、他の区立幼稚園への振替希望の意向を確認しております。今後も同様に、保護者の声を聞きながら、丁寧に対応してまいります。</p> <p>また、該当園の在園児に対しても、幼児教育の質が低下することがないように、教育活動に取り組んでまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し |    | <p>と言う気持ちの育ちを経験できなくなる。もしかしたら、少人数のこの学年だけで卒園式を迎えるかもしれない。そのことについては、どのように考えているのか知りたいです。もしも人数が集まらず学級編制ができなかった園の在園児への対策は何かあるのでしょうか。子供の通っている園もそうですが、預かり保育の拡充がまだ実施されていない園に関しては次年度からではなく、もう少し様子を見てから、対策していただけたらと思います。</p> <p>幼稚園の先生方に対しては、人数の少ない今年度の学年について、今後できうる対策を考えてくださっていること、親の不安や心配をご理解いただいていること、感謝しています。信頼してお願いしたいと思っています。</p> <p>区としては、今年度の人数の少ない学年についての対策、次年度以降学級編制が行われなかった園の子供達の育ちへの配慮や対策は何かお考えなののでしょうか。知りたいです。</p> |   |
|                 | 30 | <p>出生数が減少している中、区立幼稚園の園児数を増やそうとすると私立幼稚園や保育園の園児数が減ってしまう。1クラス当たりの適正園児数を維持していこうとすると、いずれどこかがなくなっていくことは否めないことだと思う。</p> <p>親としても集団生活を学ぶ場として幼稚園なり保育園なりへ通わせるので、人数の担保はしてほしい。</p>  | <p>今後は、3歳児クラスの学級編制基準を10人以上とし、「募集時に9名以下の場合」や、「2年連続で、4月時点で3歳児が9名以下の場合」は翌年度の学級編制を行わないこととして、一定の園児数が確保された環境が整うよう努めてまいります。</p>  |
|                 | 31 | <p>3歳児クラスの学級編制基準を10人以上とすることについて、通っている子供たちの気持ちや個々のニーズが十分に考慮されていないように感じます。学識経験者や各園とのヒアリングから得られた意見を踏まえての基準設定であることは理解しますが、実際に子供たちがどのように感じ、どのような影響を受けるかについても慎重に考慮する必要があると思う。</p>   | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>引き続き、質の高い幼児教育を提供できるよう、より良い園運営に取り組んでまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 32 | <p>この中間のまとめのデータはとても分かりやすく、また充実していて、今後、区立幼稚園にとっては、廃園の危機がより厳しく迫ってくるものと残念な方向ではあるものの、一定の理解は出来ると思います。とても区立園やそこに通う子、保護者に寄り添って下さり、ありがとうございます。</p> <p>また、一方的に廃園を決定されるより、このように意見を募集して下さることが、区立幼稚園にも寄り添って下さっているなど感じました。お弁当給食に、預かり保育の実施と、かなりの温情をかけて頂いており、それでも人数が集まらない現状は、厳しい判断があっても仕方の無いことかもしれません。</p> <p>ただ、区立幼稚園の素晴らしさ、区立幼稚園にしかない素晴らしさ(※)もある為、厳しすぎない措置をいただけたら有難いです。(※幼小の連携、インクルーシブ教育がかけがえのない区立幼稚園の特徴と考えております)</p>                                     | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 33 | <p>令和7年度から学級編制基準の見直しとして基準を10名以上とするそうですが、まだ時期尚早ではないかと思えます。預かり保育の全園実施や今回のパブリックコメントの意見等を参考にした対策を1～3年程度実施してからの見直しのほうが良いと思えます。</p>  |   |
|                 | 34 | <p>現在、区立幼稚園で預かり保育を利用して、すごく満足しています。以前、0歳の頃にも就労を考えて保育園に見学に行ったことがありますが、幼稚園の方が教室や園庭(校庭)のスペースの広さが圧倒的に広くて施設としてすごく良く、幼稚園の授業内容も子供の創造性を伸ばしてくれてすごく満足しています。保育施設が少ない中、廃園にして使わなくなるのはもったいない施設だと思います。</p> <p>2歳児までを受け入れる小規模保育園などからの転園を推進するなどして10園残して少子化対策の一つとして利用価値を増やしてもらいたいです。</p> <p>預かり保育を10園に拡大するのは素晴らしいですが、「人数が9人以下で来年度の募集を停止する。そして2年連続なら廃園を検討する」措置を始める時期がR7年度というのは早いのではないかと思います。5園での預かり保育が始まって2年。全園で始まってすぐの段階では早いと感じ、保護者に浸透するまでもう少し様子を見てもらいたいです。</p> |   |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 35 | <p>廃園を検討する条件の実施が時期尚早と感じる<br/>預かり保育を現在おこなっている園と令和7年度から開始する園とでは、預かり保育実施園という浸透率の違いがあるし、半年後には令和7年度の募集が始まるのに次年度より10名以下がクラス編制可否基準というのは大変厳しい条件に感じるので、全園預かり保育実施がもう少しだけでも浸透してから10名以上という基準を設けていただきたい。</p>  | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 36 | <p>来年度からクラス編制基準を10名にするのは時期尚早であると思います。<br/>預かり保育があるとはいえ、知らない人も多し、知っていても8時半からでは仕事に間に合わない為利用を諦めているという話も聞きます。突然来年度から募集人数を10名とするのは厳しすぎなのではないでしょうか。</p>  |   |
|                 | 37 | <p>来年から週5で10人という事が中間まとめで出されましたが、平等性にかけています。まず日にちが足りない、半年後には入園を募集します。R3から試行している5園は2年以上保護者、地域に浸透してきたことを考えると、週2で試行してきた園との差はあきらかに違いがあります。もう2年全園で一律に週5で7人ですべきだとおもいます。何も急ぐ事はないのでは。反発を買いお互い遺恨も残ります。</p> |   |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|-----------------|----|--|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 38 | <p>区立幼稚園の預かり保育実施、弁当給食の実施はとても心強いです。働こうか迷っている中で、どの園でも預かり保育があるというのは選択肢が広がると思います。これまで預かり保育を実施していた園は、園児が増加傾向にあるとありましたが、今後全園で預かり保育をはじめるとなれば、今までより人数がバラけるようにも思います。</p> <p>募集時に 10 人以下となった場合に学級編制を行わない、また 2 年連続となった場合は閉園を検討するというのを、来年度から実施するのは早すぎると思います。</p> <p>区内の子持ち家庭に、預かり保育や弁当給食を来年度から全園で実施していることを周知させるまでには時間がかかると思います。せっかく新しく選択肢が増える中で、周知できずに閉園を迎える園があるのはとても悲しいです。</p> <p>1 学年の編制が無くなった園はその翌年度も 10 人を上回る可能性は低いと思います。特にここ数年で子供を幼稚園に通わせようとしている親は、応募したい園にもし人が集まらなかったら、どこに入ればいいのかと不安な日々を過ごします。</p> <p>区立幼稚園で預かり保育を始めることを時間をかけて周知されてから、閉園に向けて動いても遅くないのでは無いでしょうか。11 月に願書の提出があり、それまでに来年度の対象者に周知することは可能なのでしょうか？</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和 9 年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 39 | <p>令和 7 年度から預かり保育を開始する園がある中で、令和 7 年度のクラス編制から可否基準を 10 名とってしまうのは、時期尚早だと思います。</p>   |  |
|                 | 40 | <p>子供の出身園です。人数が減っていることは在籍中から感じており、PTA としても新年度の新入園児集めに、近隣へのポスターはりやチラシ配り、地域行事への参加等かなり努力をしておりました。それは、区立園に閉園をしてほしくないその一心からです。当時から 7 人の壁でさえ高く感じておりましたが、最低人数を引き上げることは閉園に直結しかねない問題です。それなのに R7 年度から実施するのは早すぎるのではないのでしょうか。まだまだ区立園で預かり保育や給食の実施が行われていることが浸透していない中で、突然人数が増えるとは思えません。</p>   |  |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|-----------------|----|--|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 41 | <p>幼稚園に入園するのも小さい地域や学区では、その年によりバラつきが出たりするのではと思います。今回、条件によっては2年で閉園の決断をする事は、本当にもったいない話ではないかと思ひます。園によっては長時間保育をすでに2年前から開始して安定しているところがあったり、そうでない園もあったりのようで、一律に同じ条件をつけてしまうと、入りたかった園が入園の年齢には閉園してしまっているというような寂しい事にもなりそうです。</p> <p>台東区の区立幼稚園と区立小学校の連携はとても素晴らしいもので、もう少し長い目で見たと判断ができるような、優しい条件にしていだけると、さらにファミリーが住みやすいグローバルな台東区になるのではと思います。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 42 | <p>7年度より預かり保育を全園で実施、週5回の弁当給食を実施していますが、令和7年度入園児募集分から学級編制基準の見直し適用としています。</p> <p>これでは、ニーズへの検証をする時間があまりにも短いと考えます。新しい施策を検証して、見直しの猶予を設けて頂きたいと思ひます。</p>   |  |
|                 | 43 | <p>来年度から全園預かり保育が始まる旨を未就学児を持つ保護者に周知徹底し、その後の入園状況を見てから募集人数の基準について再検討をして欲しい。周知する前に募集人数に制限をかけるのは早いのではないか。</p>   |  |
|                 | 44 | <p>預かり保育実施が浸透・定着するまで閉園するのは時期尚早だと思います。もう少し時間をかけて検討したほうが良いかと思ひます。</p>  |  |
|                 | 45 | <p>学級編制を令和7年度の入園児募集時点、4月時点の人数で決めるのは時期尚早すぎます。これから預かり保育全園実施、お弁当給食週5実施などを行っていくのに、その結果を今秋の募集人数ですでに出すなんて早すぎます。</p> <p>もう少し浸透するまでの猶予期間を設けてください。現時点での非拡充園と拡充園において不平等な条件だと思います。</p>  |  |



| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|-----------------|----|--|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 46 | <p>通っている幼稚園や近くの幼稚園は人数少ない状況です。預かり保育やお弁当給食が増えるのはとても嬉しいですが、開始が来年度で、まだ未就園児のお母様方の周知も得られていないのに、2年連続でとはいえ、来年度から可否基準が10名なのは時期尚早な気がします。</p> <p>未就園児達が集まる場所などに告知なり周知して欲しいです。これで近くの幼稚園が閉園になると困ります。また、今は子供が少ない状況が続いていますが、これから先増える可能性もあるので、大幅な閉園は避けた方がよいかと思えます。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 47 | <p>令和7年度から預かり保育を実施する園もあり、周知も進んでいない中で令和7年度からの募集人数を基準に閉園等を決めてしまうのは時期尚早ではないでしょうか。リフレッシュ目的での預かり保育も令和5年度から始まったばかりのため、知らない保護者の方が多いと思えます。</p>   |  |
|                 | 48 | <p>募集時9名でも開園時に9名欠ける状況が、2年連続の場合は閉園になると伺いましたが、この条件を今年から長時間保育開始の園と、既に開始していた園とを同一にするのは不平等だと思います。ぜひ再決議して下さい。よろしくお願い致します。</p>  |  |
|                 | 49 | <p>預かり保育実施が浸透・定着するまで閉園するのは時期尚早、もう少し時間をかけて検討してください。よろしくお願ひいたします。</p>  |  |
|                 | 50 | <p>預かり保育の導入は良いと思うが、全園で行っていることが浸透しないうちに閉園が決まってしまうと感じ、閉園に関しては時期尚早と感じる。</p>   |  |
|                 | 51 | <p>令和7年度のクラス編制から可否基準を10名としてしまうのは、時期尚早と感じています。預かり保育実施がもう少し浸透してから10名以上という基準を設けたほうが良いと思えます。</p>   |  |
|                 | 52 | <p>これから預かり保育を実施する幼稚園は、周知に必要な時間も必要と考えられます。その為7年度から9名以下で判断すると言うのは、時期尚早ではないかと思えます。</p>  |  |
|                 | 53 | <p>令和7年度から預かり保育が始まるのに、それがまだ浸透していないであろう同年から直ぐに10人に満たない場合はクラスを開設しないというのは、時期尚早ではないかと思えます。</p>   |  |

| 分類         | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|------------|----|---|---|
| 学級編制基準の見直し | 54 | <p>預かり保育の全園での実施は素晴らしいことだと思います。園児数が満たない場合の閉園に関して、条件が厳しいのではないかと感じます。数年は様子を見てからではないと時期尚早と思います。時期の見直しについてご検討をお願いします。</p>                            | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p>                               |
|            | 55 | <p>令和7年度から預かり保育が全園実施されるとは言え、令和7年度のクラス編制から可否基準を10名としてしまうのは、時期尚早だと思われます。入園募集までに預かり保育実施の周知が完全に行き渡るのも難しいと予想されるので、せめて令和8年度から10名以上という基準を設けて欲しいです。</p> | <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|            | 56 | <p>令和7年度から預かり保育を開始する園がある中、令和7年度のクラス編制から可否基準10名としてしまうのは時期尚早ではないでしょうか。預かり保育実施がもう少し浸透してから10名以上という基準を設けるなりしていただきたい。</p>                             |   |
|            | 57 | <p>全園での預かり保育をスタートするのは令和7年からなので、もう少し預かり保育が浸透してから、10名以上という基準をもうけて欲しいです。令和7年度から10名を2年連続で下回ると閉園を検討するのは時期尚早だと考えます。</p>                               |   |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|-----------------|----|--|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 58 | <p>子供が台東区の待機児童の状況が最も良く無い時に、こども園、区立保育園にも入れませんでした。私共の子供は、私立幼稚園ではなく公立の大正幼稚園に入園しました。親としては、長時間保育をする保育園や私立幼稚園を選びたかったですが、見学した子供の直感で大正幼稚園に決めました。結果は、子供は小学校と連携した指導が出来るので、併設した大正小学校へスムーズに通えました。一年生時に、身支度も学習姿勢においても、一様に落ち着いて通学出来たと思います。</p> <p>子供が悩む時、幼稚園時代の先生を見かけて声を掛けて頂くなどという環境は、子供にとっても安心材料だったと実感しました。公立の幼児教育指導の一番の強みだと感じます。現在では、給食や長時間保育を実施する公立幼稚園も増えた事で、5年前が今の状況ならば、公立幼稚園の教育を受けさせるが一択だと思います。心配なのは、段階的に数園から始めた給食開始や長時間保育を始めた事で、実施出来た幼稚園と後に残されて実施が始まった園があるにも関わらず、入園者の数が少ないと2年足らずで閉園を決めてしまう現行は良くないと思います。</p> <p>条件が良い所に人が集まるのは市場原理なので、給食と長時間保育を実施してからの経過や園児数の増加や保護者の意向確認を実施してから統合閉園の判断をするべきだと思います。</p> <p>身体的にマイノリティがある方や公立でないと通えない方も居ると思います。入園者数だけで閉園などを決めずにきちんと精査してほしいです。公立幼稚園における教育の質の高さは実感しています。出来れば維持して欲しいと強く願います。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 59 | <p>令和5年に娘が区立幼稚園を修了しました。</p> <p>学級編制基準の見直しについて、共働きの家庭が増えて預かり保育を利用しないと区立幼稚園への通園が難しい子供たちが多い現状の中で、預かり保育が全園で開始されるのは、本当にありがたいと思います。</p> <p>多くの子供たちに区立幼稚園の素晴らしい幼児教育を体験してもらいたいと考えるなかで令和7年度のクラス編制から可否基準を10名としてしまうのは、時期尚早ではないかと思えます。預かり保育実施をきちんと浸透させてから10名以上という基準を設けるなりして欲しいと思えます。</p> <p>幼稚園近隣の保護者が、区立幼稚園での預かり保育について認識できずに利用したいと思った時に募集停止や廃園という事態にならないようしっかりと周知していただきたいです。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 60 | <p>学級編制基準の見直しについて、令和7年度入園の募集時点で10名以下であれば令和7年度の編制はありません。とありましたが、そういった情報を未就園児の母親が集まる場所や、募集案内時などに早めに伝えるべきかと思えます。</p> <p>未就園児の母親ならこういった情報を出来るだけ早く知りたいのではないのでしょうか。</p> <p>現在、在園している方々も、急に来年度入園の希望者が少なかったので編制なし。と言われたら不安になると思えます。</p> <p>学級編制基準の見直しに関して、令和7年度からですと少し早いかなと思えます。</p>  |   |
|                 | 61 | <p>長男が区立幼稚園でお世話になり、とても充実した園生活を送ることができました。今後次男も入園を控えているところで、全園で令和7年度から預かり保育を開始されることはとても有難いです。ただクラス編制の最低人数を10名としてしまうのは、時期尚早ではないかと思えます。預かり保育実施が浸透し、今後の入園人数の状況をみてから基準を決めることを希望します。</p>  |   |
|                 | 62 | <p>全園の預り保育開始後、預り保育が地域に浸透してから、10名以上の基準にするべきではないのでしょうか。</p>   |   |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 63 | <p>令和 7 年度から全園預かり保育が始まるとあるが、浸透するには時間がかかるはず。実施年度からの入園児数を参考にするのは早すぎる。</p> <p>令和 4 年度から預かり実施の園も令和 6 年度にやっと浸透してきたようなのに急に実施年度からの人数を参考にするのででしょうか。時期見直し希望。</p>   | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和 9 年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 64 | <p>預かり保育を始める年に可否基準を適応してしまうのは、預かり保育の認知が進む前に、閉園になってしまう可能性があるのではないのでしょうか。可否基準の、適応は数年様子を見ても良いのではと思います。</p>  |  |
|                 | 65 | <p>公立の幼稚園に通っています。今後閉園の可能性があるので、もどかしさを感じています。来年度からは急すぎるかと感じます。預かり保育実施がもう少し浸透してから 10 名以上という基準を設けてほしいです。</p>   |  |
|                 | 66 | <p>令和 7 年度から預かり保育を開始する園がある中で、令和 7 年度のクラス編制から可否基準を 10 名としてしまうのは、乱暴な気がする。預かり保育や弁当給食実施の周知をもっとしてほしい。</p>  |  |
|                 | 67 | <p>共働きが多くなり幼稚園の役割も変わって来ている事と思われます。子育て世帯、地域全体にこんな取り組みをしていますよともっとアナウンスして区立幼稚園の良さを知って頂き、結果は 2-3 年では浸透しないと思うので 1 年以内に人数が満たなかったら廃園だったとしたら反対です</p>  |  |
|                 | 68 | <p>区立幼稚園に 2 人の子どもがお世話になりました。担任以外の先生方からも声をかけてもらったり、園長先生にも気軽に子育て相談ができ、とても良い環境でした。</p> <p>区立幼稚園は少人数だからこそその教育力の高さが魅力だと思います。</p> <p>令和 7 年度からの預かり保育を開始する園がある中で、令和 7 年度のクラス編制から可否基準を 10 名としてしまうのは、時期尚早であると思います。預かり保育の実施が浸透してからの基準を設けた方が良くと思います。</p> |  |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|-----------------|----|--|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 69 | <p>田原幼稚園に息子が在籍している者です。</p> <p>先日は幼稚園までお越しいただき、今後の対応についてのお話をありがとうございました。真摯なお姿を見て、安心感と感謝の気持ちでいっぱいです。その場でも質問させていただきましたが、他の内容も送らせていただきます。</p> <p>・クラス編制を10名からと基準を改めるそうですが、これから預かり保育を始める園もあるので時期尚早なのではないでしょうか？園が少なくなるとは、更に幼稚園の需要が減ってしまうのではないかと懸念しています。</p>  | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 70 | <p>「中間のまとめ」及び「概要版」を拝読致しました。p.28に記載の通り</p> <p>区立幼稚園は幼児教育の本質を丁寧に実践してきた歴史があり、現在もその重要性は全く変わっていないこと</p> <p>様々な子供の受入れを行っており、どんな子供であっても等しく大切に育てられる権利を保障する、重要な就園先となっていること</p> <p>この2点において、地域に区立幼稚園が存在することの意義・重要性は他では変え難いものとなっております。保育園、私立幼稚園が重要な社会インフラであると同時に、区立幼稚園は地域の幼児教育の質を支える大切な使命を担っており、廃園ありきの方策ではなく、存続のために力を尽くしていただきたいです。そのためには、「令和7年度からの学級編制基準の見直し」の案を見直していただきたいです。預かり保育の全園実施開始と同じタイミングで学級編制基準の引き上げが行われるのは時期尚早で、区立幼稚園でも働きながら子供を通わせることができる事実が地域社会に十分に認知された後に初めて、学級編制基準の引き上げを考えていただきたいです。</p> |  |
|                 | 71 | <p>来年度から預かり保育を全園実施とのことですが、10人以下であればいけないことや2年人数下回れば閉園も急すぎる。もう少し段階を踏んで考えていただきたいです。歴史ある園を簡単に閉園に持ち込む、持ち込みたいとも受け取れる内容には不信感を抱きました。再度、閉園という選択肢が無く各園を存続させるべく取り組みを検討していただけるようお願いしたいです。</p>  |  |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 72 | <p>現在、台東区の区立幼稚園に通っています。入園時より、週5日の給食、預かり保育の実施、リフレッシュ目的の預かり保育利用が可能…と、保護者のニーズに対応していただき、皆様のご尽力に深く感謝しております。この度の対応案につきまして、今後の区立幼稚園の教育をより良くする為のものだと承知しておりますが、僭越ながら私の意見を申し上げます。</p> <p>来年度からクラス編制基準を10名にするのは時期尚早なのでは？</p> <p>来年度から全園で預かり保育実施予定ですが、そのことをまだ知らない人も多いはず。それなのに来年度から募集人数を10名とするのは厳しすぎなのでは？もっと区民の方に区立幼稚園について周知をし、預かり保育についての情報等が浸透してから、募集人数の基準について再検討をお願いしたいです。保育園や私立幼稚園との兼ね合いもあり、区立幼稚園だけ…というのは難しい事も多々あるとは思いますが、ご検討いただけますと幸いです。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 73 | <p>令和7年度から全園預かり保育が始まるとあるが、浸透するには時間がかかるはずなので、実施年度からの入園児数を参考にするのは早すぎると思う。</p> <p>令和4年度から預かり実施の園も令和6年度にやっと浸透してきたようなのに急に実施年度からの人数を参考にするのは早すぎるのではないかと思う。</p>   |   |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 74 | <p>区立幼稚園に通う子どもがいます。来年度に下の子も入園する予定です。その立場から意見致します。</p> <p>地域の子育て支援活動や預かり保育全園実施など、とてもよい対応だと思いました。仕事もしたい、子供との時間もたくさん取りたい、色々な家庭のニーズに対応できる素晴らしい、新しい幼稚園になることを期待します。</p> <p>しかし、来年度から3歳児クラスの学級編制基準を10名に変更すること、4月時点で10名を下回る場合は翌年度の学級編制を行わないことについては、まだ時期が早いと考えます。理由は以下の3つです。</p> <p>①周知期間の短さ<br/>例年区立幼稚園の申込みは11月です。今から「今後の対応」を周知してももはや半年もなく、改善点を含めた区立幼稚園の良さを知ってもらうのに十分な期間と思えません。</p> <p>また、広報誌やSNSの情報発信も良いですが、実際に園を利用している人の生きた声(口コミ)も園の選択には重要だと思います。来年度から実際に預かり保育等を利用し、現在通っている園の良さを周りに伝えたくとも、基準に達せず入園できなかった場合、それすら不可能になり、とても悔しいです。</p> <p>②来年度入園の家庭に「今後の対応」が影響しにくい可能性<br/>来年度に入園を控える家庭で、この時期に全く進路を考えていない家庭は少数で、幼稚園か保育園かくらいははっきり決めている方が多いと思います。そんな中「今後の対応」を知り、急に保育園から幼稚園にシフトできるのか。そんな方もきっといらっしゃると思いますが、それを来年度入園の方に求めるのは難しく、来年度に入園者数が大きく変わることは稀であると思います。「今後の対応」は来年度よりもっと先に入園を控える家庭により影響するものと考え、従って学級編制基準を来年度から引き上げてしまうのは早いと考えます。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育(定期利用)非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育(定期利用)の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |



| 分類 | 項番         | 意見  | 区の考え方 |
|----|------------|---|-------|
| 2  | 学級編制基準の見直し | <p>③先行して預かり保育を行っていた園の優位性</p> <p>一部先行して預かり保育を行っていた園にここ数年は園児が集中し、周辺の園が園児獲得に苦戦を強いられています。すでに上の子が入園していれば、下の子も同じ園にと言う家庭が多いでしょうし、そうなれば先行して預かり保育を行っていた園は依然有利です。全園等しく預かり保育を行い、定着したのちでないと全園は対等でなく、不公平が生じます。</p> <p>以上の点から、来年度から3歳児クラスの学級編制基準を10名に変更すること、4月時点で10名を下回る場合は翌年度の学級編制を行わないことについて反対です。</p> <p>データを見て、区立幼稚園を取り巻く環境については理解できました。今後も園児獲得には厳しい状況が続くことと思います。そんな中でも、地域の区立幼稚園に行きたいという家庭はあります。そんな家庭のために、またそういった家庭を増やすために、区立幼稚園には窓口を広く持っていて欲しい。</p> <p>「今後の対応」は特効薬ではなく、運用するうちに一定の評価を得、じわじわと効果がでるものと思いました。まずは全園預かり保育実施など「今後の対応」で改善された内容にて運用し、今後数年の園児数の伸び率と運用した中での問題点・改善点を踏まえた上で、改めて学級編制基準を検討することを強く求めます。</p> |       |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 75 | <p>コロナ禍をへて社会の生活様式が変化、国も子育て世代にも両親に仕事をする事を推奨する世の中において服部区長がおっしゃっている子育てするなら台東区、幼稚教育の大切さを再認識して欲しい。</p> <p>預かり保育を開始する園がある中で、令和7年度のクラス編制から可否基準を10名としてしまうのは、10名と言う基準は何を根拠にしているのか、また実施するなら時期尚早ではないでしょうか。</p> <p>預かり保育実施がもう少し浸透してから可否基準の人数の再考して何人以上という基準を設けるなりして欲しい。</p> <p>幼稚園は義務教育ではないけど現代社会においてはとても重要です。</p> <p>また区は区立幼稚園でも共働きでも通園出来る様に子育て世代に周知また対応出来る様にして欲しいです。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>具体的には最低5人の集団が複数、少なくとも2グループ作れることで、5人の中での関係性に加えて、さらにグループ間相互の刺激や協力が生まれ、より良い集団教育につながると考え、10人以上と設定しました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> <p>また、新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> |
|                 | 76 | <p>全園預かり保育が実施できると安く預けて働きたい人に人気の区立子ども園以外でも選択肢が広がるのは良いと思う。区立、私立、または保育園も園児が分散される可能性もありますが、令和7年度から最低10名以上でないとは閉園を検討するのは預かりの世間への認知が、充分でないと思うのでまだ早いのではないかと思います。保育士が14時以降担当することや料金の違いやPTAの活動内容など認知してもらってから基準を設けたらいいのではと思う。</p>   | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p>  |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 77 | <p>来年度からクラス編制基準を10名にするのは時期尚早であるのではないのでしょうか。来年度から全園で預かり保育実施予定ですが、そのことを知らない人も多いと思います。また始まってから知れ渡るのにも数年かかると思います。それなのに来年度から募集人数を10名とするのは厳しいと感じます。質のいい教育のための人数設定は専門家の先生のご意見であり、ごもっともだと思いますが、もっと区民の方に区立幼稚園について周知をし、預かり保育についての情報等が浸透してから、募集人数の基準について再検討をお願いしたいと思っています。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 78 | <p>来年度から全園で預かり保育を実施することとクラス編制の人数を10名以上に引き上げることを同時に行うことには断固反対です。</p> <p>先に預かり保育を実施し、その情報が子育て世代全てに浸透して、保育園と幼稚園どちらに入園させようか、と選択肢が広がるまでクラス編制の人数を引き上げるのは時期尚早だと思います。</p>   |  |
|                 | 79 | <p>千束幼稚園に子どもを通わせていて、感じたことは公立の幼稚園の教育内容はとても良いと思うので、出来たらこのまま存続してほしいです。</p> <p>来年から毎日延長が始まるとの事なので、そこからはばらばら周知して子どもの人数が増えるまで様子を見てほしいです。</p>  |  |
|                 | 80 | <p>慣れてから預かり保育をスタートさせる方もいると思いますので、預かり保育の実施年度からの入園児数を参考にするのは少し早いのではないかと思います。</p> <p>そもそも預かり保育についてのアピールが少ないと思うので、さあ実施しました…さあ検討しましょうでは早すぎると感じます。2～3年は検討期間があるべきかと…</p>   |  |
|                 | 81 | <p>1学級編制基準の見直しについて：令和7年度から基準を10人以上とするのは同年度から預かり保育を開始する園がある中で時期尚早かと思っています。</p>   |  |
|                 | 82 | <p>令和7年度から預かり保育の全園実施等が始まるとのことですが、それらが周知されるにはある程度時間がかかるかと思っています。そのため令和7年度より学級編制の基準を10人としてしまうのは時期尚早ではないかと感じます。</p>  |  |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 83 | <p>来年度、区立幼稚園全園で預かり保育が拡大するということが大変嬉しく思います。</p> <p>ですが、それに伴いクラス編制の最低人数が10人というのは、かなり厳しいのではないのでしょうか。</p> <p>来年度から預かり保育がスタートする園がある中で、最低基準が10名にしてしまうのは急ぎすぎではと思います。</p> <p>もし10名を2年連続下まわってしまい、閉園の幼稚園が出てしまったら、区立幼稚園に通わせたくても近所になくなってしまい、遠くまで通わなくてはならない状況が出てきてしまいます。</p> <p>折角預かり保育やお弁当給食があっても保護者にも園児にも負担が大きくなることと思います。</p> <p>もう少し預かり保育があること、お弁当給食があることが広まってから最低基準10名としてほしいです。</p>        | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 84 | <p>保育園利用で悩んでいたところ、たまたま預かり保育のポスターを見つけ、共働きでも幼稚園へ通わせられると知ることができ、いま、のびのびとした敷地で豊かな経験ができる幼稚園教育にとっても満足しています。幸運だったと思います。そのため、預かり保育が他園でも広く実施されることは素晴らしいことだと思いますが、同時に、閉園条件が厳しくなるタイミングが近いのが、疑問に感じます。というのが、私たちはたまたま保育園利用に悩んでいたから小さなチラシの情報もキャッチでき、そしてチラシを見つけたのは幸運だったと思います。これからは幸運だから入れた、というのではなく、幼稚園教育と預かり保育が周知し、純粹に保育園か預かり保育のある幼稚園か、子供を持つ親さんたちが知っていて選べるようになる状態で、閉園条件が変わるのが良いのではないのでしょうか。</p> |   |
|                 | 85 | <p>区立幼稚園の預かり保育がまだまだ浸透していない中、可否基準を10名にしてしまうのは時期尚早だと思います。</p>  |   |
|                 | 86 | <p>10人を切ったら閉園などを考えるには時期が早すぎると思います。台東区に住んでいる幼稚園児の数が減っている事に、対策をしてからだと思います。</p>   |   |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 87 | <p>小学生の我が子は公立幼稚園出身です。地域との繋がりや保護者の雰囲気や、良い思い出がない幼稚園に4歳差6歳差の兄弟が通っています。妹はここに入るのが当然かのような感じでした。令和7年度から預かり保育を開始する園がある中で、令和7年度のクラス編制から基準を10名としてしまうのは、少々時期が早過ぎるのではないのでしょうか。2歳差3歳差が多い兄弟枠のことを考えると、2年後3年後に入りたい。でもそこで弟妹が同じ園に入れないというのは保護者にとってあまりに負担であり、せっかく入れたかった園に絶望すると思います。また、万が一一定数が少なくクラス編制をされなかった園に、親は我が子を預ける場所の対象にするのでしょうか。是非とも預かり保育実施がもう少し浸透(まずは3年経過)してから10名以上という基準を設けていただきたいです。</p>  | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育(定期利用)非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育(定期利用)の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力や十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 88 | <p>台東区に住む子どもたちや子どもを持つ家庭のために様々ご検討いただきありがとうございます。区立幼稚園において、預かり保育や給食が始まり以前より選択肢が増えたこと大変うれしいです。同じ小学校に通う保護者から、預かり保育が利用しやすくなり、小学校の保護者会やPTA活動の際など仕事以外の用事の時でも下の子を預けることができるとも助かっていると話を聞きました。令和7年度からは全園で実施ということにより助かる方も増えるのではと期待しています。</p> <p>ただ、今後の対策の部分で気になることがあります。「令和7年4月、令和8年4月と2年連続で、4月時点で9名以下の場合、翌年度(令和9年度)の学級編制は行いません。」という点についてです。令和7年から全園で預かり保育が始まるのに、存続の可否基準を令和7年からとするのはちょっと早すぎませんか。なぜ同年なのでしょう。全園で預かり保育が始まるということをもっと周知し、その上で希望者が少なかったら、ということなら理解できるのですが、令和7年、令和8年の2年連続で9名以下の場合学級編制なしというのは時期尚早だと思います。</p> |   |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 89 | <p>令和 3,4 年度と台東区立幼稚園 PTA 連合会の会長を務めてきました。その中で、やはり拡張型預かり保育が始まった 5 園と始まらなかった 5 園（石浜橋場こども園を除く）で色々と差が出てきたように感じました。試行期間 2 年が過ぎ、ある程度効果が見えてきたおかげで、来年度から全 10 園で始まるのは大変ありがたく思います。コロナ前とコロナ禍～コロナ後では保護者の働き方のスタイルなども大きく変わり、区立幼稚園に対するニーズが変わってきました。</p> <p>清島幼稚園で説明会を開催していただいた際に伺った話でもありますが、試行期間が 2 年間あった 5 園はそれなりに認知されてきたように感じますが、来年度から始まる残りの 5 園に関しては、まだまだ周知がされない状況になるかと思えます。学務課の方々も色々な場所に告知していただけたとおっしゃっていましたが、その期間の差はかなり大きいと思います。（保育園とは違って、延長保育は有料という課題ももちろんあるとは思いますが。）</p> <p>10 月頃から令和 7 年度の園児募集が始まるかと思いますが、それまでの期間を考えてもどれだけ来年度年少クラスに入る対象の親子に周知したり、その対象となる親子が園を検討したりできるのか非常に不安です。年少クラス開設の最低ラインの条件が底上げされ、どの園もかなり厳しくなってくるとは思いますが、このような状況で条件に満たなかった場合、あくまでも検討ですというお話しではありましたがクラス開設しない、2 年連続の場合は廃園を検討するというのはかなり厳しいと思いました。せめて試行期間を延長保育の施策同様 2 年見てもらいたいです。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和 9 年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 90 | <p>学級編制基準の見直しについて、少子化が進む現在、致し方のない妥当な基準だと感じます。が、来年から施行するには時期尚早すぎないかと感じました。全園預かり保育実施がもう少し浸透してからこの基準で実施、検討しても良いのではないかと思います。</p>   |   |

| 分類              | 項番 | 意見   | 区の考え方  |
|-----------------|----|--|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 91 | <p>学級編制基準について、令和7年からクラス編制基準を10人にするのは早すぎるのではないのでしょうか？</p> <p>全園預かり保育を開始するのはとても喜ばしいことではありますが、同時期になるとまだ預かり保育が全園でできることを知らない方もいるでしょうし、知らない場合、もともと預かりを実施している園しか考えていない方もいるのではないのでしょうか？せめてあと2、3年、全園で預かり保育や弁当給食の実施などを行っていることを周知、浸透してから考えていただけないのでしょうか？</p>  | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 92 | <p>学級編制基準の見直しについても、預かり保育全園での施行をしてからもう少し様子を見てはいかがでしょうか。特に区立幼稚園の預かり保育について、保育園利用者は情報が取得されにくいように思います。保育園の案内通知の中に記載いただくなど預かり保育についてももっと広報すべきだと思います。区立幼稚園で子供が質の高い幼児教育を受け成長が著しいことを思うと、もっと多くの方に区立幼稚園の存在をしってもらえれば、人数の拡大にもつながると思います。区立幼稚園の教職員の方々は高い志をもって職務にあたっていると思います。どうかその方々の思いを大事にし働く場の維持をお願いします。</p>        |  |
|                 | 93 | <p>預かり保育(定期利用)が浸透していない中、令和7年度から預かり保育を開始して令和7年度のクラス編制から基準を10名としてしまうのは、あまりにも時期尚早ではと感じる。告知から5ヶ月ほどで入園申し込みが始まるのに、保護者として入園を判断する材料として不十分では。実際、預かり保育実施が始まり数年後に入園者が増えた園もみられる。数ヶ月の告知のみですぐにこの10人というクラス編制基準により学年編制が行われない場合、次年度の入園数が増えるとは保護者として到底思えない。また兄弟姉妹で同じ幼稚園に通園を希望する場合、万が一クラス編制が行われない場合の説明や対応策が不十分と感じる。</p> |  |

| 分類              | 項番 | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 94 | <p>現在 5 園で実施されている預かり保育を令和 7 年度から全園で実施いただけることにとっても感謝します。しかし令和 7 年度から預かり保育を開始する園がある中で、令和 7 年度のクラス編制から可否基準を 10 名としてしまうのはあまりにも時期尚早ではないかと考えます。少なくともこれから実施する園の預かり保育がもう少し浸透してから基準を設けるなりしていただきたいです。</p>   | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和 9 年度入園分からの適用と変更します。</p>                              |
|                 | 95 | <p>令和 7 年度から預かり保育を開始する園がある中で、令和 7 年度のクラス編制から可否基準を 10 名としてしまうのは、時期尚早ではないかと思えます。預かり保育実施がもう少し浸透してから 10 名以上という基準を設けるなりして欲しいです。</p>  | <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 96 | <p>2 年連続でクラス編制最低人数を下回った園については、閉園を検討とありましたが令和 7 年度から預かり保育を開始する園がある中で、同年度のクラス編制から可否基準を 10 名としてしまうのは、時期尚早ではないでしょうか。（20 人近くの園児の担任が 1 人では目が行き届かない不安もあります）</p> <p>近くの公立幼稚園に通いたいと考えている家庭には台東区に転入する際には知りたい情報かと思えます。（未就園児の親だけでなく、子どもを希望する家庭も）</p> <p>預かり保育実施がもう少し浸透してから基準を設けてもよいのではないのでしょうか。集団教育の質を保つためとはいえ、単に閉園ではなく統合なり残せる形を検討していただきたいことを希望します。</p> |  |
|                 | 97 | <p>令和 7 年度より預かり保育が実施される園がある中で、預かり初年度より可否基準を 10 名としてしまうのは時期尚早であると考えます。</p>   |  |
|                 | 98 | <p>令和 7 年度より預かり保育（定期利用）を全園で実施については、保護者のニーズも高く、今後の入園希望者の増加にも繋がると思うので、ぜひ実施していただきたい。しかし、閉園が検討される 2 年間ではそれが周知されない可能性もあるので、預かり保育（定期利用）実施から閉園までもう少し期間を設けてほしい。</p>   |  |



| 分類              | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|-----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 99  | <p>台東区 HP にある「台東区の将来人口推計について」にあるように、今後台東区の人口は増加傾向にあると予測されています。新しいタワーマンションの乱立による人口増加により、隣接区の小学校では教室が足りないケースもあると聞きます。谷中小学校が現校舎に建て替わった際、谷中は人口が減少すると予測され、校舎はいずれ高齢者施設へと転換させる予定だった頃の未来予想図とは大きく異なることは言うまでもありません。</p> <p>また、労働人口の減少や円安の影響などから、暮らしやすい台東区での外国人人口の増加が見込まれます。区立幼稚園では、入園時には日本語ができない子供が修了時にはクラスの一員として、堂々と言葉を操れるようになっていきます。また、配慮が必要な子供は、大人数の幼稚園では入園拒否をされることもあると聞きますが、区立幼稚園ではきめ細かく対応することができます。先生方も時代に即した教育の実践のために、色々な研修を受け、その学びを日々の保育の場に活かしたり、保護者に伝達しようとして努力してくれています。多種多様な背景を持つ子供たちの保育の受け皿になると同時に、それ以外の子供達にとっても、当たり前のように様々な個性の中で成長することが、未来を生きる力を育ててくれています。このような実践力をすでに備えている区立幼稚園を存続させていくことは、今後の社会にとって大切なことです。そのため、資料 P.23 にある様な学級編制基準 10 人以上との提案は、預かり保育やお弁当給食など、導入後まだ日が浅い保育サービスに対する認知度がもっと上がった後に検討していただきたいと要望します。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和 9 年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 100 | <p>学級編制基準の見直しについて、「質の高い幼児教育」を目指すという点で基準を見直されているという事は理解致しました。それでも学級編制、閉園の条件が少し厳しいように思います。全園での預り保育、弁当給食の実施が始まり、3 年は今までと同じように、その後、また見直す機会があっても良いのではないかと思います。実際に経験した親子がどうか、検証する時間が必要なのではないかと思います。</p>   |  |

| 分類              | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|-----|---|--|
|                 | 101 | <p>令和7年度のクラス編制から可否基準を10名とするとありますが、対象の区民へ全園で預かり保育を実施することや、給食実施などの情報が行き届くか疑問です。今と変わらない周知方法では1年では短すぎると思います。台桜幼稚園の延長保育もまだまだ知らない方も多い状況なので、まずは子育て世代へのPRが第一だと思います。ご存知の通り台桜幼稚園も預かり開始後3年で少しずつ人数が増えています。情報が浸透するには時間がかかります。ご検討お願いいたします。</p>  | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
| 2<br>学級編制基準の見直し | 102 | <p>昨今、区立幼稚園の入園数は年々減少しており閉園の危機との瀬戸際で存続してる状態といっても過言ではないのではないかと。我が子は皆区立幼稚園に通わせていた。子供らしく伸び伸びとした幼児教育、経済面、小学校入学、未就園児の会から通っていたこと、近所ということや子供の親が通園していたことで迷わず区立幼稚園の入園を希望した。1番下の子は年少クラスが開室するか厳しい学年であった。</p> <p>数年前から一部の幼稚園で預かり保育や給食が実施され、入園希望する保護者の増加と同時に在園する保護者や卒園保護者、先生方は毎年入園募集時には不安や緊張感をもたらし、年少クラスが開室できた時には存続の安堵感と喜びでいっぱいだった。そんな同じように思う園はたくさんあったのではないだろうか。</p> <p>令和7年度からは全園で預かり保育や給食が始まる。同時に年少の最低人数が7名→10名で集まらないと開室出来ない話があがっているが、先日の文教委員会で令和2年度をピークに区内の子供の人数が減少している話を聞いた。これから預かり保育が始まる園もあり少しずつ浸透している最中、なぜ来年度から10名に増加させたのか、満たない場合開室されない、2年連続満たない場合は閉園になるのか、早々に決定した理由を聞きたいと思うし、これから預かり保育が実施始まる園もあるため時期尚早ではないでしょうか。</p> |  |

| 分類              | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|-----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 103 | <p>3歳児クラスの学級編制基準を7名以上から10名以上にする、2年連続で9名以下の場合翌年度の学級編制は行わないという案に関してですが、台東区では、令和3年・4年から預かり保育を一部で拡充されたようだが、昨今では、共働きの夫婦が多くなっており、預かり保育がない場合、保育園に入園せざるを得ない状況かと思えますが、預かり保育を拡充した以上、今の時点で、判断するには、時期尚早ではないかなと思います。</p> <p>実際に、今年度3歳クラスは人数が増えてきているように思います。保護者が保育園以外に選択肢を広げるまでにまだ時間が必要かと思えます。また、保護者としても、小学校を見据えての教育や学区内で預けられること、幼稚園の高い教育レベルは安心して子供を預けられる環境として、親も仕事に専念出来、有難い場所だと思います。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 104 | <p>保育園との入所者が増加している現状をみると、区立幼稚園にも長時間のあずかり保育をすべての区立幼稚園で実施すべきである。先行してあずかり保育を行った5園と比較するとまだ実施していない区立幼稚園の入園児数は、少ないことはあきらかである。この現状を鑑みると長時間あずかり保育を導入した初年度では3才児クラス学級編制基準をみたく事は困難である。その為先行して行った5園と同等程度の猶予期間(2年～3年)を設けるべきである。就学前の教育保育の質の向上に資する区立幼稚園の幼児教育は今後も社会にとって必要不可欠である。</p>  |  |
|                 | 105 | <p>学級編制基準の見直しについてR7年度の入園児の募集分から学級編制基準を引き上げるのは時期尚早ではないかと思えます。預かり保育の実施がしっかりと広まってから検討してほしいです。</p>  |  |

| 分類              | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------|-----|--|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 106 | <p>今回、区立幼稚園、全園あずかり保育 5 日間とれるという事で、大正幼稚園に通っている保護者、喜んでおります。ただ、来年から 10 人以上入園しなければ、休園するかもしれない条件を知りました。先にはじめた 5 園は、2 年のおためし期間があって、今、10 人以上園児確保できているので、来年からあずかり保育する園も 2 年のおためし期間をいただかないと、不平等だなと感じました。私は、4 人子どもがいて、上 3 人は大正幼稚園で育てていただき、下の子も今年から入園しています。あずかり保育があるから保育園ではなく、幼稚園にあずけて、働きながらでも、子供の教育、育ててくれる園にたくさん入園して下さる事を願います。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和 9 年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 107 | <p>昨今の少子化の中、幼稚園存続をかけたのご検討ありがとうございます。一卒園児の母として、全園で預り保育とお弁当給食を実施して頂けるとのこと、非常にありがたく、嬉しく思います。一方で、来年度からクラス編制可否基準を 10 名とするのは時期尚早ではないでしょうか。数年前に預りが導入された 5 園にここ数年は入園児が偏重しています。この事実を前に、来年度から導入される園にまで同等に可否基準を適用するのは、テスト導入していた 5 園に対し不利なように思います。テスト導入から数年経ての今回の検討案であることから、全園導入から同程度期間様子を見てから、閉園検討に向けての施策を実施していただきたいです。</p>         |   |
|                 | 108 | <p>6 月に最終案がまとまり、11 月上旬に入園申込があるのに、4(2)の学級編制基準の見直しを行おうとしている点について。最長でも 5 ヶ月しかない上に、「周知する」という言葉に終始しており、考えの甘さを感じた。人によっては、働き方の見直しや会社との調整も発生する内容であり、入園希望があっても準備がまにあわない(故にあきらめる)こともあるように思った。また 7、8 月は長期休みとなり、幼稚園側からのアプローチも難しい期間となる。4(2)については今後の課題ではあれ、時期尚早のように思われる。</p>   |   |

| 分類              | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|-----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 109 | <p>預かり保育の拡充によって、幼稚園の使い勝手が良くなると感じたが、すぐに園児の人数を理由にした廃園の可能性を示唆することは、非常に遺憾である。現時点で通っている幼稚園児が年下の子との交流の機会を奪いかねない。また、地域の幼稚園の距離の近さは親の負担軽減に直結するため、預かり保育の一律実施の影響を見るためにも兄弟の影響が少なくなる4年間は様子を見るべきと思う。</p> <p>仮に幼稚園が廃園となる場合には、家庭の希望があれば兄弟共に同じ教育施設に入れるような手当が必要だと思う。兄弟が別々の施設に通うことはその家庭の負担がとても重く、家庭が崩壊しかねないです。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>万が一、閉園を検討する際には、0～5歳の就学前人口や周辺の幼稚園の分布状況等、様々なデータを基に総合的に判断いたします。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>  |
|                 | 110 | <p>様々な方策(確保のための)をとった上での学級編制基準の見直しは止むを得ないものとする。</p>  | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |

| 分類              | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|-----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 111 | <p>・万が一募集停止になった場合に入園希望していた方の行き先について：兄弟がまだその園に在園しているとき兄弟・弟妹が別の幼稚園に行くことは大きな負担であり、そのために兄弟が転園することは子供にとって大きな負担になります。その場合、どのような措置がとられるのか</p> <p>・特別支援を必要とするお子さんが通いやすいと選択した幼稚園が募集停止になった場合、通園しやすい幼稚園がない、遠くなり大変等が生まれる可能性があることに対してどう対処していくか</p>   | <p>新たな学級編制基準の適用について、預かり保育（定期利用）非拡充園に対しては経過措置を設けますが、その他の特例要件を設けることは検討しておりません。</p> <p>また、現在も、募集時に定員に達していない園があった場合は、該当園を希望されている方に対して、他の区立幼稚園への振替希望の意向確認を行っており、今後も同様に対応してまいります。</p> <p>万が一、学級編制が出来ない場合に、こういった対応が取れるか、頂いたご意見も参考に、検討してまいります。</p>      |
|                 | 112 | <p>・小学校の学区外と知りながら、よりよい、ベターな幼稚園選びをする人もいます。校庭の環境(日あたりのよさ)、ひらけた雰囲気(関わったり挨拶したりする先生の多さ、遊べる場所、質問しやすい雰囲気か)外的要因によらない自主的な活動や園の魅力について語れる先生たちか、実際に通わせたいと思える園は1つだけだったので、人数が足りなかったらどうしようと入園が確定するまでは辛い気持ちになった。現在、通いたいと思っていた園に行くことができ、親子共々充実した毎日をごさせている。学級編制するかどうかの検討も、数だけにとらわれず、総合的に判断すべきである。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |

| 分類              | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------|-----|---|---|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 113 | <p>募集で定員割れした際の子供たちの行先はどうお考えでしょうか？</p> <p>区立幼稚園は、文章にもあった通り、外国籍の子や、障害のあるお子さんも多く通っていらっしゃいます。その子供たちは、特別な配慮ができない私立幼稚園で受け入れて貰えないという就園へのハンディキャップがあります。ハンデのあるお子さんや、その保護者が社会から断絶されてしまわないよう、ご配慮願います。（例えば近隣の幼稚園、保育園などで、区立幼稚園が開園できないせいで溢れてしまった場合に、預け入れ、加配が可能なかをきちんと検討していただきたいです。）</p> <p>また、インクルーシブ教育という面で、色々な背景の子供たちが育ちあう区立幼稚園は、ハンデのある子にもない子にも、素晴らしい学習の機会があると思います。開園しない基準が厳しくなる為、そういった機会が失われていくのではということはずごく残念に思います。</p> <p>預かり保育の全園展開などは新たな希望者の獲得にとっても良いと思いますが、元から希望者の少ない園は預かりがあっても希望人数が増えていない現状があります。いつその事廃園などもお考えなのか、お聞きしてみたいです。</p> | <p>現在も、募集時に定員に達していない園があった場合は、該当園を希望されている方に対して、他の区立幼稚園への振替希望の意向を確認しております。今後も同様の取り扱いで対応してまいります。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p>                     |
|                 | 114 | <p>現状も、7名集まらなかった園は年少クラスを編制しないというルールだが、実際は6名以下でも年少クラスが編制できてしまっている。人数を7から10に引き上げたところで、同じことが起こるのであれば意味がない対応だと思う。</p>   | <p>現在は「募集時に7名以上」という基準で運用しており、募集時に基準を上回るため、学級編制を決定しておりますが、その後保育園への入園等による辞退のため、年度当初時点で7名を下回る園が出てきています。</p> <p>今後は、3歳児クラスの学級編制基準を10人以上とし、「募集時に9名以下の場合」や、「2年連続で、4月時点で3歳児が9名以下の場合」は翌年度の学級編制を行わないこととして、一定の園児数が確保された環境が整うよう努めてまいります。</p> |

| 分類              | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|-----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 115 | <p>子供は社会の宝なので幼児教育は何よりも重要と思っています。・「令和7年度から募集時点で3歳児が9名以下」に基準変更とする。・「2年連続で4月時点で3歳児が9名以下」の場合は、翌年度の学級編制は行わない。・2年連続で学級編制が出来ない場合は閉園検討。・「園児数は5～10人が望ましいとあり現在の基準は「募集時点で7人以上」 少子化なのにどうして基準人数を「10人以上」と増やすのでしょうか?以上の事は「閉園ありき」で始まっているのでは?と思いました。 未就園児の会や支援活動を充実させるよう各幼稚園で努力されているのに「7年度から基準見直し」では早い気がします。活動を充実させてからにして欲しいです。</p> <p>「預かり保育」は現在5園だけで全園実施は7年度から、それなのに基準見直しが一律なのはどうしてですか? 万が一、地域の幼稚園が閉園になっても区立幼稚園での教育を受けさせたいと思ったら遠方へ行く事になります。その場合通園にかかる時間やその他、諸々のことが親御さんにはかなりの負担が生じます。その負担の軽減方法は区にどういう案があるか聞かせて下さい。近隣住民との触れあいや地域で教育を受けるからこそ郷土愛が育つのではないのでしょうか?区立小学校に併設なので小学校(小学生)との交流が自然に出来ているのは嬉しい事です。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>なお、新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育(定期利用)非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>また、万が一、閉園を検討する際には、0～5歳の就学前人口や周辺の幼稚園の分布状況等、様々なデータを基に総合的に判断してまいります。閉園時の対応については、頂いたご意見も参考に、引き続き検討してまいります。</p> |
|                 | 116 | <p>田原幼稚園などは近々改修の予定があると聞いている。大規模改修を控えている幼稚園については工事期間中園児が減少し、完成後に園児が増加されることが予測される(直近実績としては育英幼稚園がその傾向であったと思う)。工事期間に学級編制基準を割るケースについては慎重に対応してほしい。</p>  | <p>これまで大規模改修を実施した園の募集状況も踏まえたうえで、今回、学級編制基準に特段の配慮事項を加えないこととしています。</p> <p>今後、大規模改修実施にあたっては保護者に十分な説明をしたうえで、改修中においても適切な教育環境が維持できるよう注力してまいります。</p>   |



| 分類              | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|-----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 117 | 令和7年度からクラス編制の可否基準を10名と引き上げるのは、時期尚早なのではないかと思えます。   | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 118 | <p>令和7年度より区立幼稚園全園で毎日、長期休暇中も預かり保育の実施や毎日お弁当給食の導入は大変助かりますが、変更点が認識されるまである程度の時間がかかると思うので、令和7年度4月の時点で3歳児クラスが9名以下の場合は学級編成を行わない、また2年連続となった場合は閉園というのは厳しい条件かと思えます。せめて令和7年度からではないもう少し猶予期間が欲しいです。また、令和7年度からの変更点をより多くの人に認識してもらう為に区のホームページやそれ以外でもわかりやすい形で伝わる様に工夫していただきたいです。兄弟姉妹がすでに区立幼稚園に通っている場合、関園等の理由で同じ園ではなく別々の園に通わなければならないとなると送迎や園行事への参加の面から見ても現実的ではなく、保護者の負担が増え、更に区立幼稚園入園希望者は減ってしまうと考えます。また、在園児がいる保護者からすると、お世話になった園が閉園になってしまうのはとても悲しいです。柔軟な対応をお願いしたいと思います。</p> |  |
|                 | 119 | <p>令和7年度の学級編制をいきなり行なわないという点はとても急すぎると思われまます。預かり保育の全園実施の広報をすみやかに行って先に預かり保育を行っている園との格差をどのようになくすかの方法も示されていない中で行うのは不公平だと思えます。令和4年から預かり保育を行っている台桜が10人以上の入園者が入るまでに3年間かかっているのが最紙でも3年は学級編制を行って園としての運営が続いていくようにして欲しい。また、三社祭に園児が町会に行ったり、小学校の校庭で行う盆踊りでも、園児が参加したり地域とのつながりがとても多い園なのでなくすような事は避けたい。</p>   |  |

| 分類              | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----------------|-----|--|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 120 | <p>区立幼稚園での預かり保育が実施されるにあたり、周知され、実際に利用したいとなるには数年かかるのでは。様々な情報が溢れていますが、子どもの事に関してはネットなどの情報よりも、経験者からの話が1番安心感と信頼ができるため、口コミが重要な情報源となっている親が多くいる。経験者からの情報もない中、初年度から預かり保育が始まったからと預けるのは正直迷う。数年たち、通園されている方の話や、卒園された方からの話を聞いてから通園させようと決めるのでは。預かり保育をはじめ初年度から募集時点で9名以下の場合には翌年度のクラス編制をしないと決めてしまうのは、まだ周知されていない中では時期尚早。もう数年様子を見るべき。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和9年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|                 | 121 | <p>令和7年度のクラス編制から可否基準を10名としてしまうのは、時期尚早ではないでしょうか。その年度によって、そもそもの子供の人数が少ない年もあるでしょうし、どうしても集まらない年もあるかと思いますが、とても良い幼稚園ばかりなので閉園はどうしても避けて欲しいです。</p>  |  |
|                 | 122 | <p>可否基準10名に基準上げることについて。預かり保育や弁当給食が未就園児の保護者にとって入園基準になる内容に改善されてこれから園児数増えていくのではないかとと思われる中、認知もまだまだですぐ結果が見える状況でもないのに基準も一緒に上げますは時期尚早なのではと思われまので再検討願います。</p>  |  |
|                 | 123 | <p>未就園児として会に参加していたり、園の見学に来てくれたりしていた人達も、預りが週2回だった為に、他園を選ばれていた方が数名いました。その為、新入園児の数が少なくなり、その少ない人数を見て、園をどう選択するかを悩まれている方もいました。その為、現在すでに新入園児が少ない園は、はじめから10名を集めるのに不利な状態となってしまっています。令和7年度からの10名に満たない場合は学級編制なしという条件は、もう少し先延ばしにしていただけませんか。</p>  |  |
|                 | 124 | <p>預かり保育を令和7年度から開始する園がある中、クラス編制の可否基準を10名としてしまうのは、時期尚早ではないかと思えます。各園の預かり保育がもう少し浸透してからでもいいのではないのでしょうか。</p>  |  |

| 分類              | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------|-----|---|--|
| 2<br>学級編制基準の見直し | 125 | <p>園児数が多い方が望ましいのは理解できますが、平成23年のデータで最低園児数10人というのはハードルが高すぎます。12年以上経って明らかに子供の数も減っている上に、無償化の影響で保育園や私立幼稚園に流れているので、最低園児数は変更しない方がいいと思います。また、2年連続で人数が満たない場合、閉園を検討するとのことですが何園も閉園してしまった時に、近隣の園に集中し、逆に収まりきらない事になったり、抽選になった時に近隣の幼稚園に通えなくなり、せっかく預かり保育を実施しても有効活用できないと思います。これまで週5預かりがなかった5園は預かり希望や預かりを考える親御さんがこれまで検討しなかったと思うので、兄弟やママ友等の繋がり次第で次の子も既に預かりを行っている園に行く可能性が高く、条件がさらに厳しいと思います。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。国の考え方、区の現状、学識経験者からの意見などを踏まえ、今回、学級編制基準を10人以上に見直しました。</p> <p>また、万が一、閉園を検討する際には、0～5歳の就学前人口や周辺の幼稚園の分布状況等、様々なデータを基に総合的に判断してまいります。</p> |
|                 | 126 | <p>来年度長男が年長、次男が年少になります。そのため、もし人数が足りず次男が同じ園に入園が出来ないとなると長男の転園を考えるしかなくなりますし、その場合他の区に引越しも考えています。もちろん人数がいなくて十分な教育を受けられないかもしれませんが、せめて来年度に関しては兄弟枠を作って同じ園に確実に入園できるようにして頂けると幸いです。</p>  | <p>新たな学級編制基準の適用について、預かり保育（定期利用）非拡充園に対しては経過措置を設けますが、その他特例要件は現時点では検討しておりません。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>   |
|                 | 127 | <p>学級編制基準の見直しで、この基準を作ることは妥当だと感じますが、在園児の兄弟が学級編制を行わない状況になった場合、どこまで対応を考えているのか知りたいです。兄弟別の園に通わせるのか、またはそろって転園するのか、保護者の負担しか想像できず、少数的な状況になりますが明確にしてほしいと思いました。全園で預かり保育が浸透してから、実施した方が良くと思います。</p>   | <p>新たな学級編制基準の適用について、預かり保育（定期利用）非拡充園に対しては経過措置を設けますが、その他特例要件は現時点では検討しておりません。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>   |

| 分類                  | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|---------------------|-----|---|---|
|                     | 128 | <p>2歳児クラスからのプレスクールについてですが「親が同伴で園内で遊ぶ」だけではなく【満3歳を迎えた月以降、数時間の母子分離が可能】や【日によってテーマのある活動を設ける】（←児童館で行われている幼児タイムのような、ボールプール・制作活動・室内アスレチック遊び・楽器遊びなどメリハリを持たせ、予め毎月のお便りやHPでお知らせし、この日は行きたいなと保護者に感じさせるような宣伝）を取り入れそのまま入園へと持ち込んでいけると人数の確保につながるのではないのでしょうか。</p> <p>現在のプレスクールのやり方（出ているおもちゃで自由に遊んで時間を過ごす）では児童館に通うのと然程変わりないと感じます。</p>                       | <p>2歳児を対象とした親子登園は今後全園で実施してまいります。母子分離による実施については現在検討しておりません。</p> <p>現在も、各園で工夫した未就園児の会を行なっていますが、今後さらに、入園検討する際にどのような要望があるか、保護者の声も聞きながら、必要に応じて対応策を検討してまいります。</p>                             |
| 3<br>地域における子育て支援の充実 | 129 | <p>大正幼稚園のカンガーステーション的な未就学児童への対応をしてくれる場所として使わせてくれるとうれしいです。入谷竜泉のあたりは公園や支援センターが手薄に感じるのです。</p>   | <p>園内スペースや職員体制、園児数の関係から、大正幼稚園の取り組みを一律に全園で実施することは困難ですが、地域における子育て支援施設の一つとして活用していただけるよう、今後も柔軟な施設利用について検討を進めてまいります。</p>   |
|                     | 130 | <p>自分の子どもが未就園児だった頃は、幼稚園での未就園児の会が少なかったのですが、これからさらに定期的な会が開催されるようになると、自宅保育の方は息抜きにもなり、色々な情報交換や相談もできるし、幼稚園の良さも知っていただきたいと思います。</p>  | <p>今後、未就園児の会の実施回数や内容の充実を図り、子育て相談や保護者同士の交流促進のさらなる充実に取り組んでまいります。</p>  |
|                     | 131 | <p>様々な施策を進める中で、人員の確保や教職員の働き方など、たくさん問題も出て来ると思いますが、どうか子ども達の育ちに天秤が少しでも傾くように進めて頂きたいです。</p> <p>未就園児親子向けに地域子育て拠点の機能を持たせるのは、とても素晴らしいと思います。これはまさに地域の中の幼稚園だからこそできると思います。現職の先生に子育てを相談できたら、保護者も幼稚園に対してのイメージを持ちやすくなると思います。心配なのは、先生方がその相談業務に関する研修などでまた忙しくなってしまうのではないかということです。実現できたら本当に素晴らしい取り組みではありますが、教職員の労働環境（園長や主任は適しているかも含め）にさらに気配りして頂きたいです。</p> | <p>今後、未就園児の会の実施回数や内容の充実を図り、子育て相談や保護者同士の交流促進のさらなる充実に取り組んでまいります。</p> <p>また、現在、区教育委員会では、持続可能な教育環境の整備に向けて、台東区立学校園における働き方改革に取り組んでいます。</p> <p>引き続き、教職員が働きやすい環境づくりを推進し、教育活動の質の向上を図ってまいります。</p> |

| 分類                  | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|---------------------|-----|---|---|
| 3<br>地域における子育て支援の充実 | 132 | <p>地域における子育て支援活動の充実について、現在も多くの園で未就園児の会が PTA や教職員で行われています。私が心配になるのは、教職員の負担が増えないかということです。おそらく、保育時間中に開催される機会があると思うので、教職員の人数配置がしっかり出来ている状況で無理なく開催してもらえたらと感じます。</p>  | <p>今後、未就園児の会の実施回数や内容の充実を図り、子育て相談や保護者同士の交流促進のさらなる充実に取り組んでまいります。</p> <p>また、現在、区教育委員会では、持続可能な教育環境の整備に向けて、台東区立学校園における働き方改革に取り組んでいます。</p> <p>引き続き、教職員が働きやすい環境づくりを推進し、教育活動の質の向上を図ってまいります。</p> |
|                     | 133 | <p>未就園児の会や、プレ保育について、充実させていくことは大切であるが、画一化の必要はなく、無理のない範囲で行ってほしい。園の多様性は認められるべきだと思う。それ故に、園の数も必要であると考え。というのも、長時間預かり保育実施園の未就園児の会に参加した際、関わる先生の少なさ、遊べるスペースのせまさ、先生たちの疲れともとれる表情、当日 HP で誤っていた開催時間帯の変更をこっそり行うなど、心象の良くないことがたくさんあったためである。定員に満たずともそれなら、そもそもの改善も必要であるように思う。</p> | <p>今後、未就園児の会の実施回数や内容の充実を図るとともに、2歳児を対象とした親子登園を全園で実施してまいります。ご意見も参考にしながら、より良い園運営に努めてまいります。</p>   |
|                     | 134 | <p>未就園児の会の実施回数を増やしてほしい。(月2~3回)</p>  | <p>今後、未就園児の会の実施回数や内容の充実を図り、子育て相談や保護者同士の交流促進のさらなる充実に取り組んでまいります。</p>  |

| 分類                             | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|--------------------------------|-----|--|---|
| 4<br>配慮を要する子供や医療的ケア児等の受入れ体制の充実 | 135 | <p>外国籍の園児の受け入れ態勢が必要とのことですが、両親共に外国籍という親御さんもいらっしゃると思います。その場合、園だけではなく、クラスの親御さんとも連携して（例えば PTA を通して等）お互いに助け合うことがあっても良いと思います。もちろん、台東区教育委員会の対応も必要と考えています。</p>   | <p>公立幼稚園はすべての子供たちが等しく教育を受けられる機会を大切にしています。</p> <p>今後も様々な背景を持つ子供たちを受け入れられるよう、教員や支援員の対応力向上や適正配置など受入れ体制の充実を図ってまいります。</p>  |
|                                | 136 | <p>配慮を必要とする園児、外国籍の園児が一定数いるとのことですが、その子ども達のケアにリソースは十分に割けているでしょうか。誰も排除しない体制を敷くことで「多様性」や「理不尽」、「不可抗力のどうにもならないこと」などの理解が子どもに自然に身につくのではと期待する一方、その子ども達のせいで教育機関として目指す教育を十分に受けられていないのではないかと不安になることもあります。</p> <p>様々な子を受け入れる意義や受け入れ態勢について保護者へもっと丁寧な説明が必要だと思います。</p> | <p>また、現在も保護者会などを通じて、様々な背景を持つ子供たちを区立幼稚園で受け入れることの意義などを説明していますが、引き続き保護者に丁寧に説明してまいります。</p>  |
|                                | 137 | <p>配慮を要する子供の受け入れ体制の充実：受け入れ基準を明確にすること、受け入れ後の看護職員支援員等の充実を図る。</p>   | <p>様々な背景を持つ子供たちを受け入れられるよう、教員や支援員の対応力向上や適正配置など受入れ体制の充実を図ってまいります。</p> <p>また、医療的ケアが必要な子供に対しては、区立学校等における医療的ケア児への支援に関する基本方針及びガイドラインに基づき、受入検討委員会による決定後に看護師を配置して、安全かつ適切に医療的ケアを実施し、園での生活を支援してまいります。</p> |

| 分類                             | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|--------------------------------|-----|--|--|
| 4<br>配慮を要する子供や医療的ケア児等の受入れ体制の充実 | 138 | <p>現在台東区立竹町幼稚園に在籍している園児の保護者です。まず現在の幼稚園の職員の皆様の深い洞察と愛情に満ちた保育の様子に心から感謝しております。一方で幼稚園側ではどうにもならない仕組み的な問題も散見され、行政側のフォローをお願いしたく意見をお送りします。</p> <p>(1)外国籍の家庭に対するフォロー</p> <p>外国籍の子供と保護者に対するケアの拡充をお願いしたいです。各家庭の日本語能力にはかなりばらつきがあるなか、職員の皆様はポケットーク等で対応しておられますが、翻訳ミスや電話口での対応などに苦慮されているようです。また現在実施されている翻訳サービスも卒園までに20時間までと聞いていますが、全く足りているとは思えません。言語だけでなく生活習慣そのものが異なっている家庭から一人幼稚園へ送り出される園児に対し、入園直後のフォローから就学時期まで継続したサポートが必要だと考えます。担任の先生をサポートする専属の支援員の配置を強く求めるとともに、職員の外国語習得や異文化理解につながる講習への参加に補助があるとよいのではないのでしょうか。あわせて保護者へ向けた各園共通のお知らせ(SumaMachi の利用方法等)は、行政側で翻訳版を作成してもらえるとスムーズかと考えます。また活字の文書なら各家庭でも Google 翻訳しやすいのですが、手書きのものは読み取れない場合も多いため、各幼稚園の IT 環境の整備にも期待したいです。</p> <p>縁あって台東区に居住する外国籍の方々がまず幼稚園でしっかりとサポートされ、そして就学していくことの意義は彼らだけでなく我々にとっても小さくないと考えますのでご配慮をお願いします。</p> | <p>様々な背景を持つ子供たちを受け入れられるよう、教員や支援員の対応力向上や適正配置など受入れ体制の充実を図ってまいります。</p> <p>また、各園の保護者あて通知等について、現在、手書きの文書はほぼなく、ほとんどが活字で対応しています。</p> <p>今後も、多言語対応の充実や、スママチのさらなる活用、日本語支援のサポート体制の充実など可能なことから速やかに取り組んでまいります。</p> |

| 分類                             | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|--------------------------------|-----|---|--|
| 4<br>配慮を要する子供や医療的ケア児等の受入れ体制の充実 | 139 | <p>区立幼稚園の存在意義。やはりありとあらゆる子供達の受け皿であること。家庭環境や自身の性質(発達に関しても含めて)故に私立幼稚園ではなかなか受け入れてもらえない、受け入れてもらっても自己発揮できない子供達のための就学前教育機関として地域にあるべきだと思います。そして、そのような幼稚園で教育を受けた子供達は、インクルーシブルな社会を築いていく根本的な受容ができていますので、小学校へ進学して様々な子供達とグループ活動をする時周りとの橋渡しや緩衝材という役目を自然と担える子に育っています。区立幼稚園は、一握りの特別な子たちのために存在するのでなく、その子達と日々一緒に遊び生活をする周りの子たちの確かな育ちを保障するために存在しています。だからこそ、人数が少ないからと言ってなくしてはいけないと私は強く主張します。</p> | <p>公立幼稚園はすべての子供たちが等しく教育を受けられる機会を大切にしています。</p> <p>今後も様々な背景を持つ子供たちを受け入れられるよう、教員や支援員の対応力向上や適正配置など受入れ体制の充実を図ってまいります。</p> |
|                                | 140 | <p>区立幼稚園はこの受け皿を決してなくしてはいけないと思います。子どもたち同士は自然にお友達を受け入れますし、保護者同士もとてもいい経験になりました。子どもたちを1人も取りこぼさないような受け皿をよろしくお願いします。</p>  |  |



| 分類                    | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------------|-----|--|---|
| 5<br>預かり保育（定期利用）の全園実施 | 141 | 預かり保育は続けていただきたいです。   | 預かり保育（定期利用）について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和7年度より全園で実施してまいります。 |
|                       | 142 | 預かり保育については、全園で初めから実施するべきだったと思います。そのために、希望する園の偏りが顕著にみられると実感しています。特に、大正幼稚園が園児数が激減したことに関係があると個人的には思っています。そして、来年からは預かり保育ということを導入しても、元通りの状態に戻るには、数年かかると思います。兄弟関係などもあるので。  |   |
|                       | 143 | 習い事や預かり時間が延長されるのであれば幼稚園に通わせるという選択をする人は増えると思います。  |   |
|                       | 144 | <p>私の3人の子供達は、台東区の区立幼稚園でお世話になりました。子供達はのびのびとした環境で育てていただき、担任の先生だけでなく、園長先生をはじめ、担任の先生以外の先生方や支援員の先生方も子供達一人一人をよくみて、その子に合った接し方でご指導くださいました。</p> <p>我が家の子供達は、幼稚園が大好きで楽しい毎日を過ごさせていただきました。毎日の送迎の際、担任の先生から子供達の1日の生活を聞く事ができ、また、育児の悩みにも、我が子のように一緒に考えてくださいました。毎日の送迎があったからこそ、先生方との交流があり、子供達の園での生活を見る事ができたのだと思います。</p> <p>小学校と隣接しているため、小学校の広い施設を使わせていただいて思いっきり遊んだり、小学生との交流もあり、兄弟以外のお兄さんお姉さんにも可愛がっていただけました。</p> <p>私立幼稚園では味わえない、素晴らしい経験ができ、本当に感謝しております。</p> <p>しかし、子供達がお世話になった園は、長時間保育の対象外となっています。区立幼稚園の中で、数園のみ長時間保育を実施しているという状況は納得がいきません。長時間保育を行うのであれば、全部の園で平等に行っていただきたいです。現在の状況は、長時間保育を実施していない園を廃止にしたいのでは？というように思えます。区立幼稚園は、子供達に優しく、のびのびと育ててくれます。私は区立幼稚園でお世話になり、本当によかったと思っております。是非全園平等な保育環境にしてください。</p> |   |

| 分類                    | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------------|-----|--|---|
| 5<br>預かり保育（定期利用）の全園実施 | 145 | <p>預かり保育について。全園で預かり保育を実施してほしいのと同時に、働く親にとって平日だけでなく夏休みなどの長期休みも実施してほしいです。長期休みだけ他の預け先を探すというのは大きな負担になっていると感じます。</p>   | <p>預かり保育（定期利用）について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和7年度より全園で実施してまいります。</p>  |
|                       | 146 | <p>長時間保育に対応するべきだと思います。ここ最近の物価高や円安などにより、ますます共働きせざるをえない状況が進み長時間保育が必要になると思われます。現在1歳と0歳の子どもがいますが、仮に9～14時までの預かりだと仕事をすることが不可能です。そのため幼稚園に入園させるという選択肢がなくなります。</p>  |   |
|                       | 147 | <p>延長保育の全園開始はとてありがたいですのでぜひずっとよろしくお願いします</p>  |   |
|                       | 148 | <p>引き続き現状の預かり保育をよろしくお願い致します</p>  |   |
|                       | 149 | <p>平日の預かりだけでなく夏季の預かり保育も開始されたら働いていても預かってもらえるから区立の幼稚園に通おうかなと思うと思います。</p>   |   |
|                       | 150 | <p>働く世帯が多いと思うので、夕方までの延長保育を実施して欲しいです。</p>   |   |
|                       | 151 | <p>区立幼稚園に通っていた現在小2の子どもがいる母です。私がフルタイムで働いていたら、時間的な問題で幼稚園に預けるという選択肢はなかったと思います。無理にフルタイム層にまで広げるのではなく、ターゲットはパート主婦や専業主婦だと明確にしたらよいと思いました。</p> <p>朝の開始時間を無理に広げる必要はなく、それよりも帰りの時間に焦点をあてるべきではないでしょうか。パートも残業などがあるため、帰る時間が決まっていると預けにくいです。14時～17時までお迎えはどの時間でもいいよ、みたいに柔軟にしたらよいのかもしれない。</p> | <p>預かり保育（定期利用）について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和7年度より全園で実施してまいります。</p> <p>現在も、預かり保育の時間内の中で、各家庭ごとにお迎えの時間を設定していますので、引き続き同様に対応してまいります。</p> |
|                       | 152 | <p>リフレッシュ預かりを年12回試させていただき親はリフレッシュでき子供は保育時間とは違う楽しさを味わうことができました。</p> <p>その楽しみが来年度から全園で実施されるのはとても素敵な情報だと思うのですが情報が行き届かないと意味がないので、これも区の健診など未就園児の保護者が集まる機会がある場所に資料配布したりするとよいのではないのでしょうか。</p>   | <p>令和7年度より、預かり保育（定期利用）を全園で実施することについて、区立幼稚園への入園を検討される保護者に向けて、様々な機会を捉えて周知に努めてまいります。</p>   |

| 分類                    | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------------|-----|---|--|
|                       | 153 | <p>保育園に以前通ってから幼稚園に移行しました。かなり自立できるようになり、とても満足しています。延長制度もあり感謝しておりますが、予定を全て手書きや取り消し、2ヶ月前の仕事の予定は現状わからないので苦戦しています。デジタル化するなり、簡単に取り消しができるようにして欲しいです。</p>   | <p>預かり保育利用にあたっての利便性向上については、引き続き検討してまいります。</p>  |
| 5<br>預かり保育（定期利用）の全園実施 | 154 | <p>預かり保育について。就労や通院などリフレッシュ目的では利用条件や回数が大きく違う。うちの子が通っている園ではリフレッシュ目的では年12回まで。でも夏休みや春休みなど長期休みなどもあり12回ではとても足りない。仕事をしていない専業主婦でも、サポートがなくワンオペでずっと育児をしている人もいるし、逆に仕事をしていても夫婦で協力できていたり親のサポートがあったりする人もいるし仕事をしている、していないでわけるのがよくわからない。利用料金を値上げしてもいいので利用回数を増やしてほしい。</p>  | <p>預かり保育（定期利用）の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は現時点では検討しておりません。</p> <p>預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> |
|                       | 155 | <p>「区立幼稚園は預かり時間が短い」「親の出番が多くて大変」というイメージはなかなか払拭されていないため、延長保育をいつでも利用できる私立・こども園を選ぶ方が多いように思います。</p> <p>区立幼稚園での隔週16時までの『ウキウキタイム』や親のリフレッシュ目的での預かり保育が利用できることが大変ありがたいのでその部分を更に強化・宣伝していく必要があると思います。まだまだ周知されていないです。</p> <p>就労していない保護者のリフレッシュ理由の預かりの利用も年12回（月1回平均）となっておりますが、回数制限なく利用できるようにして欲しいです。せめて16時までは誰でも毎日延長保育可能、16時以降回数制限ありなど・・・</p> |  |
|                       | 156 | <p>預かり保育と保育園の料金差。任意の保育園に入園できない中で、預かり保育があるので幼稚園に通わせている人も多い中、3歳以降無償化である保育園と比較し幼稚園の預かり保育が高くなる点を検討して欲しい。</p>  |  |
|                       | 157 | <p>保育園と違い、預かり保育の利用料がかかってしまうのは働く親として多少といえデメリットだと感じます。</p>  |  |

| 分類                            | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-------------------------------|-----|---|---|
| 5<br>預かり保育<br>(定期利用)<br>の全園実施 | 158 | <p>現在 3 歳未満の子がいて、幼稚園も検討しています。認可外保育園に預けて仕事をしていますが、区立幼稚園の預かり保育の定期登録利用要件に満たないためこのままの勤務形態では区立幼稚園に預ける際に、抽選に漏れてしまい預かり保育を利用できない日はどうしたらいいか？という不安があります。勤務形態が週 5 未満でも、例えば勤務曜日が固定している場合はその曜日の定期利用を可能にさせていただくなど利用要件を緩和いただくと助かります。同じような親は多いのではないのでしょうか(保育園と大差なくなるため難しいかとは思いますが)。</p> | <p>預かり保育(定期利用)の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は現時点では検討していません。</p> <p>預かり保育(定期利用)の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> |
|                               | 159 | <p>預かり保育の定員割れには対応していただきたいです。</p>  |   |
|                               | 160 | <p>預かり保育の終わりの時間が 18 時ですが 18 時半にすれば今保育園に預けている人ももっと区立幼稚園の預かり保育を使う人が増えると思います。9:30～17:30 の定時の会社が多いため、小一時間の通勤時間をかけて通勤している人も一定数いると想定した場合 18 時のデッドラインは厳しく、18 時までということで区立幼稚園の預かり保育を諦める人も多いかと思います。18 時半までの運用にしてみて、どのくらい応募・利用が増えるのか試験的に導入してみてはいかがでしょうか。</p>                       |   |
|                               | 161 | <p>会社経営をしています。基本的には 2 時にお迎えに行けるので、預かりの定期利用はしていません。しかし定時の仕事ではないので急な出張や急用が多々入ります。そういった場合に延長保育など急な対応はしていただけないので、改善されればとても助かります。</p>  |   |
|                               | 162 | <p>預かり保育の内容ですが、園行事(歓送迎会などの)参加の一般保護者も一時利用の理由として有りにしていただけないのでしょうか。園行事なのにリフレッシュ消化になってしまうのは見直すべき点かと思います。</p> <p>素晴らしい教育をみんなが受けられる公立幼稚園の受け皿を是非とも、広くゆとりを持って作っていただければ幸いです。</p>   |   |

| 分類                    | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----------------------|-----|---|--|
| 5<br>預かり保育（定期利用）の全園実施 | 163 | <p>0歳児の子供がおり、以前区立幼稚園を見学にいったことがあります。環境も雰囲気も申し分ないです。都内に暮らす多くの夫婦は共働きであり、今後は、8時半～19時半くらいまでの間は、子供を預けることができる施設が必要かと思えます。両親からの支援などが無い限り、都内に暮らすのは金銭的に余裕が必要です。</p> <p>幼稚園を選択するような家庭は郊外に住んでいることのほうが多いと思われます。</p> <p>それらを踏まえて、幼稚園(9-15時の預かり?)などの施設が過疎化していくのは自然な流れだと思います。幼稚園も延長保育や、働く両親二人にとって有効な制度を、もっと増やしていくことが大切だと思います。可能か分からないが、幼稚園用のバスを走らせる(送り迎え時間の短縮)、もっと長い時間預かりをできる制度をつくる、専業主婦でも誰でも、長時間預けることができる制度をつくる(預けてから、仕事を探すことができ、フルタイムでの正社員雇用を得ることができる)などの取り組みは有り難いと思われます。</p> | <p>預かり保育（定期利用）の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は今時点では検討しておりません。</p> <p>預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> |
|                       | 164 | <p>「預かり保育・長期休み期間の保育の充実」と、「3歳児の進路の不安要素の解消」「時間数・内容の面で積極的に選びたくなる幼稚園」をお願いしたいです。(また、新堀通り・菊屋橋交差点周辺の「幼保園の少ないエリア」に施設が増えたらありがたいです)</p> <p>我が家の子供は認証保育園の2歳児クラスにおり、朝8時半～18時までお世話になっています。</p> <p>保育園待機児を減らす意図で作られた認証保育園は、幼稚園進級を視野にしているため2歳児クラスまでしかないと認識しています。現在の両親の状況では、非拡充幼稚園では選択肢になりません。また、家から通いやすい範囲での拡充幼稚園では田原幼稚園が視野に入りますが、定期預かり保育が抽選であること、また、区役所HPの情報を見ると、抽選から漏れている園児もいるということで、こちらも消極的な選択肢になっています。預かり保育・長期休み期間の保育の充実をお願いしたいです。</p>                                     |  |

| 分類                            | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-------------------------------|-----|--|--|
| 5<br>預かり保育<br>(定期利用)<br>の全園実施 | 165 | <p>両親が働いていることを前提にした保育/教育をお願いしたいです。</p> <p>・子供の預かり時間(例 朝8時～夕方19時頃まで可能)→もし幼稚園に子供を預けられないのであれば、園児帰宅後は場所を一般開放する(区立施設なので可能では?と思いました)</p>   | <p>預かり保育(定期利用)の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は現時点では検討しておりません。</p> <p>預かり保育(定期利用)の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> |
|                               | 166 | <p>特に南部地域において、園庭が広くのびのびした園風の幼稚園となると、公立幼稚園が第一選択肢となる。なお、ことぶきこども園の教育枠(3歳児)はほぼ毎年抽選である。公立幼稚園も預かり保育が入ったことで必ず需要があるはず。今後経過を見ながら預かり時間やリフレッシュを含めた預かり枠の拡大など利用者のニーズに寄り添ってほしい。</p>  |  |
|                               | 167 | <p>預かり保育については非拡充園なので、今年度は利用できる見込みがありません。リフレッシュ目的と言っても実際には通院や兄弟の予定のためといったケースも多いと思うので、緊急対応も含めて柔軟に対応していただけるとありがたいです。実際に近隣のお友達で預かり保育の利用が見込めないために遠方の私立幼稚園を選んだ人もいます。こども園の人気の高いのも預かり保育の影響も大きいと思います。</p> <p>区立幼稚園を選択できる人が増えるよう、ぜひ今後も拡充を検討していただきたいです。</p> |  |
|                               | 168 | <p>延長保育にはとても満足しています。さらに対象日時を広げていただけると、助かります。土曜日や、幼稚園振替休日は、現在延長保育もお休みですが、保育を受け入れていただくと助かります。</p> <p>延長保育の費用負担についても、保育園並みに無償となることを希望します。</p>   |  |
|                               | 169 | <p>リフレッシュでの預かり保育が年に12回をもう少し増やしてほしいです。保育参観や幼稚園での保護者が参加しなければいけない時に下の子を連れていきにくい状況の人もいます。(他に見てもらえる人が居ない、活発でわんぱくで連れて行くと邪魔になりかねないなど)そのような時に下の子を見てもらえる配慮があると参加しやすく助かります。</p>  |  |

| 分類                            | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-------------------------------|-----|---|---|
| 5<br>預かり保育<br>(定期利用)<br>の全園実施 | 170 | <p>竹町幼稚園の就労で週 2 回の預かり保育を受けていました。4 月から下の子が年少で利用しようと思っていますが、年少は 9 月からしか利用できません。これだと年少の半年は利用できないということになるので、就労している家庭にとっては区立幼稚園という選択はなくなると思います。定員も 10 人と決まっており、週 2 回抽選に落ちて預かってもらえないという家庭もありました。</p> <p>リフレッシュで利用できるとうたっていますが、現状就労枠でいっぱいなので、1 度もリフレッシュで利用できなかった家庭がたくさんいると思います。先生方のボランティア(通常保育外の保育となるので)というか負担でしかない業務となっているのも問題だと感じています。</p> <p>文京区の区立は人気で抽選になっていると聞きます。人気の 1 つとして「料金が発生するが(450 円/回)就労でなくても預かり保育をしてもらえるのと、預かり時間が 8:00~18:00」ということでした。やはり、16:30 までとなると保育園に通っている家庭が区立幼稚園の預かり保育で行けるかなとは思わないと思います。もちろん保育園に通われている家庭も、区立幼稚園で質の高い先生方と一緒に大事な幼児期を過ごして欲しいと思いますが、現状選ばれない気がします。パートであれば区立幼稚園でも可能かもしれませんが、正社員として働いてる家庭は無理ではないかと思いません。</p> <p>令和 7 年度から全園で週 5 の預かり保育開始はとても嬉しいですが、年少の預かり保育開始の時期が 4 月早々であって欲しいですし、料金を取って就労ではない家庭にも預かり保育を提供すべきだと思っています(月 4 回とか上限をつけて)。</p> | <p>預かり保育(定期利用)について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和 7 年度より全園で実施してまいります。</p> <p>サービス内容の更なる充実については、その後の利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> |
|                               | 171 | <p>全園実施は、非常にありがたいです。ただ、区立幼稚園だけ預かり保育の利用条件が厳しく、早急にこども園と同様にさせていただきたいです。(利用の優先順位は現状で良いと思います)</p> <p>実際に、預かり保育の有無や条件を重視して公私幼稚園、こども園を選択する保護者が多いように感じます。経済的な負担があっても、利用したい保護者は負担しますし、働きながらも、保育園ではなく幼稚園を希望する保護者もいます。区立幼稚園の預かり保育を更に充実させるよう、是非、教職員や支援員さんの人員配置に子育て予算を使っていただきたいです。</p>   |   |

| 分類                    | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------------|-----|--|---|
| 5<br>預かり保育（定期利用）の全園実施 | 172 | <p>我が家には2人の子どもがおり、上の子どもは区立幼稚園に、下の子どもは民間認可保育園に通っています。上の子どもは2歳まで保育園に通い、その後幼稚園に入園しました。もともと我が家は共働きのため、幼稚園は選択に入っていませんでした。しかし、区立幼稚園も預かり保育や給食など共働き家庭でも負担なく通園が可能な制度が整ってきていることを知り、説明会や未就園児向けの行事への参加を通して、我が子にはぜひ幼稚園での様々な経験を通して育てて欲しいと考え入園に至りました。</p> <p>身近に我が家と同様に2歳まで保育園に通い、年少から幼稚園に移るご家庭もいくつかあり、お話を伺ったところやはり預かり保育の拡充や弁当給食の提供があることが転園の決断に至った大きな要因になっているようでした。また、入園前には預かり保育を利用するお子さんは少ないと聞いていましたが、実際には我が子の学級では定期登録の定員に近い人数のお子さんが預かり保育を利用しているようで、共働き家庭のお子さんが幼稚園に入るケースも増えているのだと実感しています。先生方も、様々な家庭があることを前提に教育をしてくださっているので、行事なども柔軟に対応していただけていてありがたいです。</p> <p>一方で預かり保育を利用しても、現実的には両親がフルタイムで働くことには困難があります。まず朝の登園時間が早くても8時半、夕方の預かりは18時までのため、一般的な9時始業で17時から18時に終業という形での仕事との両立はかなり厳しいです。実際、区内の知人で幼稚園を検討していたものの、両親の就労時間の兼ね合いで諦めた方がいます。我が家は私が時間に融通がきく職業のため、預かり保育の時間内に収まるように仕事をセーブしている状況です。それでも職場との移動時間も含めると、いつも出勤もお迎えもギリギリです。預かり時間を朝8:15から、夕方が18:30までに拡大してもらえると尚有難いです。</p> | <p>預かり保育（定期利用）について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和7年度より全園で実施してまいります。</p> <p>サービス内容の更なる充実については、その後の利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> |
|                       | 173 | <p>預かり保育は共働き家庭以外にもリフレッシュなどがあるがかなり利用回数が少ないのもっと利用数を増やして欲しい。</p>  |   |
|                       | 174 | <p>全園で預かり保育が始まるのはとてもありがたいです。現在行っている園と同じように、週5日勤務でなくても申し込んで空いているときに利用できる制度も同様があると助かります。</p>   |   |



| 分類                            | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-------------------------------|-----|---|--|
| 5<br>預かり保育<br>(定期利用)<br>の全園実施 | 175 | <p>今年から田原幼稚園に在籍しております。先生方にとってもよくしていただき、親子とも感謝しております。ありがとうございます。</p> <p>さて、預かり保育（あさがおタイム）ですが、定期の利用を希望者全員にさせていただけたらと思います。先生方のご負担を考えると、おこがましいお願いですが、幼稚園在園中にフルタイムで働くには抽選はハードルが高いからです。ご負担は重々承知しておりますが、ご検討いただければ幸いです。</p>                           | <p>預かり保育（定期利用）の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は現時点では検討しておりません。</p> <p>預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p>   |
|                               | 176 | <p>我が家は5人兄弟で、自営業を営んでいます。保育園に入れたら3人目から無償ですが区立幼稚園では所得制限で半額補助しか出ません。働きながらも子どもとの時間を大切にしたいとの思いから幼稚園を選択しましたが、当日の急な預かりに対応してもらえなかったり、病気等による欠席でも預かり費用がかかってしまったり、区営ならではの子育てに寄り添った柔軟な対応を望みます。</p>  | <p>預かり保育（定期利用）について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和7年度より全園で実施してまいります。</p> <p>サービス内容の更なる充実については、その後の利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p>                                |
|                               | 177 | <p>教育内容はとても良いと思っており、実際、子供を通わせたいと思ったことがある。しかしながら、仕事を持っていると長期の夏休みや預かり時間がネックになり選択から外さざるを得ない。長時間の預かりと、長期休みの短縮は働いている、いないに関わらず子供の預け先としては今や必要な条件のように思えます。働いている親でも幼稚園を選択肢に入れられる体制ができればもっと状況も変わるのではないかと思う。</p>   |  |
|                               | 178 | <p>各区立幼稚園によって預かり保育のニーズは一樣ではないと聞いていますが、少なくとも竹町幼稚園では多くの保護者が更なる拡大を希望しているのに回数も人数も改善されておられません。今後も就労をされる保護者は減ることはなく、それ以外の通院・介護や研修などによる就労以外での預かりのニーズは確実に存在しています。一方、現在の人員ではケアしきれないのも実情かと思えます。小学校で導入されている放課後子供教室のように、外部のスタッフに委託するような仕組みはできないでしょうか。</p> | <p>預かり保育（定期利用）の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は現時点では検討しておりません。</p> <p>預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> <p>また、預かり保育の実施形態については引き続き検討してまいります。</p> |

| 分類                    | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------------|-----|--|---|
| 5<br>預かり保育（定期利用）の全園実施 | 179 | <p>令和7年度から、預かり保育を全園で実施されるということで、かなりの朗報です。ありがとうございます！あとは、それがどのように実施されるのかなという点が気になります。</p> <p>○定員がすぐ埋まってしまわないか？（そもそも定員が少なくないか）</p> <p>○延長保育を渋られたりしないか？（子供の年齢が低いとその傾向が強いように感じます）</p> <p>○預かり保育の質は？（保育時間の終わり頃は一室に集めて保育するというのはわかりますが、最初から最後までずっと同じ部屋にいるというのは子供も窮屈かなと思います。）保育園と同等もしくはそれ以上の質の高さを求めます。園庭の利用など、幼稚園の強みを生かした預かり保育に期待します。これは私案ですが、幼稚園児は普段から園庭でしか遊ばないので交通ルールを知らないという話をよく聞きます。預かり保育の時間を使って天気の良い日は近くの公園にお散歩に行くというのもよいのではないのでしょうか？普段の外遊びは園庭で、預かり保育の時は公園で。これは保育園プラスアルファの内容になるのではないかと思います。</p> | <p>預かり保育（定期利用）について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和7年度より全園で実施してまいります。</p> <p>安心して預かり保育を利用できるように安全管理に十分注意するとともに、これまで試行してきた預かり保育（定期利用）の質を維持しながら全園での円滑な実施に努めてまいります。</p> <p>また、サービス内容の更なる充実については、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> |
|                       | 180 | <p>■預かり保育の減額及び無償化</p> <p>預かり時間と保育料金が区立保育園と同等程度になるように配慮していただきたい。保育料は大きな検討材料の一つであるので、段階的にでも可能な限り預かり保育料金の減額をしていただけたらもっと区立幼稚園を選びやすくなると思う。</p>  | <p>預かり保育（定期利用）について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和7年度より全園で実施してまいります。</p> <p>現在も、預かり保育料については減額や無償化の対象としておりますが、サービス内容の更なる充実については、その後の利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p>  |
|                       | 181 | <p>預かり保育料の自動引き落とし対応を早急に進めていただきたいです。毎月払込が時間的に負担になります。</p> <p>預かり保育料助成金の申請について、一度支払った後に書類を作成→窓口へ提出→助成額振込という流れも手間になるので、最初から助成額を差し引いた額を請求していただけると助かります。</p> <p>日々慌ただしい中で細々とした手間を減らしていきたいので、効率化を進めていただければ幸いです。</p>  | <p>預かり保育利用にあたっての利便性向上については、引き続き検討してまいります。</p> <p>また、預かり保育料償還の申請は、子ども・子育て支援法に定められた方法に基づいてお願いしているものです。</p> <p>何卒ご理解いただきますよう、よろしく願いいたします。</p>  |

| 分類                    | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-----------------------|-----|---|---|
| 5<br>預かり保育（定期利用）の全園実施 | 182 | <p>預かり保育の充実について</p> <p>1. 申請手続きの見直し<br/>現状、定期登録をしても毎月紙の申請が必要であり、また変更の際は、別紙の提出が必要となるなど、利便性が良いとは言えません。定期登録については、月毎の申請廃止、ないしはオンライン申請への切り替えなど、利用プロセスの見直しを望みます。</p> <p>2. 預かり保育を含めた教育内容<br/>預かり保育の時間延長は共働き世帯を取り込む上で欠かせない点だと思いますが、一方、預かり時間を延長した場合、そちらで過ごす時間の方が長くなる可能性も出てきます。現状のように幼稚園カリキュラムの後に預かり保育を付け足しただけの内容で、教育の質を担保できるものでしょうか。トータルでのカリキュラムを考えている保育園等と比べ、却って質の劣るものとならないかという懸念が残ります。<br/>もちろん、どの程度、保育園に近付けていくのか、逆に一線を引いて独自性を保っていくのかという点については、検討が求められる所だと思いますが、預かり保育含めた教育という視点も持っていただきたいと思います。</p> | <p>預かり保育利用にあたっての利便性の向上については、引き続き検討してまいります。</p> <p>また、預かり保育の実施内容については、保護者の声も参考にしながら、より良いものとなるよう努めてまいります。</p>   |
|                       | 183 | <p>本年度より、保育園から幼稚園に転園しております。園庭や広い教室があったり、遊具や絵本、おもちゃなどが充実しており、子どもが毎日、身体をめいっぱい動かして、のびのび楽しく過ごしており、環境面で保育園との違いをまざまざと感じております。</p> <p>幼稚園でも預かり保育を利用し、共働きでも幼稚園に通わすことができしておりますが、年齢的な制限もあり、今後は全ての幼稚園を子ども園にするなどの転換があっても良いように感じます。</p> <p>また、受け入れ時間(特に朝)の拡大や、PTAの必要性の再検討などしていただけると共働きにはありがたいです。(日中に親が参加しないといけない機会が多いように思います)</p>  | <p>今回まとめた対応策を適切に講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>預かり保育（定期利用）の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は現時点では検討しておりません。</p> <p>また、頂いたご意見は各園と共有し、PTA活動の負担軽減に向けての方策など検討してまいります。</p> |

| 分類                    | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----------------------|-----|--|---|
| 5<br>預かり保育（定期利用）の全園実施 | 184 | <p>あさがおタイムについて</p> <p>①土曜保育も実施して欲しい。</p> <p>②長期休業中の預かりの実施。（お盆の時期など現在実施していない期間が長い）</p> <p>③園行事が土曜日に行われた際の、振替月曜日の預かりの実施。（他園と協力しての実施など。根岸が休みの日は、大正でみますとか。）</p> <p>④朝の受け入れ時間を早めて欲しい。</p> <p>⑤入園前にあさがおタイムの見学の実施</p>   | <p>入園前の預かり保育見学については、行っている園もあるので、拡充してまいります。</p> <p>その他サービス内容の更なる充実は今時点では検討しておりません。</p> <p>預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p>                         |
|                       | 185 | <p>【預かり保育時間の内容充実化】</p> <p>内容は簡単なもので良いので様々な体験ができる時間を作る（昼寝を必要としない4・5歳向けに、習字に触れる、お花を生ける、体操教室、簡単なおやつを作る、押し花をする、カードゲーム、迷路や間違い探し等のワークシート等）預かり保育時間に何をしているのか、もう少しアピールできるような事があると良いと思います。幼稚園が終わってみんなが帰る中、預かり保育が寂しく始まるというイメージを持っている親御さんも少なからずいました（保育園派の方）もっと活気があって楽しいイメージができるといいなと思いました。</p> <p>【預かり保育の定期利用の定員増加】</p> <p>入園児の数に応じて決定してほしい。入園希望者の共働き世帯は全員定期利用が実現できるような体制にしてほしい。そうでないと共働き世帯は幼稚園を選択肢に入れないと思います。</p> | <p>安心してお子さんを預けられるよう、引き続き、預かり保育の質の向上に努めてまいります。</p> <p>また、預かり保育（定期利用）の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は今時点では検討しておりません。</p> <p>預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> |
|                       | 186 | <p>預かり保育については全園で行ってほしい。（出来れば）</p>  | <p>預かり保育（定期利用）について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和7年度より全園で実施してまいります。</p>  |

| 分類                    | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----------------------|-----|--|--|
| 5<br>預かり保育（定期利用）の全園実施 | 187 | <p>変化する保育ニーズに柔軟に対応していくという点において、全園での預り保育を提供していく事に替成です。自分の我が子も、幼稚園に入れたいと思いつつ、私自身が働くとなると、保育園を選択せざるおえない状況でした。兄2人は富士幼稚園でお世話になり、本当に大きく成長しました。働く「母」が増え、保育園への入所を希望する方が増える中、“幼児教育”を受ける選択が増える手はとても素晴らしい事だと思います。是非実施に向けて宜しくお願い致します。また、そういった情報を分かりやすく”台東区のお母さん方”に提示して頂く事も必要だと思います。</p> | <p>預かり保育（定期利用）について、ニーズが高いことが確認できましたので、令和7年度より全園で実施してまいります。</p> <p>また、園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> |
|                       | 188 | <p>(1)園児確保のための方策を積極的に進める。ex<br/>①預かり保育の定員増、受け入れ条件の緩和(2号申請等についても)スポット預かりの無償化、おやつ代等の無償化</p>  | <p>預かり保育（定期利用）の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は現時点では検討しておりません。預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p>   |
|                       | 189 | <p>週5の預かりスタッフも配置をよろしくお願いいたします。配置されないと、園の職員の負担が大きいです。</p>   | <p>これまで試行してきた預かり保育（定期利用）の質を維持しながら全園での円滑な実施に努めてまいります。</p>   |
|                       | 190 | <p>近年の働き方などの変化により子どもを長い時間預けたい保護者が多いと思うので、保護者のニーズに合わせた対応や取り組みをしていくことが重要だと思う。</p>  | <p>預かり保育（定期利用）について、令和7年度より全園で実施してまいります。今後も、変化する保育ニーズに柔軟に対応できるよう、より良い園運営に努めてまいります。</p>  |

| 分類                            | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-------------------------------|-----|---|---|
| 5<br>預かり保育<br>(定期利用)<br>の全園実施 | 191 | <p>預かり保育のシステムをより簡素化して下さい。毎月の申し込みではなく、年単位でお願いしたい。しかも、2ヶ月前は前すぎる。アプリで管理してほしい。また、返還していただけるのは有り難いが、システムがとても複雑で、とても大変です。返還する金額を引いた額に最初からしてほしい。・長期休暇中の預かり保育の値段を安くしてほしいです。</p>  | <p>預かり保育利用にあたっての利便性向上については、引き続き検討してまいります。</p> <p>また、預かり保育料償還の申請は、子ども・子育て支援法に定められた方法に基づき、申請をお願いしております。</p> <p>何卒ご理解いただきますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>また、預かり保育（定期利用）の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は現時点では検討しておりません。預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p> |
|                               | 192 | <p>預かり保育が始まって必要受け入れ窓口(リフレッシュ理由)を拡大して下さい有り難うございます。私自身は定期利用となりますが、そちらの書類のフォーマットが非常に見づらい(〇月利用分がとても小さい枠に収めてある。)2か月前の利用見込みはほぼ当てにならず、1ヵ月前にキャンセル追加とやり直す手間がある。紙媒体ではなく、電子書類操作できるようにお願いしたいです。加えて、利用料金に支払いも引き落とし対応にしてください。(PAYPAYなど可)民間は勿論、他区他市でしたらもう少しフレキシブルな対応と思います。世界有数の観光地である台東区の誇りとして時代に添った旧態以前の態勢見直しを進めていただきたく思います。どうぞ宜しくお願いします。</p> | <p>預かり保育利用にあたっての利便性向上については、引き続き検討してまいります。</p>   |
|                               | 193 | <p>預かり時間の延長を希望します。</p>  | <p>預かり保育（定期利用）の全園実施に加えてのサービス内容の更なる充実は現時点では検討しておりません。</p> <p>預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p>  |

| 分類             | 項番                | 意見  | 区の考え方  |
|----------------|-------------------|---|--|
| 6<br>弁当給食の本格実施 | 194               | 給食週 5 日提供はありがたく、今後も続けてほしいです。  | 弁当給食について保護者ニーズが高いことが確認されたので、令和7年度より週5回の弁当給食を実施してまいります。 |
|                | 195               | 両親が働いていることを前提にした保育/教育をお願いしたいです。(給食提供についても)  |  |
|                | 196               | 今年度から子どもが区立幼稚園に入園しました。猛暑が多い昨今の状況からしても週5日の給食提供はとてありがたく思っており、子どもにとっても色々な食材を食べる貴重な時間だと思います。                    |  |
|                | 197               | 来年度から予定されている基本的に全員が給食週5回というのは料理が苦手な人にはとても助かると思います。私立幼稚園はお弁当が週2回の所があると聞いた事があるので、そういった負担は私立幼稚園よりも少なくなるので賛成です。 |  |
|                | 198               | 給食無償化の補助はとてありがたいですのでぜひずっとよろしくをお願いします。   |  |
|                | 199               | 給食の実施は良いですね！  |  |
|                | 200               | お弁当給食の本格実施について賛成です。保護者としては経済的にも負担が軽くなり、子ども達にとっても色々な食材に触れる事が良い経験につながっていくと思います。                               |  |
|                | 201               | 例外(アレルギー、宗教など)を除き、給食の提供をすることは賛成です。ただし、親のお弁当を食べる機会も作ってあげて欲しい。園のイベントとして『お弁当DAY』などを作って欲しい。                     |  |
| 202            | 給食の実施を行い無償化が望ましい。 | 弁当給食について保護者ニーズが高いことが確認されたので、令和7年度より週5回の弁当給食を実施してまいります。また、令和6年度より弁当給食は恒久的に無償化としています。                         |  |

| 分類             | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|----------------|-----|--|---|
| 6<br>弁当給食の本格実施 | 203 | <p>給食について。R7年度から週5に確定されるのですが、回数を選択肢をなくさないで欲しいです。我が子と同じような理由で弁当給食を選んでいないお子さんは一定数いると思います。</p> <p>→息子は現在、弁当給食を利用していない8%に該当します。自閉症特有のこだわりを持ち、食べられるものが限られ、初めての物や複雑な味付けは絶対に食べません。冷たいごはんは苦手です。</p> <p>毎日の持参するお弁当の中身は年少の頃から色々試してはみたものの、年長の現在では本人が確実に食べられるものということで、毎日同じメニューに落ち着きました。</p> <p>支援員の先生からも、「毎日頑張っているのだから、お弁当は好きなもの、食べられるものを食べきれぬ量だけ入れてあげて」と言っていたが、食べて来ないよりもそれでいいのではないかと安心することができました。それでも日によっては残してきて、最近では、新学期になったことで落ち着かず、お弁当を残す日が多々あります。お弁当を残さず食べた日は誇らしげに、「今日は頑張って全部食べてきた」と報告してくれます。</p> <p>来年度からは小学校なので、できればお弁当給食を食べてもらいたいという希望はありますが、我が子はこのままこのペースで行きたいです。食育に取り組むことはとても素晴らしいことだと思いますが、我が子にとってはとてもハードルが高いことのように感じ、給食が食べられないことでお昼の時間が苦痛になってしまう気がします。</p> | <p>令和7年度より週5回の弁当給食を実施してまいります。</p> <p>中間のまとめでは、「アレルギーや宗教上の理由から弁当持参が必要な場合を除く」としていますが、ご意見にあるような理由から、弁当給食を利用していないお子さんも一定数いると考えます。</p> <p>そのため、「アレルギーや宗教上等の理由から」と記載を修正し、お子さんの状態によっては保護者と協議しながら、弁当給食とするかどうか決定いたします。</p> |



| 分類             | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|----------------|-----|---|---|
| 6<br>弁当給食の本格実施 | 204 | <p>弁当給食の本格実施について、目玉になることは大いに感じます。が、選択肢のある対応をしてほしいです。手作り弁当を食べさせたい保護者が少数いることを理解していただきたいです。また、集団生活における子供の心の安定に「食」は大いに影響が出ると思います。給食嫌いになる子を作らない為にも満足に提供されたものが食べられない場合は持参弁当に変更ができる、臨機応変さを加えてほしいです。</p>  | <p>給食に関して週1回または週5回の利用者が合わせて9割以上で、うち週5回の利用が7割を超えています。</p> <p>弁当給食の無償化が恒久化したことに伴い、最も多い利用回数で統一させていただき、保護者負担の軽減を図ることとしました。</p>  |
|                | 205 | <p>現在は弁当か給食かを選択できるが、次年度から完全給食制となる件について、宗教上の理由やアレルギーには配慮するとのことでしたが、偏食や少食のため給食ではなく弁当を選ぶ場合には対応されるのでしょうか。入園時は弁当にし、慣れて来て、本人も給食を食べたいと思えるようにできる現在の仕組みは、子供に寄り添ったものだと感じていました。多様なニーズにこたえていくことが区立幼稚園に必要とされていることとありましたが、完全給食制への移行は矛盾を感じます。我が子については、まだパブリックコメントを書いている現段階で弁当が始まったばかりのため、次年度以降、毎日給食となることについてどうなるか見通しがたらず、なんともいえません。選択制のままであれば安心ではあると思います。選択制によるデメリットがないのであれば、そのままでもいいと思います。少数派かもしれませんが、それによって安心して過ごせる親子もいることは事実だと思います。</p> | <p>家庭のお弁当を食べる機会については、食育推進の観点から、様々なご意見があることも踏まえ検討してまいります。</p> <p>また、アレルギーや宗教上以外の理由で弁当給食を利用していないお子さんもいると考えますので、中間のまとめの「アレルギーや宗教上等の理由から」と記載を修正し、お子さんの状態によっては保護者と協議しながら、弁当給食とするかどうか決定いたします。</p> |
|                | 206 | <p>弁当給食の週5回の実施については反対です。</p> <p>偏食の子供にとっては、冷めた状態での提供・食べられない味で食事の時間が負担になっているように思います。(子供は弁当箱からのプラスチックの臭いが苦手だと申ししています)</p> <p>現在の週1回から週5回に急激に変えるのではなく、週2や3回など段階的な施行をお願いします。</p>  |   |

| 分類             | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----------------|-----|--|--|
|                | 207 | 給食に関しては、今までどおりお弁当か給食かを選べるようにしてほしい。   | <p>給食に関して週1回または週5回の利用者が合わせて9割以上で、うち週5回の利用が7割を超えています。</p> <p>弁当給食の無償化が恒久化したことに伴い、最も多い利用回数で統一させていただき、保護者負担の軽減を図ることとしました。</p> <p>家庭のお弁当を食べる機会については、食育推進の観点から、様々なご意見があることも踏まえ検討してまいります。</p>  |
| 6<br>弁当給食の本格実施 | 208 | 給食は弁当給食とのことであるが、小学校併設のメリットを生かして自園調理を検討してほしい。ことぶきこども園教育枠が人気なのは、自園調理の給食も影響しているのではないかと。年少児は食材の大きさの関係で課題が多いということであれば、まずは年長児からだけでも試行してはどうか。                             | <p>幼稚園給食は、目標や基準となる栄養量が小学校とは異なるため、栄養管理における基準量を幼稚園用に設定して提供していく必要がございます。また、窒息事故防止の観点から、幼児での使用禁止の食材があるなど特に注意すべき点もあり、併設小学校の給食を幼稚園でそのまま提供していくことは困難です。また、幼稚園給食用の調理スペースを新たに確保することも現在難しい状況です。</p> <p>なお、園児の小学校給食体験は、ほぼ全ての併設小学校で実施しており、頂いたご意見も参考に、全校で実施できるよう検討してまいります。</p> |
|                | 209 | <p>小学校と併設しているメリットを活かし、自園調理だと通わせたいと思います。</p> <p>保育園での、できたて、おかわり可能な自園調理に対し、お弁当給食はあまり魅力を感じません。</p>  |  |
|                | 210 | 12 ページほか「(4) 区立幼稚園の取り組みに対する保護者の声」について、「弁当給食」とあるが、小中学校と同様の給食にはできないのか。できたてのあたたかい給食の方が、食育の側面からもふさわしいと思われるし、小学校に隣接する幼稚園であれば、予算的にも、給食のほうが、区の予算も節約できるのではないかと。            |  |
|                | 211 | 弁当給食は、家庭では偏りがちな様々な食材を口にする機会があったり、友だちと同じ食事をすることで苦手なものにも興味を向けるきっかけをもてたりすることからとても良いものだと思います。希望としては、小学校では給食室で作ったあたたかな給食を食べられるので幼稚園も同じように給食室からの供給をして貰えたら大変喜ばしいことだと思います。 |  |

| 分類             | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----------------|-----|--|--|
| 6<br>弁当給食の本格実施 | 212 | こども園のように施設内で昼食を作ってもらえたら嬉しいです。小学校に併設され近くに給食室がある幼稚園がほとんどだと思います。まずは学期に1度でも工夫して幼児用にも作ってもらえないかと希望します。   | <p>幼稚園給食は、目標や基準となる栄養量が小学校とは異なるため、栄養管理における基準量を幼稚園用に設定して提供していく必要がございます。また、窒息事故防止の観点から、幼児での使用禁止の食材があるなど特に注意すべき点もあり、併設小学校の給食を幼稚園でそのまま提供していくことは困難です。また、幼稚園給食用の調理スペースを新たに確保することも現在難しい状況です。</p> <p>なお、園児の小学校給食体験は、ほぼ全ての併設小学校で実施しており、頂いたご意見も参考に、全校で実施できるよう検討してまいります。</p> |
|                | 213 | 小学校と併設している施設であれば給食を作って欲しい。   |  |
|                | 214 | お弁当給食ですが、区立で学校とくっついているので、毎日ではなくても月に何回かなど、学校の配膳給食を食べる機会が増えたらいいなと思います。   |  |
|                | 215 | 今の弁当給食も良いですが、せっかく小学校が併設されているので、小学校と同じ給食が毎日食べられたら嬉しいですし、区立幼稚園の魅力の一つになり得るのではないかと思います。  |  |
|                | 216 | <p>今年年中になる子供が区立幼稚園に通っています。預かり保育も利用しています。</p> <p>弁当給食は無いよりは良いという状況です。年少の時は美味しくないと、ほぼお米とデザートしか食べていませんでした。家でお弁当美味しそうだねーと話したりして年中になり少しは食べ始めました。</p> <p>親が味を分からない状況で、美味しそうと伝えてるのもおかしい部分もありますが、なんとか弁当給食を食べてもらおうと必死です。年少のときにあまりにも食べなかったのが、持込弁当に変更しようか悩みました。</p> <p>保育園にするか幼稚園にするか悩んだ時、幼稚園の1番のデメリットが昼食とおやつでした。自園調理にはかきません。実際保育園に通っていた時は残さず給食を食べていたので給食弁当をほとんど食べていないと知った時には衝撃でした。保育園を選べば良かったかなと思った出来事です。</p> <p>給食弁当を提供しているから良しとせず小学校の給食も検討いただきたいです。食材のサイズ感や小学生の長期休みの時期など課題は多いとは思いますが…</p> <p>お弁当を見たことはあるが食べたことがないので保護者向けの試食会があればありがたいです。</p> |  |

| 分類             | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----------------|-----|--|--|
| 6<br>弁当給食の本格実施 | 217 | <p>弁当給食の提供は、非常にありがたいです。ただ、私立幼稚園、保育園、こども園の自園で作る給食に比べて、栄養面やあたたかさなど弁当給食が見劣りしてしまうのも正直なところ です。</p> <p>小学校の給食と、幼稚園の給食で異なるのはわかりますが、給食室で作る給食の提供なども検討していただきたいです。</p> <p>また、今後、食育にも力を入れるとのことですが、実際に子どもとおにぎりやおやつを作る機会を持つなど、食材の説明にとどまらず、実体験をする機会も作っていただけるとありがたいです。</p> <p>家庭でもできることではありますが、お友達や先生方と一緒に経験することで、更に楽しい経験となり、良い教育になると思います。</p> | <p>幼稚園給食は、目標や基準となる栄養量が小学校とは異なるため、栄養管理における基準量を幼稚園用に設定して提供していく必要がございます。また、窒息事故防止の観点から、幼児での使用禁止の食材があるなど特に注意すべき点もあり、併設小学校の給食を幼稚園でそのまま提供していくことは困難です。また、幼稚園給食用の調理スペースを新たに確保することも現在難しい状況です。</p> <p>食育については、自分たちが育てたものを食べる体験や調理体験など、各園、園の実態に合った可能なことを工夫しながら行っています。今後も各園で大切に取り組んでまいります。</p> |
|                | 218 | <p>温かい出来たての食事、おかわりすることの喜び、保育園や私立幼稚園のような給食化を小学校の給食室を利用して実現はできないか。食育への取り組み強化（芋掘りなども大事ですが、収穫後の野菜の皮をむく、混ぜる等）食ベムラの多い年代なのでお友達と作ったり、自分でやることで少しでも食へ繋がる教育を増やしてほしい。</p> <p>※保育園ではよく取り組まれている印象があります。（野菜ピザ、白和え、おにぎり等）</p> <p>※どうしても「お弁当より給食が美味しい」というイメージをお持ちの方多いと思います。</p>   |  |
|                | 219 | <p>弁当給食で使用されている食材や産地の説明を保護者にもしてもらいたい。また、弁当給食の試食会を実施してもらいたい。</p>  | <p>弁当給食の食材説明については、現在もメニュー表を保護者に配布しています。また、食材の産地を示す資料については、掲示している園もあり、要望に合わせて開示していくこともできます。</p> <p>また、弁当給食の試食について、現在は、在園児の保護者に向けて、申込前に試食する機会を設けている園もあります。また、入園説明会では、写真等を使って、保護者に周知するようにしています。</p> <p>今後は、募集案内時にも弁当給食の情報を十分に伝えられるよう、募集案内のチラシやホームページなど工夫してまいります。</p>                  |

| 分類             | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|----------------|-----|---|---|
| 6<br>弁当給食の本格実施 | 220 | <p>冷たい弁当給食ではなく、小学校との合同調理など、あたたかいものを食べさせたいです。うちの子どもも弁当給食を食べたのですが、量が多かったです。少食な子、食いしん坊な子、偏食気味な子など様々ですし、食欲ある日もない日もあるし、好き嫌いなメニューもあります。残すことが普通になってしまうのもマズイので、ある程度、量を調整できる給食がいいなと思います。</p>   | <p>幼稚園給食は、目標や基準となる栄養量が小学校とは異なるため、栄養管理における基準量を幼稚園用に設定して提供していく必要がございます。また、窒息事故防止の観点から、幼児での使用禁止の食材があるなど特に注意すべき点もあり、併設小学校の給食を幼稚園でそのまま提供していくことは困難です。また、幼稚園給食用の調理スペースを新たに確保することも現在難しい状況です。</p> <p>量の調整について、現在も、子供の様子に応じて個別に対応しながら適量を食べられるようにしています。</p> <p>引き続き、子供たちが無理せず楽しく食べられる弁当給食の実施に努めてまいります。</p> |
|                | 221 | <p>給食及びオヤツについてですが、こちらも保育園と同等もしくはそれ以上の質を求めたいです。園で調理するのは施設の問題から難しいかとは思いますが、単にカロリー接種のためだけでなく、原材料や調理法、添加物不使用など子供達の健康に十分配慮したお弁当給食を提供できる業者を選定していただきたいです。</p> <p>よく食べよく寝てよく遊ぶ。これが幼児の一番大切なことだと私は考えます。幼稚園の持ち得る施設や財産をフル活用して、子供がのびのび成長できる時間を作っていただくことを期待致します。幼稚園の保育内容（というより形態）が保育園のように充実したら、幼稚園に通わせたいなと思っているのは私だけではないかと思えます。</p> | <p>弁当給食の開始にあたり、食事の提供内容やアレルギー対応の可否などについて、複数の事業者を比較検討して、現在の事業者を決定しています。</p> <p>引き続き、保護者からのご意見も参考に、必要に応じて見直しを図りながら、より良い弁当給食の実施につなげてまいります。</p>  |
|                | 222 | <p>味の満足度が半数以下で、今後提供回数を増やすとの事でしたが、それでは利用者の満足度は上がらないと思います。業者の再検討をお願い致します。味の満足度が上がってから提供回数を増やすよう、ご検討の程、よろしくお願い致します。</p>  |   |

| 分類             | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|----------------|-----|--|---|
| 6<br>弁当給食の本格実施 | 223 | <p>個人的な意見、少数派の意見になってしまうかもしれませんが、娘が幼稚園に通っていた頃週5で申し込んでとても助かりました。好き嫌いのない娘だったので毎回完食、おかわりがある時はさらに食べていたくらい。帰宅時はお腹がぼんぼんで夕ご飯を食べられなくなる場合があり少し困ることも…。好き嫌いがあり食べられないよりはとは思いますが夜ご飯食べられないのも問題でした…</p> <p>娘が在園の時は実物のお弁当をちゃんとよく見たことがなく量もわからず…</p> <p>卒園した後、在園の保護者に試食する機会が設けられていたとお聞きしたので、在園ではなく入園前に未就園児の親子で見たり試食できたりする機会があると食べられる子に対するの対応、好き嫌いがある子に対するの事前対応を保護者がしやすくなるのではないかなと思いました。</p> <p>また区立幼稚園のイメージ【お弁当作りが大変】だから保育園かこども園に入れようって考える方まだまだいる中、少しずつ改革され【給食お弁当が週5出る＝お弁当作りから解放】未就園児の保護者にとってかなりメリットがあり区立幼稚園も入園視野に入る内容だと思うのですが区立幼稚園で給食お弁当が出ている現状はまだまだ認知不足なのではと感じますので、区の健診の時など未就園児の保護者が集まる時に資料（写真付きなど）配ったり、お話があると認知されていくのではないのでしょうか。</p> | <p>弁当給食の試食について、現在は、在園児の保護者に向けて、申込前に試食する機会を設けている園もあります。また、入園説明会では、写真等を使って、保護者に周知するようにしています。</p> <p>今後は、募集案内時にも弁当給食の情報を十分に伝えられるよう、募集案内のチラシやホームページなど工夫してまいります。</p>   |
|                | 224 | <p>給食も学校の給食と同じ施設で作られたその場で調理する手作りの出来たてを食べさせたいです。（預かり保育のおやつも同様）毎日市販のおかしは体に悪いと感じます。</p>   | <p>幼稚園給食は、目標や基準となる栄養量が小学校とは異なるため、栄養管理における基準量を幼稚園用に設定して提供していく必要がございます。また、窒息事故防止の観点から、幼児での使用禁止の食材があるなど特に注意すべき点もあり、併設小学校の給食を幼稚園でそのまま提供していくことは困難です。また、幼稚園給食用の調理スペースを新たに確保することも現在難しい状況です。</p> <p>預かり保育のおやつについては、頂いたご意見も参考に検討してまいります。</p> |

【その他項目】

| 分類   | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|------|-----|---|--|
| 情報発信 | 225 | <p>そもそも幼稚園入学時期に案内等もなく、自分で調べないとどの幼稚園にどんな特徴があるのか、延長保育があるのか等分からない。預かり保育が保育園より短かったり夏休み冬休みが無かったり働きたいママは保育園一択になってしまう</p>  | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> |
|      | 226 | <p>区立幼稚園でも預かり保育長時間保育を実施予定とのことを大々的にアピールしていただきたい、例えば保育園志望の保護者に勤務体系等で区立幼稚園でも保育可能なことを積極的に伝えてほしい。保育園を選択する保護者は保育園しか選択肢がないと思いがちである。個々の区立幼稚園で積極的なアピールの場を設けることには限界があると思うので区で総合の幼稚園説明会を開催するなど区立幼稚園存続へのバックアップを必要と感じる。特に小学校と併設の幼稚園の強みなどは幼稚園入園児の保護者には実感がわかず小学校入学後に気が付くことが多い。</p> |  |
|      | 227 | <p>区立幼稚園の Instagram など始めているようですが、まだまだ情報が届きづらいと思います。区立幼稚園で新しく取り組み始める内容を記載した冊子など、各幼稚園の取り組みの情報やパンフレットを対象者に配布して欲しいです。</p> <p>幼稚園入園前の子がいる家庭には、対象者全員にむけて郵送し、情報漏れがないように確実に早急に、周知に向けて対応してください。</p> <p>そして周知が済んで数年経ってから人数の増減を見て、閉園するかを判断するべきだと思います。</p>                      |  |
|      | 228 | <p>昨今の時代背景から、保育園を選ぶ保護者が多いことは当然だと思います。しかしながら第一子の保護者が保育園と幼稚園の違いをきちんと理解しているのでしょうか。きちんと違いがわかれば、幼稚園に入れたいと考える保護者も沢山いるはずです。幼稚園の素晴らしさを区としてきちんとアピールしていただけたらと思います。</p> <p>そして、区立園に入りたい、区立園がいいと選ぶ人が少なからいることを切り捨てずに考えていただけたらと思います。</p>  |  |

| 分類   | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|------|-----|---|--|
| 情報発信 | 229 | <p>私は子育てが終わった者ですが、三人の子供が幼稚園でお世話になりました。幼稚園事情から長いこと遠ざかっておりましたので有意義な回答は出来ないかと思いますが意見を述べさせていただきます。当時は何かにつけ保護者の協力が必要で登園後そのまま集まり打ち合わせや作業があり仕事をしながらでは負担が大きかったのを記憶しております。ですが、幼稚園は教育の場であるということが保育園を選択しなかった理由です。今後の対応を拝読させて頂きましたが、時代のニーズや少子化などで課題解決は容易ではないと思いますし、保育園のようなものを求められ、それをしないと園児が集まらない現状だと理解します。が、幼稚園に通う意義や魅力をアピールして、幼稚園は教育の場である事に自信と責任を持って頂き保育園化して欲しくありません。小学校との連携も大きな魅力の一つであると思いますので、重複しますが幼稚園の魅力をもっと発信してほしいと思います。</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> |
|      | 230 | <p>もっと未就学児の保護者が今後の入園候補に区立幼稚園を検討してもらえる様に、集団検診や児童館、支援センター、区立図書館等にPRチラシ等を配布、掲示してもらい広く周知をして頂きたい。</p>  |  |
|      | 231 | <p>預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、2歳児までの保育施設、児童保育課・児童館・1歳児健診等、未就園児の母親が集まる場所でのさらなる周知の徹底を行って欲しいです。</p>  |  |
|      | 232 | <p>未就園児の母親が集まる場、できる限り広範囲、乳児を連れている保護者の方が必ず用事があるって訪れる場所(健診の資料に入れてもらったり)に力強く周知してください。</p>  |  |
|      | 233 | <p>預かり保育(リフレッシュ理由での預かりも可)、お弁当給食があることも周知が進んでいないように思うので、未就園児の保護者が集まる場(台東区近隣の産婦人科、ゆりかご面談、1才児健康診断、児童館等々にてアナウンス、パンフレット配布、掲示するなど)大体的な周知をすべきと思います。</p>   |  |



| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|------|-----|--|---|
| 情報発信 | 234 | 区立幼稚園のいいところは併設の小学校との関わりが多いことも魅力です。小学校の施設を使わせてもらったり、広い校庭や体育館をお借りして、都内でものびのび遊ばせてもらっています。小学生との関わりが多いので、イメージもできているし、就学時もスムーズです。これはもっとアピールすべき点ではないかと思えます。   | 園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。 |
|      | 235 | 預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、児童保育課・児童館・1歳児健診等、未就園児の母親が集まる場所での周知を行ったほうが有効のではないかと感じています。   |   |
|      | 236 | 預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、児童保育課・児童館・1歳児健診等、未就園児の母親が集まる場所での周知を行って欲しい。とにかく情報が無い中での子育てをしている母親が多い印象を受ける。  |   |
|      | 237 | 預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、児童保育課・児童館・1歳児健診等、未就園児の母親が集まる場所での周知を行って欲しい。とにかく情報が無い中での子育てをしている母親が多い印象を受ける。  |   |
|      | 238 | 新しく区内に引っ越してきた時に土地勘がなく区からのお知らせにあった支援センターや児童館によく行っていました。<br>そこにある幼稚園の情報を見ると地図と住所くらいしかわからず職員の方に相談してもわからない。と言う反応でした。普段の園の様子やそれぞれの幼稚園のPRポイント、コメントなどあれば未就園児のお母さんの選択基準にできるのではないかと思いました。   |   |
|      | 239 | 区立幼稚園の取り組みの周知に課題があるのですが、たしかに入園前に幼稚園のことを知る機会は非常に限定的でした。我が家は自ら情報収集をして初めて幼稚園が預かり保育をしていることを知りました。未就園児のいるご家庭全体に幼稚園をアピールする機会があると良いと思います。区の予防接種や健診のお知らせと一緒に幼稚園のパンフレットを送付する、健診会場や子ども家庭支援センターでパンフレットを配ったり就園相談の窓口を開設するなど、あらゆる層に届くような働きかけが必要だと感じます。また、台東区が子育てアプリを作ると聞いたことがあります。そのようなアプリで幼稚園情報を配信するのもひとつかもしれません。 |   |

| 分類   | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|------|-----|---|---|
| 情報発信 | 240 | 預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、児童保育課・児童館・1歳児健診等、未就園児の母親が集まる場所での周知について徹底して行って欲しいと思います。   | 園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。 |
|      | 241 | 預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、児童保育課・児童館・1歳児健診等、未就園児の母親が集まる場所での周知について徹底して行って欲しいと思います。   |   |
|      | 242 | また自分が幼稚園を調べている時、区立幼稚園は情報が少なく、入園後を想像しづらかったです。「よくある質問」のページを増やしたり、わかりやすいデザインのチラシを作り1歳6ヶ月健診で配布する等、未就園児の母へのアピールをもう少し工夫すると、よりわかりやすくなるのではないかと思います。情報をどこまで出すか、難しいとは思いますがご検討お願いします。                                  |   |
|      | 243 | ニーズの高い預かり保育とお弁当給食の全園実施の件についても、令和7年度からの実施を行う園もあるということです。児童保育課や、児童館・1歳児健診など、未就園児の母親が集まる場所での周知をしていただけたら入園希望者数が増えるのではないのでしょうか？  |   |
|      | 244 | <p>台東区幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」に基づいて「生きる力」の基盤を培うための幼児教育を実践していることを未就園児の保護者にもっと伝えるべきだと思います。幼児期のとても良い学びを提供しているのに、知らない保護者は多いと思います。</p> <p>また、未就園児の母親が集まる場所、児童館、未就園児の会、区の検診などで、台東区の幼児教育、預かり保育実施、週5給食について、伝えて欲しいです。</p> |   |
|      | 245 | 区立幼稚園でも給食や預かり保育を実施していることを知らずに保育園を検討されている保護者の方はたくさんいると思います。未就園児の集まる場所での周知を積極的に行って頂けるといいかなと思います。  |   |
|      | 246 | 区立幼稚園のアピール方法を見直したほうがよいのでは？未就園児の母が必ず関わる区の検診開場で区立幼稚園の説明ブースを設けたり、未就園児を子育て中のお母さんの目の付場所、場面へのアピールをしたらどうか。   |   |

| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|------|-----|--|---|
| 情報発信 | 247 | 現時点で保育園に預けている家庭では、幼稚園預かり保育を実施していることを知らない事も多く、幼稚園へ入れるという選択肢が出てこない家庭も多いかと思われました。保育園利用の家庭も含め、未就園児のいる家庭への周知ももっと必要かと思われました。(健診時、掲示板での周知など)  | 園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。 |
|      | 248 | <p>【預かり保育・お弁当給食の全園実施の周知方法として未就園児の母親が集まる場での周知の必要】</p> <p>児童保育課・児童館・1歳児健診等でチラシを配布・0歳～2歳までの保育園への積極的なポスター・チラシ等の配布・台東区HPでの見やすく分かりやすい掲示。</p> <p>※2歳までの保育園に通っている保護者の方々に知ってもらう事は入園児増加に特に効果があると思います。</p> <p>※児童保育課などでも点数が低く希望の保育園に入所出来ない方にもう一つ選択肢があることを伝えることも効果があると思います。</p>  |   |
|      | 249 | 預かり保育やお弁当給食の全園実施の周知方法として、もっと未就園児の母親が集まる場での周知を行った方が良いと思います。閉園を考える前に対応策を考えて欲しいです。よろしく願い致します  |   |
|      | 250 | 預かり保育実施が浸透するように、未就園児の母親が集まる場でポスターやパンフレットでの周知をして欲しいです。よろしく願いします。  |   |
|      | 251 | <p>現在、台東区の区立幼稚園に通っています。入園時より、週5日の給食、預かり保育の実施、リフレッシュ目的の預かり保育利用が可能…と、保護者のニーズに対応していただき、皆様のご尽力に深く感謝しております。この度に対応案につきまして、今後の区立幼稚園の教育をより良くする為のものだと承知しておりますが、僭越ながら私の意見を申し上げます。</p> <p>未就園児が集まる場での区立幼稚園の周知について</p> <p>0～3歳までの今後幼稚園や保育園の入園を検討している保護者がいるような場所での周知をお願いしたいです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園入園希望の人が来所する児童保育課に区立幼稚園のチラシを置き、PRしてもらう</li> <li>・1歳半健診など区内の子供が必ず来る機会にPR…など</li> </ul> |   |

| 分類   | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|------|-----|---|---|
| 情報発信 | 252 | 区立幼稚園のPRに関して、もっと未就園児が集まる場での周知をするべきだと思います。(児童館や1歳半健診や3歳児健診、区開催のイベントなど)幼稚園の先生方やPTAも毎年幼稚園PRに力を入れていますが、限られた場での周知(近所の看板へのポスターや未就園児の会でのPR、地域イベント等など)しかできず、もっと区役所の方からもPRしていただきたいです。  | 園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。 |
|      | 253 | 預かり保育やお弁当給食の実施といった対応が、児童館や保健所、保健センターなどの未就園児の親が集まるような場所でもっと伝わるように工夫してもらいたいです。  |   |
|      | 254 | 幼稚園の応募を考えるまで、預かり保育や給食を利用できることを知りませんでした。ぜひ未就園児の親が集まる場所でアピールをお願いします。  |   |
|      | 255 | <p>預かり保育、お弁当給食の全園実施、及び区立幼稚園が行っている教育の質の高さについて、未就園児の保護者に周知を図っていただきたいです。就園先として保育園しか選択肢がないと考えている保護者や未就園児の保護者全体に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の全園実施により区立幼稚園でも働きながら子供を通わせることができること</li> <li>・区立幼稚園では様々な配慮を要する子供も等しく大切に扱われており、子供一人一人に向き合った丁寧な教育が行われていること</li> <li>・専門性の高い教員が質の高い教育を行っていること</li> </ul> <p>などが周知されるよう、周知のやり方、周知場所や周知方法などを工夫して増やしていただき、地域社会に十分な理解がなされるように取り組んでいただきたいです。</p> |   |
|      | 256 | <p>預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、小児科・児童館・1歳児健診等、未就園児の母親が集まる場所での周知を行って欲しいと考えます。</p> <p>また、区の広報紙などにも掲載をして欲しいと考えます。</p>   |   |

| 分類   | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|------|-----|---|--|
| 情報発信 | 257 | <p>全園、サポート保育を行うと言うことでしたが、入園前にはサポート保育がどういうものなのか、利用条件はどういったものなのか、園によって偏りが生じるものなのか、どういった立場の人が預かり保育時に子どもたちを見てくれるのか、ということを知らない人や今後入園を検討している方へ、他園となるべく同じように伝えていただく、もしくは伝えられるような環境にしていきたいです。</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> |
|      | 258 | <p>預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知を児童保育課・児童館・1歳児健診等、未就園児の母親が集まる場所での周知を行って欲しい</p>  |  |
|      | 259 | <p>未就園児が集まる場での区立幼稚園の周知について、もっと今後幼稚園や保育園の入園を検討しているママさんがいるような場所で紹介してほしいです。</p> <p>保育園入園希望の人が来所する児童保育課などに区立幼稚園のチラシを置き、預かり保育もできている点を知ってもらう。また1歳半健診や児童館の幼児タイムなどにPRしてもらうなど。</p>                 |  |
|      | 260 | <p>預かり保育やお弁当給食が区立で実施できるという周知方法として、未就園児の保護者が集まる場や幼稚園、保育園を検討する時期に情報を得られる場所（区役所、公園、区HP、図書館、児童館、支援センター、広報誌たいとう）など大々的にPRしたらよいと思う。</p>  |  |
|      | 261 | <p>以前自分の子供が区立幼稚園入園を検討するにあたって、なかなか情報を得られなかったという記憶があります。児童館など未就園児の母親が集まる場所を利用して周知していただくと良いのではないかと思います。</p>  |  |
|      | 262 | <p>預かり保育や弁当給食の全園実施について、あまりにも情報が少ないと思いました。</p> <p>児童館や健診の場、図書館など、未就園児の母親が集まる場所にもっと周知していくべきです。</p> <p>ただでさえ出生人数が年々低下していて子どもの数が減っている状況で、入園人数を引き上げるのは区立幼稚園にはかなり不利な条件です。</p>                   |  |
|      | 263 | <p>園児確保のために預かり保育やお弁当給食の全園実施についてPRは必須と考える。特に園選びに感度の高い未就園児の保護者が集まる場で、積極的に周知をして頂きたい。</p>   |  |

| 分類   | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|------|-----|---|--|
| 情報発信 | 264 | <p>預かり保育についてですが、私自身もプレ幼稚園で実施を知りました。また就業していなくても年数回使える制度は入園後に知りました。もっと早く3歳児検診や1才児検診、児童館など、入園前に色々を知ることができたら良かったと思うので、もう少し周知する場を設けてはいかがでしょうか？</p>   | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> |
|      | 265 | <p>預かり保育とお弁当給食が全園で実施していることの周知が足りないと思いますので、未就園児の母親が集まる場所や、保育園での周知を希望します。</p> <p>保育園に通っているご家庭で、本当は幼稚園に通えるご家庭もあるかと思えます。</p>  |  |
|      | 266 | <p>区立幼稚園で預かり保育の全園実施とお弁当給食の本格実施や質の高い幼児教育の提供等していることの区民への周知ができれば園児数を増やしていけると思えます。周知方法として児童保育課、児童館、1歳・3歳児検診等、未就園児の親が集まる場所での周知や説明会、1歳・3歳児検診の手紙にチラシを同封するなど、もう少し広く知ってもらえるようになっていくと良いと思えます。</p> |  |
|      | 267 | <p>未就園児の保護者の方が区立幼稚園の預かり保育があること、お弁当給食があることを知る機会が増えるよう、未就園児の母親が集まる場所でもっと広く知らせてほしいです。</p> <p>それと幼小の連携の架け橋のお話しも伺いました。こちら是非もっと広く未就園児の保護者の方々に広めて知っていただきたいです。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>      |  |
|      | 268 | <p>次年度からの「預かり保育」と「お弁当給食の全園実施」の周知方法についてですが、もっと積極的に行って欲しく願います。児童館、家庭支援センターはもちろん、健診時の保健所など未就園児の保護者が集まる場所での周知も積極的にしてほしいです。もちろん在園保護者としても周知していきたいと思っていますので、共に宣伝できる方法をお願いできれば幸いです。</p>         |  |
|      | 269 | <p>預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、HPの検索方法や児童保育課・児童館・1歳半児健診等、未就園児の母親が集まる場所での周知を行っていただくなど見直しをお願いしたいと思います。</p>   |  |

| 分類   | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|------|-----|---|---|
| 情報発信 | 270 | 預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、児童保育課・児童館・1歳児健診等、未就園児の母親が集まる場所での周知を行って欲しいです。   | 園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。 |
|      | 271 | 預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、未就園児のいる家庭にお手紙の配布や、児童館・1歳児健診等での周知を行ってほしい。   |   |
|      | 272 | 預かり保育やお弁当給食について、区立幼稚園で行っている事をそもそも知らない人も多く、やっている園もあるよ、と話すと驚かれる事もある。そもそもないとの思い込みから、区立幼稚園を選択に入れていなかったとの話を聞くこともある。なので周知されるために、もっとアピールする必要があるのでは。児童館や、図書館など未就園児が集まるような場所も大事ですが、検診や予防接種を行っている小児科・地元の歯科・皮膚科などでポスターを貼らせてもらうなど、アピールする場所はたくさんある。未就園児の親だけでなく、相父母や親戚、近所の人など、いろいろな人が目にする場所でアピールし、口コミを広げていく必要があると思う。家の近くにある区立幼稚園からはじまり、隣や近くには区立小学校があり、区立中学校もあり、何年も子どもたちはその地域で過ごす子が多いと思います。幼稚園や小学校のイベントでは地域の方々との交流もあり、名前までは知らなくても顔は知っている人たちがたくさんいます。そんなことで、子どもたらが地域を自分の居場所だと、安心感を持って生活できることが、心や成長にとっても大事だし、ありがたいと思っています。利便性も大事ですが、それだけではない素晴らしさをもっと発信していくべきです。 |   |
|      | 273 | 令和7年度から預かり保育を開始するにあたり、未就園児の母親が集まる場である、児童館・健診等で周知を行って浸透させて欲しいです。   |   |
|      | 274 | 預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、健診や、小児科など未就園児の母親が行く場所で、チラシを配布するなどして情報提供いただけると良いのではないのでしょうか。  |   |
|      | 275 | 預かり保育とお弁当給食が全園実施となることを、未就園児の母親が集まる場所で伝えてほしい。児童館や、支援センター、健診を行う保健所など。   |   |

| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|------|-----|--|---|
| 情報発信 | 276 | 区立の幼稚園募集を早く出してください。大正小幼稚園とのふれ合いがあるのでその事を明記して下さい。   | 園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。 |
|      | 277 | 預かりが全園になる事は、今の状況を考えると良い事と思います。保育園とこども園と幼稚園の預かりの違いがいまいち分かりづらく、預かりがある事すら、認知していない保護者も多いと思います。そこを改善しないと難しいのかなと思います。フルで働く人には、預かり保育は難しいですが、扶養範囲内で働きたい方で保育園に入れなくても沢山いるので、その方達の目にとまるように告知をしていく事が必須と思います。児童館関係、保健所で行う、健診関係などを活用して、選択肢を広げられる事をもっとアピールしてもらえたらと思います。 |   |
|      | 278 | 預かり保育の全園実施・弁当給食の本格実施は、今のニーズにとっても合っていると思います。が、この事については、なかなか認知されていない所が現状だと思うので保健所で検診時に伝える等が必要だと思います。   |   |
|      | 279 | 預かり保育の全園実施、弁当給食の本格実施の周知方法について：未就園児の母親が集まる場での周知をもっと行ってほしい。働いている知人は17時まで預かり保育をしてくれる幼稚園をさがしていました。   |   |
|      | 280 | 来年度入園希望者がより希望する園の選択肢を広げられるよう、未就園児の母親が集まる場での積極的な周知をされてはいかがでしょうか。  |   |
|      | 281 | 区立幼稚園の今後の対応について幼稚園の実情を踏まえ、対応してくださっていることに感謝いたします。7年度の募集までに未就園児の保護者への周知を早くもれなくしていただきたいと思います。預かり保育を始める園に関してはなおさら早くお願いしたいです。   |   |
|      | 282 | 預かり保育、お弁当給食実施の周知について、周知が全く足りていない事が大きな問題かと思います。私自身も園に通う人から聞いたのみで、それ以外の場所で見聞きする事はゼロでした。区からもらう様々な案内はもちろんですが、児童館や健診等未就園児の親が集まる場所での周知を行っていくべきかと思います。  |   |



| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|------|-----|--|--|
| 情報発信 | 283 | <p>全園での預かり保育と給食の取り組みはとても良いと思います。近年、働く家庭が当たり前になりつつあるのをとても感じます。時代に合わせた取り組みと変化は必要だと感じます。0歳児から保育園に入りたい方からすると、3歳からとなると多少劣る部分はあると思いますが、待てないや働かざるをえないなどあると思いますので、保育園と提携するなどあると良いかと思います。0～3歳児は保育園その後は提携の幼稚園になる等、双方の負担も変わるかと思えますし。正直1度入った保育園を変更してまで幼稚園の預かりに変えるかと・・・となると、慣れている生活が親子共々いいと感じると思うので中々難しい所もあると思います。それでも需要はあると思うので、子育て広場や児童館等の保育園、幼稚園に入る前の場所へのアプローチ等が今一度大切ではないかと思えます。とても素敵な取り組みをしていますが、知られていないと今後につながりにくいと思います。</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p>   |
|      | 284 | <p>併設小学校がある園は、0～2歳児の保護者に小学校とのつながりが深いことをもっともっと発信したほうが良いと思う。</p>   |  |
|      | 285 | <p>区立幼稚園（預かり保育）のアピール方法を見直してみるのはいかがでしょうか。未就園児の母が必ず関わる1歳児健診会場で区立幼稚園の説明ブースを設けてみるのも良いかと。</p> <p>未就園児を子育て中のお母さんの目の付く場所、場面へのアピールが弱い。</p> <p>児童保育課に来た家庭にももっとアピールしてはどうか。</p>   | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>関係部署と連携した周知についても、引き続き取り組んでまいります。</p> |
|      | 286 | <p>今後も区立幼稚園の良さを周りに伝えていきたいので、周知に力を入れてもらい、多くの方々の選択肢に入るように存続していけたらと思います。</p>  | <p>選択肢の一つとして、区立幼稚園を検討していただけるよう、区立幼稚園の基本情報や特色などについて、様々な機会を捉えて広く周知してまいります。</p>   |
|      | 287 | <p>未就園児が集まる場での区立幼稚園の周知について、今後幼稚園や保育園の入園を検討している保護者がいるような場所でのPRをする等、選択肢として選ばれるようにした方が良いと思います。</p>  | <p>選択肢の一つとして、区立幼稚園を検討していただけるよう、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p>  |

| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|------|-----|--|---|
|      | 288 | <p>園児や未就園児親子が集まる場所（保健所、一時保育所、児童館、図書館など）にパンフレットやポスター等で周知していただけると嬉しいです。</p> <p>園でも未就園児の会などでお話ししたり、園に通うママさんたちの口コミが広がったりもありますが、それだけでは周知が難しいと思うので、区からも周知、宣伝していただきたいです。</p> <p>配慮が要する子供や医療的ケア児の受け入れに関しても、当事者の親御さんははじめから区立に入れるという選択肢が無かったり、無理だと思われる方もいらっしゃるのでは、園内のバリアフリー化、受け入れ体制の充実化を知らない方も多いと思います。</p> <p>こちらについても健診時や、療育などで周知して、未就園児の会に来ていただくなどできたら良いと思います。</p>               | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>また、配慮を要する子供や医療的ケア児の受け入れに関して、必要とする保護者の方に情報が十分に届くよう、情報発信の強化に努めてまいります。</p> |
| 情報発信 | 289 | <p>区立幼稚園の強みは教員の質だと考えます。皆さん四大卒業者で一般教養を身につけており、また学科試験と実技試験の狭き門を通過した方しか区立幼稚園に就職できないと理解しています。その点が私立幼稚園と大きく異なる区立幼稚園の強みだと考えます。しかし、その強みが一般家庭には伝わっていない（知らない）と思われる。現在共働き世帯は預かり保育のある先に魅力を感じるのでしょうか、私の勤務先を含め企業の育児休暇制度も充実してきており、会社の理解も得やすい環境になってきています。そうすると今後は預かり有無よりも教員の質や教育内容を重視して幼稚園選びをする家庭が増えると考えます。区立幼稚園の教員がいかに優秀（表現の仕方は色々あると思いますが）であるかをアピールした方が園児が集まると思いますので、是非ご検討をお願いします。</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>また、未就園児の会など直接的に幼稚園の様子を知っていただく機会もあるので、一層の周知に努めてまいります。</p>                |
|      | 290 | <p>学級編制基準の見直し内容に関し、周知時間がなさすぎと思います。周知方法は、周知場所等の数を増やす、ホームページ、SNS だけではなく区報、町会掲示板、区町会連合会、町会長会議や回覧板の活用もあっても良いかと思えます。</p> <p>都としては管轄外かと思うのですが他区での状況事例、成功事例等も有ると嬉しい。台東区だけの事例は？小学校学区域の検討も今後課題かと思えます。</p>   | <p>今後の対応策について、パブリックコメントの実施にあわせて、台東区町会連合会への説明及び資料送付のほか、広報たいとう、公式ホームページ、公式SNSなどを活用した周知に取り組み、広くご意見を頂戴しました。</p> <p>引き続き、対応策の決定後も、十分な周知に努めてまいります。</p>                                    |

| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|------|-----|--|---|
| 情報発信 | 291 | <p>我が家の子供 2 人とも、富士幼稚園卒園児です。</p> <p>まず何より、区立幼稚園のこの素晴らしい環境。小学校併設が多いので、きょうだい小学校へ上がっても同じ施設内にいる安心感、園児は小学生を見ながら自分の成長に見通しを感じられ、スムーズに就学できているように思います。また教育内容も素晴らしく、よそから転園して来られたり、下のお子さんで初めて区立園に関わる方は、「こんなにたっぷり自由に遊んでいるのに、先生方が園児の何気ない言動をすぐに捉えて成長へ繋げる環境を作ったりして、そこに全く無理がなく、本当に自然に園児を伸ばして下さる」と驚かれます。子ども達は生きる力の基礎が確実に築かれ、保護者も信頼してお任せできます。</p> <p>ただ、この良さが子育て世代に伝わりにくいことが 1 番の課題だと痛切に感じます。預かり保育やお弁当給食の拡充は、時代感に合った素晴らしい施策です。14 時でお帰りする事もでき、給食もお弁当も選べる、これは大人だけでなく当の子どもの立場でも利点が大きいです。余裕のない世の中で子どもの最善の利益がさて置かれがちな時代にあって、区立園は子どもが主体でいられる質の良い教育機関だと思います。この良さを、園選びを始める前の保護者、特に母親に、区が躊躇せず伝えていくこと、これが課題です。教育委員会や園長会だけでなく、小学校の校長先生方、PTA 連合会とも力を合わせて、それぞれの立場から伝える努力をしてはいかがでしょうか。幼稚園選びの親子に伝える最適な場所は 1 歳半検診だなど、過去の自分の肌感覚で感じます。それは、園児増員のためだけでなく、台東区に暮らす女性の生き方の選択肢を増やす事にもなります。母子が健やかに共に育ち、子育てに悔いを残さず、そして母自身の人生も犠牲にしない、そんな視点からも区立園を是非宣伝し選択肢に加えられるようお願いいたします。</p> | <p>関係部署と連携しながら、健診事業の機会を活用するなど周知強化に取り組んでまいります。</p> <p>選択肢の一つとして、区立幼稚園を検討していただけるよう、区立幼稚園の基本情報や特色などが保護者の方に適切に届くよう努めてまいります。</p> |

| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|------|-----|--|--|
|      | 292 | <p>預かり保育とお弁当給食の全園実施の周知方法として、児童保育課・児童館・3歳児健診等、未就園児の母親、保護者が集まる場所での周知を行って欲しい。</p> <p>ただ単にHPに記載がありますだけでなく、園と在園の保護者以外にもきちんと告知のための方法や人的配置、または保育園入園と迷っている方への1つの提案としてもPRしていただきたい。(管轄外であっても保護者には1つの選択肢として残る可能性があるため)</p> <p>園や保護者だけでは周知するにも限界がある。</p> <p>時代とともに変化する幼稚園の形ではありますが、園児や保護者にこれからもよい形で幼稚園教育の場が提供されることを第一に希望致します。</p>  | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>また、関係部署と連携しながら、選択肢の一つとしてしっかりと認知されるよう、情報発信の強化に取り組んでまいります。</p> |
|      | 293 | <p>地域の未就園児にこの内容が伝わっているとは感じにくく、未就園児の集まる場にもっと伝えていくことが必要と感じる。</p>   | <p>未就園児の保護者が集まる児童館や子ども家庭支援センターなどの施設や健診事業等での周知の強化に取り組むとともに、各園で実施する未就園児の会の周知に努めてまいります。</p>   |
| 情報発信 | 294 | <p>まず、乳児健診で集まる保護者にパンフレットを配るのが一番効果的だと思います。区立幼稚園・子ども園のそれぞれの特色が分かるような写真があるとイメージしやすいし、遊びに行ってみようと思うのではないのでしょうか。区幼Pで毎年発行している「区幼Pだより」も各幼稚園・子ども園の紹介が載っているので活用できると思います。</p> <p>また、台東区の子どもが減少しているのなら、子育てをしたい魅力的な街づくりを目指し、移住者を増やすことも方法かなと思います。子どもは未来の希望で、国の宝です。子育てしやすい街はこれからも発展していくと思います。地域に根付いた子育てができる台東区だと感じているので、PR次第では子どもたちも増えて行くのではないのでしょうか。移住のテレビ番組を見ていると、どこの市区町村も子育てを重視しているようなので、台東区もその一員になれるよう応援しています。</p> <p>そして、出産を考えている世代にも情報を発信できるといいと思います。HPの見つけやすさや工夫が必要だと思います。</p> <p>ご検討よろしく申し上げます。</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>また、ホームページで的確に情報が届けられるよう、分かりやすい発信に取り組んでまいります。</p>             |

| 分類   | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|------|-----|---|--|
| 情報発信 | 295 | <p>区立幼稚園の良さを知る区民として意見します。「区立幼稚園の今後の対応 中間のまとめ」にあるように、台東区立幼稚園は園児数減少のため、現時点では非常に難しい状況にあると理解しています。一方で、歴史のある区立幼稚園は、設備が整い、自然環境も豊かで、園児一人当たりのスペースも広く、行事や日々の幼児教育も何年もかけて実践され、練り上げられています。地域の住民からも温かく受け入れられています。小さな世界でたくさんのかつことを日々吸収する子供達にとって、少人数で専門の教育を受けた教諭のもと、のびのびと幼稚園生活を送ることは、長期的な成長として見ると非常に大きな利点であるのではないのでしょうか。</p> <p>また、小学校と併設されている環境は、進学後の学校生活との接続もスムーズで、クラスの中でも落ち着いたグループになるので安心と聞き及んでいます。一方、需要により近年増加した小規模保育所や保育園は、園児数は多いものの、地域に開かれた園というイメージはありません。求人広告も園の外に貼ってあるようなことも多く、「教育の質」はどのように担保しているのか不明瞭です。資料17 ページに②問1のニーズ調査で「保護者の幼稚園離れが顕著に表れています」とありますが、子育て世代の実感として、台東区内の認可保育所は平成30年度よりも令和5年度には激増していた印象があり、保育先の選択肢として認可保育所が増えたことによる影響もあると考えます。保育園に預けている保護者の中には、幼稚園の教育を受けさせたいと転園を考えたり、低年齢では小規模保育園を利用したのちに区立幼稚園を検討する方もいます。実際に保育園から転園して、大満足だったというケースも区立幼稚園に通っていると聞こえてきます。</p> <p>入園先を検討する際、少人数すぎて不安になってしまう保護者とは裏腹に、実際に通わせてみると魅力あふれる区立幼稚園ですが、平日忙しい保護者も多く、実際にその園に通わせた家庭の体験談を聞く機会は限られているように思います。また、地域に長く住んでいる層も、祖父母世代が子育てをした頃の区立幼稚園のイメージであったり、数年前から始まった預かり保育の実施やお弁当給食など、最新の情報を知らないことも多見されます。その年度の幼稚園がどのような保育を行い、保護者の負担がどのようなものか、またそこ</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>今後も、ホームページや公式Instagram、ケーブルテレビでの区立幼稚園紹介番組など様々な媒体を活用して、情報発信に努めてまいります。</p> |

| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|------|-----|--|--|
| 情報発信 |     | <p>に通う園児がどれくらい元気いっぱいに過ごしているかなどのアピールを、SNS や台東ケーブルテレビ、またその番組を保健所の健診時に流すなどして、未就園児のいる家庭層に知ってもらう努力を区に担って欲しいと願っています。</p>   |  |
|      | 296 | <p>子供が育英幼稚園に通わせていただいています。いつもお世話になりましてありがとうございます。</p> <p>子供が2歳の時に未就園児の会に参加させていただきました。先生や支援員の先生方がとても優しく素敵な園でしたので入園を決めました。まだその時は、預かり保育が始まる前でしたので、よく分からなかったのですが、いま預かり保育が始まりとても良いと思いました。私の家庭でも今月から利用させていただきます。</p> <p>今後、期待したいのは、もっとより多くの入園前の保護者の方へ幼稚園でも預かり保育について、周知していただきたい事です。</p> <p>乳幼児検診など、チラシを配っていただいたりするのとも良いかと思えます。</p> <p>友人も4歳児を育てていますが、保育園に通園しており、預かり保育についてはあまり知らないようでした。</p> <p>園児が少なくなっている幼稚園もあるかもしれませんが、まだ預かり保育が始まって2年目ですので、閉園検討などはもう少し長い目で見ていただけたらと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など情報発信の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>また、区立幼稚園の基本情報や特色、園の様子が十分に伝わるよう、ホームページの内容充実や公式 Instagram での発信強化に努めてまいります。</p> <p>未就園児の会についても、直接的に幼稚園を知っていただく機会であるので、一層の周知に努めてまいります。</p> |
|      | 297 | <p>全体を通じて、「グレイゾーンの子供と外国人の子供を引き受けるのが公立園の役割」と強調されているのが気になった。もちろんそれも役割の一つであるとは思いますが、いわゆる普通の子供に向けてもしっかり入園を宣伝、アピールして欲しい。あまりにグレイゾーンの子供と外国人向けをプッシュされると健常児（日本人）の保護者としては自分の子を預けてよいものか不安になる。</p>   | <p>安心してお子様を預けることができるよう、区立幼稚園への入園を検討される保護者に向けて、区立幼稚園の基本情報や特色を十分に情報発信してまいります。</p>  |

| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|------|-----|--|--|
| 情報発信 | 298 | <p>■未就園児の親への区立幼稚園の訴求の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区立幼稚園の情報と就園児の親とのコンタクトポイントが薄い <ul style="list-style-type: none"> <li>1歳児検診、3歳児検診、児童館や支援センター、また保活を相談しに来た方への選択肢の一つとしての案内をするなど、未就園児の親が集まる場での訴求をもっと行って、区立幼稚園のを知って選択肢に入れて欲しい。</li> </ul> </li> <li>・園のHPやSNSの有効的な運用を <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が園を検討する際には、その園のHPは閲覧する可能性は非常に高い。園の様子や未就園時の会の様子はこまめな更新をして、保育の様子を在園児の親だけじゃなくて未就園児の親にも訴求できるといい。LINEやインスタグラムなど閲覧してもらえそうな動線をしっかり考えて欲しい。</li> </ul> </li> <li>・区立幼稚園の良いところの情報がわかりにくい画一的な情報だけではなく、区立幼稚園の良さをもっとわかりやすくアピールした方がいい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「充実した保育」「預かり保育の実施」「弁当給食」「隣接小学校との交流」「地域との交流」などを、先生視点や保護者視点の声を入れたり、わかりやすいリーフレットやSNSを駆使して、未就園児の親にわかりやすく届けて欲しい。預かり保育や給食などは幼稚園はやっていないと思い込み、知らない保護者は多いと思う。</li> </ul> </li> <li>・未就園児の会のアピール <ul style="list-style-type: none"> <li>プレ保育に行ってみてその園の雰囲気や子供の様子を実際に体験することは大きな判断材料になる。区立幼稚園の広い園舎や小学校との連携、台東区の幼稚園の先生方の人柄や保育の素晴らしさなどを実際見て体験して判断材料にしていきたい。</li> </ul> </li> </ul> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など情報発信の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>また、区立幼稚園の基本情報や特色、園の様子が十分に伝わるよう、ホームページの内容充実や公式Instagramでの発信強化に努めてまいります。</p> <p>未就園児の会についても、直接的に幼稚園を知っていただく機会であるので、一層の周知に努めてまいります。</p> |
|      | 299 | <p>預かり保育や幼稚園給食の有無について、知らない保護者も多いのではないかと。またその手続きが煩雑になっていないか見直しも必要だろう。</p>   | <p>周知の強化に加えて、手続きもわかりやすく簡素に改善できるように検討してまいります。</p>   |
|      | 300 | <p>当事者のみの討議ではなく、区の教育委員会の幼稚園教育の実体を知ってもらうことを最優先にやってほしいと考えます。区の公報活動では方針を知り得ませんでした。これまでの預かり保育の充実で成果が得られることありましよう。決めた方向で処理するだけでなく、運用で上げられる成果もあると思えるからです。教諭と保育士の違いをも知って欲しい。子どもたちにとってはどちらも先生なのです。</p>   | <p>区立幼稚園の基本情報や特色、園の様子が十分に伝わるよう、広く周知に努めてまいります。</p>  |

| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|------|-----|--|--|
| 情報発信 | 301 | <p>知り合いの方からこちらの意見募集について伺い、初めてまとめ（時間が無いので概要だけ）を見ました。現在娘が認証保育園（1歳児クラス）に通っており、3歳児クラスからどこの保育関連施設に進めば良いか検討していくためにも、こちらに回答することにしました。</p> <p>私は区立幼稚園についてほぼ何も知りません。まとめを拝見して初めて区立幼稚園の園児数減少やいろいろなニーズに対応する取り組みを知りましたが（特に弁当給食と預かり保育延長の全園実施→保育園化を目指している？）、私のような無知な保護者には、もう一段階前の部分での理解促進が必要なのではないかと思います。それは「で、結局うちの場合はどこに預けたらいいの？」ということです。</p> <p>「区立幼稚園に対する保護者の理解を促進させていく」という課題についても関係してくるのですが、これは0歳時に預け先を探したときにも思ったことですが、保険でいうところの「ほけんの窓口」のように、全ての区の保育関連施設について熟知している方の中立的な立場での相談会があればぜひ参加したいと思います。（せめてエリアごとにでも）一昨年、無職で点数が全く足らなかった私は「よく分からないけどなんとか就職して認可保育園に入れたほうが良い」と思い込んでおり、焦って区役所に電話し、たまたま担当者の方が認証保育園の専願について教えてくださいましたので今がある状態です。私のように最初はなんとなく認可保育園と思っている人は多いのではないのでしょうか。</p> <p>出産前に引っ越してきて台東区についてもまだまだ分からないことばかりです。知り合いも少ないです。自分で保育園子ども園幼稚園の比較リスト等を作成して検討するよりも、誰か一発でニーズマッチする施設を2~3教えてくれないかなあと日頃から思っています。（住所と点数を入れたら近隣の園が出てきておすすめしてくれるページを作って載せて欲しいくらいです）他力本願なのかもしれませんが、育児相談会等でそのようなことも実施されると良いのではないかと思います。</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>また、幼稚園、保育園、こども園それぞれで未就園児の保護者を対象とした相談を現在も実施していますが、各園の特色や比較といった情報がわかりやすく伝わるよう、周知方法の工夫についても検討してまいります。</p> |



| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|------|-----|--|---|
| 情報発信 | 302 | <p>「共働きの場合は保育園と言う選択肢しかない」と考えるのは自然です。何故ならば数年前までは本当に選択肢が保育園しかなかったから。状況は確かに変わりました。しかし延長の預かり保育があること自体まだまだ浸透していないのではないでしょうか。時間がかかると思いますし、認知を高める工夫も必要だと思います。</p> <p>区役所に相談した際に「延長保育があるからと言って安易に幼稚園を選んではいけない。保育園と違って PTA があるから」と丁寧に諭された記憶があります。(区役所の保育園担当の方の発言か、幼稚園担当の方の発言かは忘れませんでした。) PTA があることは事実ですが、「面倒なものだ」との刷り込みは不要です。</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見を参考に、今後関係部署と一層連携しながら、子育て中の保護者に向けて必要な支援情報を発信してまいります。</p> |
|      | 303 | <p>Instagram での情報発信は、なかなか現地に足を運べない転入組にとっても大事な情報源である。素晴らしいので続けてください。</p>  | <p>区立幼稚園の基本情報や特色、園の様子が十分に伝わるよう、公式 Instagram での発信強化に努めてまいります。</p>  |
|      | 304 | <p>何も知らない時にどのように情報を集めるか。今はインターネットや SNS です。写真で園の様子がたくさん見られるとどんな風に過ごしているかがわかり、未就園児の会に行ってみようかなという気持ちになる。大変だとは思いますが幼稚園からの発信はとても大事。まずはホームページを充実させてほしい。</p>  | <p>区立幼稚園の基本情報や特色、園の様子が十分に伝わるよう、ホームページの内容充実に加えて、公式 Instagram での発信強化にも努めてまいります。</p>   |
|      | 305 | <p>ここの幼稚園はどんなところに力を入れているかを先生だけではなく区立幼稚園のいいところを教育委員会の方々からももっと発信してほしいし現場に来て、見て、空気を感じて内部(先生や保護者)からでは気付けないところを教育委員会の外部の方々からこういう取り組みいいですね!とか世の中にアピールも一緒にしてほしいです。地域との関わりも大事だと思いますが幼稚園の月ごとでこんなイベント(母の日は制作をするとか季節にあったイベントをととても大事にしているとか)幼稚園内部のことを発信できる機会があるといいなと思います。</p>  | <p>区立幼稚園の基本情報や特色、各園の様子が十分に伝わるよう、ホームページの内容充実や公式 Instagram での発信強化に努めてまいります。</p>   |

| 分類   | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|------|-----|---|--|
|      | 306 | <p>台東区ホームページの「区立幼稚園とは」のページなどに、もっと各幼稚園の内部の写真や特徴的なイベントの一覧などがパッと分かる紹介ページ(PDF とかでいいので)があるといいです。</p> <p>〇〇幼稚園では何月には〇〇遠足、何月には〇〇祭り、何月にはもちつき、お茶会、何月には発表会といった感じで写真付きで年間行事の紹介があったり、教室や園庭、飼っている生き物などの写真があったりなど。現状は各幼稚園のホームページにとんで園日記を見るしかなく、更新頻度も園によってばらつきがあるので。</p> <p>他にも自分の子どもの幼稚園を決める際に、小学校と校庭が共用なので遊具がほぼないことも気にかかっていたのですが、実際はフロアカーなど乗り物に乗っていたり砂場道具もいっぱいあったし、園内にある道具で室内に遊具を組み立てたり自分たちで作って遊ぶということをしていたので遊具がないデメリットのかわりのメリットを紹介してもいいのではと思いました。</p> | <p>区立幼稚園の基本情報や特色、園の様子が十分に伝わるよう、公式ホームページの内容を工夫することも検討してまいります。</p> <p>また、公式 Instagram も活用しながら、各園の様子が広く伝わるよう発信強化に努めてまいります。</p>  |
| 情報発信 | 307 | <p>台東区内へのアピールは勿論のこと、台東区の子育て支援の中にもしっかり盛り込み、外から転入してくる人(検討している人)にもアピールすべき。実際に、昨年度も今年度も少人数の園に転入している子供たちがいる。(学級編制されない学年があると転入できないことも起こりうる。)</p>  | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>また、区外の方にも情報が伝わるよう、ホームページや公式 Instagram を活用した情報発信にも取り組んでまいります。</p> |
|      | 308 | <p>現在、小人数規模で子どもを診ていただいでいて、多人数のところにはない、一人一人と先生との距離の近さ、手厚さが魅力でもあると思うので、9人以下2年連続で閉園となってしまうのは悲しい。預かり保育も全園で実施されるのであれば、働いている家庭で幼稚園の教育環境に入ることができてすごく良いことだと思う。区の定期健診で保健師さんとの面談時、区立幼稚園を勧めいただき入園を決めたので、健診の時などにも宣伝というか、区立幼稚園についての案内、相談、プレ保育の説明など力を入れていくのも一つの手だと思います。</p>   | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p>   |

| 分類   | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|------|-----|--|---|
| 情報発信 | 309 | <p>娘が通わせていただいている台桜幼稚園のクラスは現在 6 名です。入園当初は人数の少なさに不安があり、また預かり保育で乳児保育園に通園していたときと同様の生活ができるかも心配でしたが、おかげさまで現在は最善の選択をしたと思っております。愛情深く手厚く関わってくださる先生方には感謝しかありませんし、こども園のように幼稚園・保育園両方のメリットを享受できる現在のスタイルはもっと多くの方に知っていただくべきことだと思います。たしかに、働きながらですと行事参加への調整は大変なところもありますが、家庭ではわからない子供の成長を感じられる大切な機会です。現在、行事後に子供を預けて仕事に向かえており、育児と仕事をバランスよく両立できていることに大変満足しています。そういった区立幼稚園ならではのメリットを今まで以上に未就園児が集まる場で周知していただけないでしょうか。私はほかの幼稚園の体験入園後に子供を園庭で遊ばせていたときに、たまたま台桜幼稚園が預かり保育をしていること、18 時まで預かっていただけのこと、お弁当があることを教えてもらい、私立幼稚園への申し込みをキャンセルして入園手続きをしました。もし、あのときに教えてくださった方に会わなければそのまま別の幼稚園に入園し、仕事も現在のようにできていなかったと思います。</p> <p>そういった周知はまさに草の根運動かと思しますので、来年度からクラス編制基準を 10 名にするのは時期尚早であるとも思われます。周知に関する協力はぜひしたいと思えます。親も子も個性豊かな素敵な園だと思えますので、どうか閉園にならないようお願いいたします。</p> | <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布のほか、未就園児の会への周知など、情報発信の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>また、新たな学級編制基準の適用時期については、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和 9 年度入園分からの適用と変更します。</p> |
|      | 310 | <p>周りの人はまだまだ、幼稚園の預かり保育のことを知らないしよくわかっておりません。このような状態でいきなり来年度 10 人の人数制限をかけるのはおかしいと思えます。</p> <p>まずは幼稚園でも預かり保育があれば働けるんだ！！ということをもっと広めていただきたいと思います。例えば、0 歳から 2 歳までを預かる保育園に PR、区内の子供が来るようなイベントで PR、児童館など。</p> <p>幼稚園も、子供を集めるのに努力されています。区の方もあたたかく支援していただけたらと思います。</p>   | <p>未就園児の保護者にも、今後の対応策（中間のまとめ）が広く伝わるよう、小規模保育施設や児童館、子ども家庭支援センター、浅草保健相談センター等でも、パブリックコメントの周知を行ったところです。</p> <p>また、対応策の決定後も、健診事業などの機会も活用しながら、周知に努めてまいります。</p>  |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----|-----|--|--|
|     | 311 | <p>例えば育英幼稚園は今年の年少・年中ともに 20 名を超えているようだが、今後定員をオーバーするようなことがあった場合抽選となってしまうのか。区立幼稚園は徒歩で通えることも大きな魅力の一つであるので、抽選落ちの結果ほかの公立幼稚園を選ぶというのは厳しい。仮に定員オーバーすることがあっても数名の範囲であれば先生を増やすなどして全員受け入れてほしい。</p>   | <p>現在の取り扱いでは、定員をオーバーした際は抽選となります。</p> <p>今後、園児数や入園希望者の動向を注視しながら、出来る限り入園を希望される園に入ることができるよう園運営に努めてまいります。</p>  |
| 園運営 | 312 | <p>保育園の時ほど、先生と密にやりとりができず、子どもが園内でどのように過ごしているのか正直わかりません。また、二歳児の時に通っていた保育園ではスマホで日々の様子をたくさん撮影してくれ、3ヶ月に一度 WEL KIDS photo というアプリで園児の親たちに共有されていたので、後からですが子どもが楽しそうに過ごす様子がわかりとても安心しました。</p> <p>園での生活をブログで公開したり、Instagram に投稿したりと一般公開しているのであれば、園児の親たち向けに日々の生活の写真を限定された環境で見せることに何の異論もないかと思えます。</p> <p>連絡帳などがなく、何をしているか分からないので、せめて写真など毎日楽しんでいる様子を後からで構わないので見せてほしいです。</p> <p>子どもに聞いても、わからない、忘れたとしか言われないので、3~5歳の毎日の生活がぼっかり育児日記に残せず残念に思っています。</p> | <p>ほとんどの園で、遊びや生活の様子、教育内容が伝わるよう、降園時の写真掲示・スライドショー表示や、HP の活用などの取り組みを行っています。</p> <p>今後も個人情報に配慮しながら、保護者の方に子供たちの様子や園の教育内容がしっかりと伝わるよう努めてまいります。</p>                            |
|     | 313 | <p>幼稚園の中でも延長保育をして下さるところが増えていくと思うのですが、やはり夫婦共働き、核家族が増えて行く中で日中子供を自宅で見てあげれるご家庭はこれからは少なくなっていくと思います。</p> <p>通常保育の時間や延長保育の中で小学校入学に向けて、文字の練習（うんぴつ）や、英会話などの勉強時間を増やしたり、平日はなかなか難しいと思うので、週末などに親子で参加できるイベント（夕涼会）などの行事があれば良いのではないかと思います。</p>   | <p>現在も、区立幼稚園では小学校への円滑な接続に向けて、「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づき、幼児教育を実践しております。</p> <p>引き続き、質の高い教育内容を維持していくとともに、土曜日の園行事の拡充に関しては、振替休業日の問題もあるため、保護者参加の機会拡大も含めて、今後検討してまいります。</p> |

| 分類  | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----|-----|---|--|
|     | 314 | <p>昨今の気候変動により、夏季の外遊びは非常に難しいのが現状です。また頼みの綱の児童館も夏季休暇中は学童利用の小学生であふれております。乳児ならともかく、ある程度の年齢の子供を保護者だけで長時間みることのメリットはあまり感じられず、子供の健やかな育成のためには同年代の子供たちとふれ合うほうが望ましいと感じます。つきましては夏季保育の拡充や、所属園を問わない幼児を対象としたサマースクールの開催があると助かります。</p>            | <p>在園児に対しては、預かり保育（定期利用）の全園実施に伴い、長期休業中の預かり保育を実施してまいります。</p> <p>全ての幼児を対象としたサマースクールについては現在検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| 園運営 | 315 | <p>遠足など両親共に参加を認めて欲しい。入園料の負担は個人で構わないので。</p> <p>土日の休み校庭開放日を作って欲しい。公園は小学生が溢れ、運動量が違うので、園児にしては公園が危ない時もある。園児のみ校庭の使用を許可して欲しい。</p>  | <p>遠足については、様々な事情のあるご家庭もあり、各園の行き先や交通機関の利用状況などによっても園の対応が違うため、一律で決めることは困難です。</p> <p>学校施設については、利用ルールを定めて、学校や教育委員会の事業、区開催事業、コミュニティや社会教育登録団体の活動、個人利用などに開放しています。現在の利用状況を踏まえると、園児に向けて定期的な開放日を設けることは困難ですが、実現可能性について、学校や園と協議してまいります。</p> |
|     | 316 | <p>自分の子ども達は区立幼稚園でした。先生方にはとても良くしていただき、幼児教育に対する意識の高さも感じていました。幼稚園に愛着もあり、できれば閉園はしてほしくないです。しかし、今後も共働きの家庭が増えていくのかなということを考えると、幼稚園の保育時間のさらなる延長、特に始業時間をもっと早くすることは必須だと思います。できれば区立保育園と同程度の時間だったら、保育園ではなく幼稚園で幼児教育を受けさせたいという保護者もいると思います。</p> | <p>幼稚園の教育時間の変更については現在、検討しておりません。</p> <p>また、預かり保育（定期利用）のサービス内容の更なる充実も現時点では検討しておりません。</p> <p>預かり保育（定期利用）の全園実施後に、利用状況や要望などを分析しながら、必要性を検討してまいります。</p>  |

| 分類  | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-----|-----|---|---|
|     | 317 | <p>通常保育の時間について年少クラス 14 時、年中、年長クラス 14 時 10 分が短く感じ 14 時半～15 時ぐらいが理想です。</p> <p>月 1 行われているわくわくデーを月 3 回に増やして私立幼稚園で行われているような英語、体操、ダンス、音楽などの習い事のようなことを体験出来たら良いな…と思います。</p>   | <p>幼稚園教育要領では、一日の教育時間は、4 時間を標準とすると定められています。</p> <p>各園で行っている子育て支援のための延長保育では、教育時間内とは違い、子供たちの生活の流れを考えて、家庭的な雰囲気の中で、のんびり過ごしたり、友達と関わったりできるように工夫しています。</p> <p>区立幼稚園が大切にしている教育内容については、今後も丁寧に周知してまいります。</p>   |
| 園運営 | 318 | <p>来年度から 14 時以降の預かりが全園対象になるということですが、それだけでなく、慣らし保育の期間を短くしてほしいです。5 月から 14 時にしていただけると、保護者も働きやすくなると思います。またこども園のように長期休み(お盆、正月除く)の際も就労の預かりがあると嬉しいです。保育園には預けずに幼稚園に行かせたい家庭もあります。ぜひご検討よろしく申し上げます。</p>                            | <p>初めての集団生活の場に慣れ、安心して生活できるようになることは簡単なことではなく、個人差も大きいいため、区立幼稚園では、すべての子供たちが安心して園に慣れることができるよう、3 歳児の保育時間について毎年検討し、ある程度の期間を設けています。</p> <p>頂いたご意見も参考にしながら、今後も子供たちの実態に応じて検討してまいります。</p> <p>また、預かり保育について、長期休業中も実施してまいります。また、学校閉鎖期間の運営については今後検討してまいります。</p> |
|     | 319 | 先生の人数がもう少し増えたら嬉しいです。  | 現在、各園に教員を適正配置しているところです。   |
|     | 320 | <p>・未就園児の会の開催回数を増やすとありましたが現状の先生数では足りなくなるのではと思うので、教員数増加についても検討してほしい。</p> <p>・区立幼稚園を選ぶか、他の施設を選ぶかという選択肢でみた時に PTA 活動の保護者の比重が大きいと、尻ごみしてしまうところがあるので、なるべく PTA 活動の負担が少なくできるというと思うが、現状の教職員数で保護者の負担削減は難しい気もするので、教職員数を増やして欲しい。</p> | <p>また、現在、区教育委員会では、持続可能な教育環境の整備に向けて、台東区立学校園における働き方改革に取り組んでいます。</p> <p>引き続き、教職員が働きやすい環境づくりを推進し、教育活動の質の向上を図ってまいります。</p>  |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| 園運営 | 321 | 0～2歳児の預かりのある認証、小規模保育園などもっと連携する必要があるのではと思います。   | 頂いたご意見も参考に、小規模保育施設等との連携についてどのような取り組みができるか検討してまいります。   |
|     | 322 | 今後園の数の減少は不可避とは思いますが、園児が進学後に戸惑わぬよう自分の進学予定の小学校と交流を図るプログラムを導入すれば、無為な越境通学など減るのではないのでしょうか。  | 現在実施している園もございますが、併設小学校に加えて、近隣小学校との交流機会を今後も積極的に作るよう努めてまいります。   |
|     | 323 | 浅草寺幼稚園・寛永寺幼稚園は夏場のプール遊びの実施がありません。(近年猛暑が続く暑い日は園庭にも出られず室内遊びのみ)<br>ですが大正幼稚園は大きなプールを出し、夏場の暑い日はほぼ毎日プールをさせてくださるのはとても良い点ですし、学校のプールにも入れるので水泳学習の先駆け・水に慣れるという点でもっとアピールすべきかと思えます。入園するまでこんなに水遊びが充実していることを知りませんでした。                              | 子供たちの体験活動を大切に、安全に留意しながら、教育・保育を行っています。<br>小学校に併設しているという区立幼稚園の特色を生かした取り組みを今後も続けてまいります。  |
|     | 324 | 区立幼稚園の入園後、1学期は年少の降園時間がずっと早いで、最初の1週間が午前保育、2週間目は給食を食べて13時ごろ降園、3週間目から1日保育などと早い段階で1日保育にすると良いと思います。(これでも遅いと私は感じます。)<br>台東区の私立幼稚園がどのようなかわかりませんが、もし1日保育や預かり保育が早い段階から始まるのであれば、区立幼稚園の1学期の保育時間が短いのはすごくマイナス点だと思います。(預かり保育も2学期から始まるので遅いと思います。) | 初めての集団生活の場に慣れ、安心して生活できるようになることは簡単なことではなく、個人差も大きいいため、区立幼稚園では、すべての子供たちが安心して園に慣れることができるよう、3歳児の保育時間について毎年検討し、ある程度の期間を設けています。<br>頂いたご意見も参考にしながら、今後も子供たちの実態に応じて検討してまいります。 |
|     | 325 | 以前よりは進んでいるとは思いますが、人手不足、人手不足、というフレーズをよく耳にします。先生方の業務をもっと簡素化して、先生方に時間をもっと与えてほしいです。妊娠した先生の代わりを探すのにも難航していて、女性が活躍する職場だろうに、女性にとって働きやすい環境が整っていない印象を受けます。内部の事は私たち親からはよくわかりませんがもう少し職場環境も整ったら良いと思いました。  | 現在、区教育委員会では、持続可能な教育環境の整備に向けて、台東区立学校園における働き方改革に取り組んでいます。<br>引き続き、教職員が働きやすい環境づくりを推進し、教育活動の質の向上を図ってまいります。  |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 園運営 | 326 | <p>幼児教育の質を高めるために、区や園との連絡や手続きを効率的にしたいです。</p> <p>特に預かり保育の申込と還付の手続きが手書きで、非常に効率が悪いです。園が集約・確認に時間を要し、そのため日常の保育の伝達、行事などの質を高める事が手薄になっているのではとも思います。</p> <p>PTA 役員をしていますが、諸々の連絡が非効率（特に園の PC のセキュリティのためかファイルの受渡に限度があり時間を要します）、PTA 会議、区や都で招集される会が多数あり、日常や勤務時間を逼迫しています。</p> <p>園や子どもたちのため、地域コミュニティも大切と考え役員をし、教育の場だからと非効率さを辛抱していますが、時間、体力、金銭的にも限界があります。PTA 活動は任意ですが、参加の圧があり、PTA の協力がないと園の行事に支障があると思ひ尽力している部分もあります。</p> <p>「区立幼稚園の今後の対応」の説明会で、私を含め、幼稚園の幼児教育をと、働いていても無理をして通わせている人がいるのを知りました。現状、就労している人はかなり無理をして通わせていると思います。</p> <p>預かり保育の拡充は必要と思いますが、保育園化せず幼稚園の良さを大事に「人手や事務効率の改善」「働いていても幼稚園に入れる事を未就園児の母親が集まる場で周知」をお願いしたいと思ひます。</p> | <p>預かり保育利用にあたっての利便性向上については、引き続き検討してまいります。</p> <p>また、頂いたご意見について、各園と共有し、子供たちのための PTA 活動のあり方や負担軽減に向けての方策など検討してまいります。</p> <p>園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> |
|     | 327 | <p>区レベルの子育て支援制度情報の共有・発信が叶う場所となれば、子育て世代が制度を有効に活用できるようになると考えます。また、こどもが毎日通い送迎する場所にこそ子育て世代のリアルな意見が集約されます。部署間の領域に柔軟性を持たせ、例えば住宅課が実施している【台東区子育て世帯住宅リフォーム支援制度】等の情報を掲示板に掲示したり保護者限定の連絡 NET などがあるようなら類する【区が取り組む子育て支援情報】を身近に閲覧できるよう工夫をする。若し問い合わせを受けた場合は担当部を知らせあげる。程度の事で良いのだと思います。従来からのアナログな対処、対話でのきめ細かなやりとりこそ本来変えてはいけない【現代に欠けるもの】と危惧しています。大人を見て育つ子どもたちへ【人として見聞きを学べる場】になれば【良質な選ばれる園】の選ばれるきっかけになると思ひます。</p>  | <p>現在も、区立幼稚園では掲示板やチラシ配布等で、区の様々な情報を発信しています。</p> <p>今後も関係部署と一層連携しながら、子育て中の保護者に向けて必要な支援情報を発信できる場となるよう、努めてまいります。</p>   |



| 分類  | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 園運営 | 328 | <p>私服に幼稚園ズボンで過ごすのが区立幼稚園ですが、私服に直接名札を安全ピンで留めると、洋服に穴が開いてしまい洋服が傷んでしまったり、お下がりに行きにくい、目立った汚れはないのにフリマアプリで販売できない等のデメリットが生じています。保育園では名札はしませんし、それでも職員・子供達同士お互いの名前は生活の中ですぐに把握しています。毎日顔を合わせ、少人数になってきている区立幼稚園においてこそ名札の意味はもうないのではないのでしょうか。</p> <p>制服に安全ピンならまだしも休日にも着用する子供服に穴が開いてしまうのは保護者としては大変気になる点です。衣類を長持ちさせたいので安全ピン以外の方法や名札の廃止を検討していただきたいです。私立幼稚園では制服に名札の着用で、私服に安全ピンを通すことはありませんでした。区立幼稚園では4歳児から自分で名札を着用する練習を取り入れているそうですが、4歳から無理に練習せずとも小学生になれば手先の発達と共に自ずとできるようになります。4歳児が頑張っって自分で名札の取り付けをすると無理に引っ張ったり、穴が大きくなったりして洋服が穴だらけになると、針で手を刺してしまい、怪我することもありました。</p> | <p>名札については、子供同士だけでなく、様々な職員が関わり、名前を呼ぶこともあるため、必要であると考えています。</p> <p>着用方法や形状については、頂いたご意見も参考に、今後検討してまいります。</p> |
|     | 329 | <p>竹町幼稚園に通わせていた卒園児の保護者としてご意見を送らせていただきます。前任の園長先生には人見知りの息子を根気強く見守っていただき、温かい目で息子の気持ちをほぐしていただき、順応に対応していただいたお陰で今日の息子があると言っても過言ではありません。主任、担任、補助についていただいた先生にも細やかな配慮、積極的にイベント等をしていただきました。</p> <p>しかし、残念なことに現在の園は色んな事に消極的で善意、ボランティアでなさってくれていたとは思いますが、その落差がありお友達の兄弟を他の前任の先生がいらっしゃる園に行かせようと思ってる方が多数いると聞きとても残念に思っております。</p> <p>是非、またここに通わせたいと思える幼稚園にしてもらえたらと思います！</p>   | <p>頂いたご意見については、各園と共有し、安心して子供を預けられるよう、今後のより良い園運営につなげてまいります。</p>  |

| 分類  | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----|-----|---|--|
| 園運営 | 330 | <p>デジタル化含めた利便性の向上</p> <p>特に私立保育園は、手ぶら登園、DX化等進んでおり、経験上、日々の登園準備に手間を感じることはほぼありませんでしたが、一方、幼稚園は持ち物に関する細かな決まりが多く、当日の朝に準備しなければならないものが複数あり、負担を感じることもしばしばです。何かと時間がなく、タイムパフォーマンス重視の共働き世帯については、あまり歓迎されない点のように思います。</p> <p>さらに、日々のコミュニケーションに関して言えば、幼稚園は紙ベースの連絡が多く、加えて掲示板、スママチ、さらにPTAのLINEまであり、多チャンネル化しており、情報経路が煩雑になっています。この辺りについては、連絡帳アプリをメインとした情報発信に切り替えるなど、経路を見直すとともにシンプル化してほしい所です。デジタル化を進めることで、多言語対応もより容易になり、一定数いるという外国籍児童世帯とのコミュニケーションもより円滑になるのではないのでしょうか。現在利用されているスママチは活用度が低く、またUIにも優れていないことから、今後、再考する機会があれば、他のアプリ導入も検討してほしいと思います。</p> | <p>園での活動に必要なものを日々最低限持参していただくようにしていますが、保護者の負担が過度にならないよう、改善できる点がないか検討してまいります。</p> <p>また、日々のコミュニケーションツールについても、頂いたご意見を参考に、引き続き利便性の向上について検討してまいります。</p> |
|     | 331 | <p>【園日より、行事などの配布物のデジタル化の強化】</p> <p>スママチで通知されるものと、紙ベースのものが混合しているので統一してほしい。通知も遅いので情報得るのも遅くなり混乱する。スママチでお知らせしますと言われていたのに来なかったりするので通知するまでのシステムがもう少し簡略化されると先生方も利用しやすいのではないかと。</p> <p>連絡ツールが古臭い(紙・ホワイトボード)、時代に合っていない印象。連絡事項がホワイトボード頼り、子供に気を取られ見そびれてしまうのでスママチ・コードモンなどデジタルのツールをもっと積極的に使ってほしい。</p>  | <p>日々のコミュニケーションツールについては、頂いたご意見を参考に、引き続き利便性の向上に向けて検討してまいります。</p>  |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----|-----|--|--|
|     | 332 | <p>わが子を区立幼稚園に通わせて良かったのは、地域との交流がもてたことです。通園の際も近所の方々と挨拶を交わし、親子で顔を覚えてもらえたことで、卒園後、一人で活動する範囲が広がっても安心することができました。当時よりも保護者は忙しく時間の余裕がないため、地域との交流機会も少ないのではないのでしょうか？同幼稚園出身者が地元に残っている台東区は幼稚園サポーターの宝庫です。時間に余裕のある幼稚園卒園者やその関係者（父母や祖父母など）がサポーターとして園活動に参加する機会があれば、地域の交流も活発になり、安心して子育てできる環境を作れるのではないかと思います。</p> | <p>区立幼稚園では、地域との交流を大切にしており、様々な地域行事に参加したり、園行事に地域協力者や保護者OBに参加していただいたりするなど、地域の人材活用を積極的に進めているところです。</p> <p>今後も、頂いたご意見を参考に、地域とのつながりを大切にして、より良い園運営に努めてまいります。</p>  |
| 園運営 | 333 | <p>人数がギリギリになりそうな園は、申し込みの段階で、「本当は入園を希望するけれど、人数がギリギリで来年度開園できるか不安だから、別の園に申し込もうかな？」という判断になって敬遠されがちかと思います（この判断が数名集まったせいで廃園になるのであればとても残念なことだと思います）。</p> <p>例え、開園されないとなっても、私立園への申し込みがスムーズにできるよう、区立園の入園申し込みの時期を早めたり、1次募集（一学期など早期に行う）、2次募集（従来通りぐらいの時期に行う）の期間を作るなどして頂きたいと思います。</p>                     | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> <p>また、学級編制が出来ない状況が判明した際には、該当園を希望されている保護者に速やかに周知し、対応してまいります。</p> |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----|-----|--|---|
|     | 334 | <p>満3歳児保育の事も意見に書かれていました。私の子供も4月の前半に生まれているため、数日早く生まれた子は幼稚園年少さんなのに、うちの子はもう1年家庭でという事が残念に思っていました。子供が通っていた区立幼稚園では、4月生まれの子は圧倒的に少なく、クラスのほとんどが早生まれの子でした。これは、3歳になったばかりでは不安だからのんびりした区立を選び、4歳間近のお子さんは、色々なことが経験出来そうな派手な私立を選んでいいのかなど感じました。満3歳児入園が出来れば、年少クラスの人数不足が改善され、遅生まれの子も区立幼稚園の体験を通じて、その良さを知り、3歳児になる年も区立幼稚園を選びたいと希望する家庭が増えるのではと期待しております。子供たちも、3歳児の学年になる前に園生活に慣れ、3歳児の学年になる頃に自信を持って通園できるのではと期待します。満3歳児入園は是非ともご検討いただけますと幸いです。</p>  | <p>今回まとめました区立幼稚園の今後の対応に基づいて、適切に対応策を講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>満3歳児保育の実施については現時点では考えておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |
| 園運営 | 335 | <p>セキュリティが脆弱。ゲート、玄関開けっ放しで無人の場面が度々あった。保育園はオートロックであった。</p> <p>個人情報の取り扱いが雑。個人情報書類を間違えて渡された場面があった。また教員の出産に際し、写真とお子さんの名前が書かれた掲示物を道路に面した場所に出しており、個人情報の取り扱いの雑さを感じた。</p> <p>清掃が甘い。区立保育園は用務の方がおり、汚いと感じた事はなかったが、幼稚園は汚れが目立つ。</p> <p>衛生観念が低い。幼稚園は子どもが風邪を多少引いても当たり前のスタンス。マスクを推奨したり、早退させたりなどなく、感染症が常時蔓延している。保育園は両親が共働き前提なので、風邪を引かせまい！という先生方の気概があった。</p> <p>振替休日が多すぎる。運動会などの行事は仕方ないが、引き取り避難訓練(午前中までの保育)や小学校の運動会見学で振替は意味がわからない。避難訓練は本当に訓練なのであれば平日午後にするべきであるし、小学校の運動会見学もわざわざ休日潰してまでやる目的が不明。幼稚園の振替休日の多さは共働き家庭が多い現代社会に全く即していない。</p> | <p>今後も、お子さんを安心して預けていただけるよう、園の安全管理及び衛生管理に十分注意してまいります。</p> <p>また、変化する保育ニーズに柔軟に対応できるよう、頂いたご意見も参考にしながらより良い園運営に努めてまいります。</p>       |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----|-----|--|---|
|     | 336 | <p>こどもの事故は周囲の大人が余程気を付けていてもちょっとした隙に発生します。園の安全性を高めるため、窓サッシ箇所に自動窓ロックを設置しベランダを有する構造の場合は転落防止ユニットを設置する事でこどもの飛び出し・転落は防げるようになります。区立幼稚園に転落事故防止装置の設置を標準化出来るように予算化をご検討ください。</p>   | <p>区立幼稚園では、園児への安全指導と職員による安全点検を毎月行うとともに、子供の安全を最優先に留意した施設の改善を毎年行っています。</p> <p>頂いたご意見も参考に、引き続き、お子さんを安心して預けていただけるよう、園の安全管理に十分注意してまいります。</p>   |
| 園運営 | 337 | <p>入園してから、私立幼稚園・保育園に比べ、メリットがなくデメリットしかないことに落胆している。デメリットのどれかでも改善しないと、区立幼稚園を周囲の人に全く勧められない。共働きでも歓迎と言っている割には、たくさんの不便さや不満を感じる。園児数を集めたいならば、しっかりと実際に通っている保護者の意見を聞いて改善して欲しい。</p> <p>危機管理能力の低さ</p> <p>他園に通っていたこともあり、他園に比べて先生達の危機管理意識がとても低く感じられる。水分補給やオムツ替えに対しての意識が低い。預かり保育無しの14時降園に対しての意識のままだと、18時までの預かり保育の長期保育には不十分。熱中症対策に対しても、最新の正しい知見を持っていないようなので、しっかりと研修して欲しい。また、各園に経口補水液を常備するなど対策は早急に必要。</p> <p>指定物の改善希望</p> <p>半ズボンを履くことを強制されている。今すぐにでも撤廃し、自由にすべき。理由が風邪予防のため薄着推奨と入園の際に案内されて、古い悪しき勘違いが続いているようで、現代の多様性や機能性最優先に対して真逆の印象を受ける。これでは、園児は集まらない。</p> <p>ベレー帽も洗濯不可の素材であり、機能面?衛生面で全く園児の日常使いに合っていない。</p> <p>これらの悪しき昔からの習慣をそのまま続けていることに対して不満や不信感をもつ保護者は多いことに真剣受け止め、改善をするべき。</p> | <p>幼稚園の熱中症対策については、現在も、水筒の持参や園で作った麦茶の補給などでこまめな水分補給を心掛けています。</p> <p>おむつ替えについては、3歳児入園ということから、排泄の自立が早い段階で出来ている幼児が多いですが、おむつを必要とする幼児に対しては、預かり担当職員とも連携を図りながら対応しています。</p> <p>また、園での活動における服装の指定については、安全性や動きやすさを考慮して、半ズボンを推奨しています。子供の体調や天候に合わせて柔軟な対応をしてきているところではありますが、今後も、お子さんを安心して預けていただけるよう、保護者の声も参考にしながら、柔軟に対応してまいります。</p> |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 園運営 | 338 | <p>両親が働いていることを前提にした保育/教育をお願いしたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業はなし、またはごく短期間（盆暮れ正月のみ、カレンダーどおり）</li> <li>・有償でもよいので、送迎バスがあると更に使いやすい</li> <li>・保護者会、役員会などと親をしょっちゅう呼び出さない</li> <li>・卒園式などの際は、下の子供が家庭は困っている所が多いです。ここのベビーシッターなども。</li> <li>・希望者のみ、有料で保育時間内に習い事（子供が複数いる家庭では、習い事送迎に親が大変な思いをしていることもあります。たとえば、赤ちゃんを連れての上の子の送迎は大変です）</li> <li>・指定制服、上履きの撤廃→指定品以外の市販品の方が安価なものがたくさんあります</li> </ul>   | <p>今後も、お子さんを安心して預けていただけるよう、また、変化する保育ニーズに柔軟に対応できるよう、頂いたご意見も参考にしながらより良い園運営に努めてまいります。</p>   |
|     | 339 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化。区の予算も有ると思うのですが今後も円安傾向は続くを見て外国席の方が日本で働く事が増える可能性も無きにしも非ず。又次世代に繋がる為に非常勤講師（多国語が出来る）先生を検討してはいかがか？</li> <li>・クラスに一台タブレットを置いて頂き小学校に行っても困らないアピールを区幼としてするか！IT化の基礎を作る。先生方も非常に頑張っているなか区立幼稚園のメリットとしての特色を考えて見る事もあった方が良くと思います。台東区の幼稚園はこんな特色もあるから台東区に住みたいとなれば税収も増えるかと？</li> </ul> <p>見守り保育、障害サポートにしてもアピールがもう少し必要ではないか（支援員さんで出来ない部分は介護NPO法人に依頼）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂運営も含め地域に力を借りる</li> </ul> <p>区議会議員（派閥無し）での意見も我々は知りたいです。</p> |  |
|     | 340 | <p>7年前に、子どもが、3年保育で区立幼稚園でお世話になりました。広い校庭で走ったり、自転車に乗ったり、思いきり体を動かして遊ぶことが、1番良かったです。今は改善されていると思いますが、3歳児の慣らし保育が9月まであったり、PTAの仕事の負担、土曜日の行事後の月曜日の代休など、保護者が働ける環境になかった点は残念でした。園庭のない保育所が区内に沢山あると思います。安全に伸び伸び遊べるように校庭を予約制など開放してもらえると助かります。</p>   | <p>頂いたご意見については、各園と共有し、安心して子供を預けられるよう、今後のより良い園運営につなげてまいります。</p> <p>また、学校校庭については、現在の利用状況を踏まえると、園児に向けて定期的な開放日を設けることは困難ですが、実現可能性について、学校や園と協議してまいります。</p> |

| 分類  | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----|-----|---|--|
|     | 341 | <p>連絡帳もなく、お迎え時にも何も言われないので、なにをしているのか分からない日が多い。昼食の様子や昼寝をどのくらいしたかの連絡すら無いので心配になり、転園したくなった時もあった。子に関しての報連相が少ない印象、子ども本人に自分で説明する能力がまだないので積極的に園での様子を教えてほしい。何時間昼寝をしたか、食事は食べられたか等、尋ねるとその時いなかったから分からないと平気で答える方がいます。</p> <p>午前・午後などで人が入れ替わるのは理解しますが連絡事項引継ぎができる体制が必要かと思えます。幼稚園の預り保育の質の悪さを感じました。食事と睡眠に関してだけでも把握してほしいです。</p>  | <p>安心してお子さんを預けられるよう、頂いたご意見は各園と共有し、預かり保育の質の向上に努めてまいります。</p> |
| 園運営 | 342 | <p>幼稚園が保育園と比べ、特に何が良いのか入園した今も実感があまりありません。まだ入園して間もないので遠足しか体験していませんが、バス遠足をイメージしていたのに言う事を聞かない3歳児を連れ、親は1人態勢で遅刻しないよう動物園に現地集合、その時点で疲れしました。お弁当と一緒に食べる時間もなく約1時間で解散は何となく寂しかったです。他の保護者の方々やお友達と親睦を深められるような遠足ではなかったような気がしました。集合して解散まで1時間程度でバスを使わないなら年少クラスは隅田川公園やミズマチ公園で簡単なオリエンテーションをして一緒にお弁当を食べる等でも十分良かったかなと思えました。他の幼稚園のようにバスで遠方に行けたら最高だと思います。幼稚園は子のために、保育園は親のため、ここは子どもを預かる場所ではないと仰っていましたが具体的にその言葉の本質が分かりません。保育園を悪く思うのは自由ですが、子ども達思いの立派な保育園の先生方を見てきたのでそういう表現をする人を見て悲しかったです。どちらも子どもの為に存在する場所だと認識していたので幼稚園に壁を感じてしまいました。</p> | <p>頂いたご意見は、各園と共有し、今後の園運営に活かしてまいります。</p>                    |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|----|-----|---|---|
| 全般 | 343 | 園児一人ひとりを大切にしてくれている印象があります。現状のままで大丈夫です。  | 園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。<br>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。 |
|    | 344 | 人数が集まらなければ閉園方向との事ですがまだ閉園方向を公表するのはどうかと思います。閉園に向かうんだと勘違いして尚更人が集まりにくくなります。結局は我々の意見などは全く参考にされないように感じます。子供たちが減っているので苦肉の策かと思いますがあまりにもやり方が下手すぎです。子供に優しい区だと思っていましたがそうは思えませんでした。<br>教育委員会も定年制を導入し子育て世代の人員に刷新を希望します。  |   |
|    | 345 | 区立幼稚園は未就学児の受け入れ先として欠かせない場所です。一時的な人数減少を理由に廃園の方向性を示唆する文言が含まれている事に驚きを持ちます。中間まとめにある様な、昨今の時代に合わせた長時間預かりや病児、障害児対応、外国籍児童対応などきめ細かな対応も採算ベース外で出来る可能性があるのが公立の役割だと思います。小学校統廃合により、元々3校あった地域を2校に減らし、1校になった蔵前小学校が多額の費用をかけて新校舎にしたものの児童増加により既に教室不足になっている現状は、見通しの甘さを証明しています。どうか同じ轍をふまないよう、慎重な検討を望みます。 |   |
|    | 346 | 区立幼稚園は、保育園や私立幼稚園などにはない地元住民にとっての拠り所であり、園児の人数だけで閉園するかどうかの存続を決めてしまうのはいかがなものかと考える。併設された区立小学校と連携を密にすることで、子供達の成長を地域・町会とともに見守る体制ができている。PTAも然り、人数の多寡によって園児の居場所をなくしてしまうことは、取り返しがつくものではないと思う。小学校に併設された園であれば、なくす必要はない。   |   |
|    | 347 | 杓子定規なやり方での廃園に反対致します。<br>地域の声をもっと丁寧に確認して、方針を決定していただきたいです。  |   |



| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----|-----|--|--|
| 全般 | 348 | <p>閉園については、もう 2～3 年程ご検討いただけたら幸いです。</p> <p>私自身も入園後は預かり保育をしばらく様子見していました。その間に周りも利用する人が増えていき、新入園児の数も年々増えました。預かり保育の利用を始めるには準備や家庭での話し合い等、時間がかかります。また、利用したい人に情報が届くのも意外と時間がかかるようです。(預かり保育を利用する目的の転園をよく聞きます。)</p> <p>区立幼稚園は厳選された質のいい先生方と支援員さん達で、いい意味ででこぼこな幼児を、それぞれの形で楽しく成長していける大切な場所だと思います。区立幼稚園の魅力を日々感じているからこそ、次世代のお母さん方にも選択肢を減らさず、「働きながらも幼稚園教育」を浸透させ、出来る限り区立幼稚園を存続させてほしいです。</p> | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育(定期利用)の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|    | 349 | <p>運営の効率、人手不足等あると思いますが園児の数が少なくても幼稚園は出来るだけ減らさず区内子どもの成長の場として残して欲しい。</p>  |  |
|    | 350 | <p>利用ニーズの変化に対応した長時間保育の受け皿になるべき。外国人対応も必要だとは思いますが、第一義的には日本の少子化問題解決に繋がる対応が優先される事を希望する。</p> <p>また、例えば根岸幼稚園は根岸小学校と隣接しているが、この様な特色を生かせないものか。根岸幼稚園に通っていると、根岸小学校に入学した際に小学校生活に早く馴染める等のメリットを感じる事が出来ても良いのではないだろうか。決してそうでない人が不利になる事を望む訳ではないが、メリットはあっても良いと思う。</p>  |  |
|    | 351 | <p>無償化により幼稚園は非常に厳しい立場になっております。待機児童がいなくなり、時代のニーズに応えられる預かり保育が確立した今、区立幼稚園の認知度をあげる取り組みを見直していただき、未来を担う子供たちが大きく成長するこの幼児期に幼稚園での質の高い幼児教育という機会を失うことがないよう慎重にご検討いただきたいです。</p>   |  |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----|-----|--|--|
| 全般 | 352 | <p>区立千束幼稚園でこども 2 人お世話になった母です。区立千束幼稚園はこのあたりで一番広くて明るい環境の良い幼稚園だと思います。先生も素敵な方ばかりです。こども 2 人は千束幼稚園で 3 年間のびのび過ごし、沢山遊んで沢山学んで成長して就学する事が出来ました。私は千束幼稚園に感謝しかありません。区立幼稚園は変わるべきだとも思いません！変わるべきは今の日本ですね。少子高齢化の中、若い世代はこどもを持つことを諦める。その中でも希望を持ってこどもを持った家庭にも日本は厳しすぎます。働いても働いても税金引かれ、社会保険料引かれ、ひと月何十万引かれて無くなります。これでは家賃も払えず母親が働くしか無いから保育園に預けるしか無いですね。誰も狭くて暗い保育園に好き好んで預けてないと思いますよ。昔のように金銭的余裕があり専業主婦の家庭なら幼稚園に行けるし行かせますよ。専業主婦なら PTA 活動も問題なくこなせますし。台東区も高齢者の銭湯代助成する余裕あるなら、区立幼稚園長時間にしてその長時間は民間に委託してその費用負担したらどうですか。今の時代風呂無い家なんてないし、毎日銭湯行く高齢者贅沢で理解出来ません。銭湯通いの高齢者と未来あるこどもがいる家庭どちらが大切が良く考えみてください。台東区の議員さん。何卒宜しくお願い致します。</p> | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|    | 353 | <p>小学校と同じ施設にあり、入学を見据えて子供達が慣れ親しんだ環境からスムーズに進学できるという点から区立幼稚園の存在は大事だと思います。また、お世話になった上級生が小学校に上がっても近くにいる、触れ合える機会があるというのは、在園の子達にとってもとても心強く、小学校生活を身近に感じられるいい点だと思います。小学校に上がった子達にとっても、大好きな幼稚園、先生がすぐ側にいていつでも顔を出せる、時々校舎内で会って挨拶を交わせるというのは大きな心の支えになっていると思います。</p>  |  |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----|-----|--|--|
| 全般 | 354 | <p>「預かり保育・長期休み期間の保育の充実」と、「3歳児の進路の不安要素の解消」「時間数・内容の面で積極的に選びたくなる幼稚園」をお願いしたいです。(また、新堀通り・菊屋橋交差点周辺の「幼保園の少ないエリア」に施設が増えたらありがたいです)</p> <p>「進路の不安要素」について、以下は我が家の状況ですが、3歳児クラスへの進級について、認証保育園など2歳児クラスまでしかない保育機関に子を預ける父母には共通点が多い話と考え書かせて頂きます。</p> <p>幼稚園の教育を子に受けさせたいと思っても、親の状況を考えれば、結局は保育園の長時間保育が第一希望になる。しかし、認可保育園は10月申込で結果は2月。落ちてしまったらどうしようもない。一方で、幼稚園も10月下旬には申込決断をせねばならず、本来は保育園に入りたいという志望度にマッチしていなくても、保育園を落ちる可能性を考えると渋々申し込むしかない。また、上記のように、幼稚園入園の決断をしても、預かり保育の抽選で落ちてしまえば職場との交渉などが必要になる。つまり、長期的に不安や後悔、リスクがある状態が継続してしまいます。</p> <p>今回は幼稚園の在り方の意見ですので、保育園の当落についてはさておいて、一昔前では「幼稚園では預かり時間が足りない子供への受け皿＝保育園」、幼稚園がベースだと思いましたが、現在は保育園が基準「保育園の預かり時間を満たしつつ、教育機関としてのプラスアルファのある幼稚園」を求めています。当落リスクで保育園を選べない消去法の結果の幼稚園ではなく、積極的に選びたくなるような幼稚園があったらありがたいなと思います。</p> | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 | 355 | <p>区立幼稚園は未就園児の会もあります。入園前に子供だけでなく親もいろんな人と知り合うきっかけの場であり、それぞれの悩みを話したり、たわいも無い話をしたり先生や園を知るきっかけとなる場です。コロナ禍で行けなかった日々からようやく元通り生活ができるようになり未就園児の親たちが集まる場所も復活するようになりました。そういった場所がある事は子を持つ親にとってありがたい場所です。区立幼稚園がどういう場所か知るきっかけにもなります。閉園してしまうと希望する園に行けなく幼稚園探しを一から始める、1年待っての入園も有り得ます。小さくともこの園に行きたいと心待ちにする子もいます。そういう期待する子供たちの声も受け止めていただきたいと思います。</p> <p>近年、地価高騰し台東区での子育てや生活維持が厳しい。子供が増える対策、子育てに優しい台東区なども同時に考えて頂きたいと思います。保育園よりも幼稚園に通わせたい親もいると思います。幼稚園は短時間保育のため諦める方も過去いたのではないのでしょうか。預かり保育の存在は本当にありがたいと思っておりますので、この先区立幼稚園が存続できる対策をもう少し考えていただきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。</p> | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> |
|    | 356 | <p>定員割れしている幼稚園は全部子ども園にして下さい。認可ではなく公立で一歳から預かってくれる場所を増やして下さい。</p> <p>学童的な場所として使うことは出来ないでしょうか。小学校入学した一年生を預かり保育？学童？的に放課後を一時預かりをしてあげるようにすれば、在学園児と交流も増えるし卒業したての新一年生は戻れて安心につながるかと。</p>   | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>適切に対応策を講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p>  |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 | 357 | <p>中間報告によると、保育所が増えたことで待機児もおらず、私立幼稚園も人数が減少し、厳しい状態が続いているとのこと。その状況の中で、区立幼稚園の人数を増やすために、色々な政策を行うことで、どこから子どもたちを流れさせようとしているのかも、私には読み取れませんでした。</p> <p>保育所から区立幼稚園の方に流れさせたいのであれば、こちらも、長期的に考えて、逆に、保育所の数を減らしていくなどの方法も必要なのではないでしょうか？</p> <p>区立幼稚園も、数が少ない地域と多い地域があり、少ない地域の区立幼稚園が閉園してしまったら、わざわざ別の遠い区立幼稚園に行こう、とはならないと思います。学区的にも併設している小学校に行く予定だから、その幼稚園に入れたい保護者がほとんどだと思います。もし閉園となれば、近くの私立幼稚園に行くか、保育園に子どもを預けて仕事を始めることも考えるかもしれません。</p> <p>そうなれば本末転倒で、区立幼稚園自体の存続が、できなくなってしまうと考えます。</p> <p>小学校と併設していて、いい環境でしかない区立幼稚園が、全て閉園になってしまったら、本当にもったいないと思います。なんとしても、全ての園の存続を願っております。</p> | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>適切に対応策を講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>また、区全体の教育・保育に関する量の見込みについては、今年度策定予定の「子ども・子育て支援事業計画」の中で検討してまいります。</p> |
|    | 358 | <p>在籍数については、少人数よりはたくさんの友達と関わり合って生活することでの心の成長を希望し園を選択しました。しかしながら 3歳で入園する子ども達を連れての入園当初の登園は、親子とも不安を抱えてのものになるので自宅から近くの園に通えることの重要性はあるかと考えます。また、小学校との併設園であることで幼小での連携を取りやすいという利点もあるかと思えます。</p>   | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p>  |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----|-----|--|--|
| 全般 | 359 | <p>公立幼稚園が2年保育しかない地域が多い中、3年保育が有るのは良いことです。保育料が無償化されたとは言え、私立は制服代、バス代などの費用がかかります。また、私立幼稚園は宗教行事があり、お遊戯会などにも高い完成度を求めがちで、区立の方がのびのびとしている印象があります。夫の転勤や不妊治療、妊娠中の体調不良で仕事を辞める人もいるので、区立幼稚園の需要は有ると思います。</p> <p>「区立幼稚園の現況に対する課題」によると、園児数が減少しているにもかかわらず外国籍の園児や配慮を要する園児が一定程度在園し、公の施設として、多様なニーズに対応する受け入れ体制の確保が必要である、とあります。これも勿論必要とは思いますが、在園児数の少なさから、いわゆる普通の子は、私立園に行かないと一般的な友達関係が作れないのか、とも読み取れます。</p> <p>預かり保育と弁当給食の実施で園児数が増えれば良いのですが、園児数の集まらない園は統廃合し、希望者の多い園は1学年2クラスにして定員を増やすなどして、ある程度の人数のもとに集団教育が受けられる状態で区立幼稚園が存続して欲しいです。そもそも公立なので、定員という考え方をもっと柔軟に、小学校のように入園希望者の人数に応じてクラス数を変えても良いのではないのでしょうか。</p> | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> <p>また、引き続き、園児数や入園希望者の動向を注視しながら、出来る限り入園を希望される園に入ることができるよう園運営に努めてまいります。</p> |
|    | 360 | <p>全園週5預かり保育を開始しても園児が増えるとは思えません。1番いいのは保育園に行っている家庭が区立幼稚園を選んでくれることですが、現状の政策では不可能かと思えます。</p> <p>少子化で出生率も低く、子どもの数が増えることはなさそうなので、子ども全体の数が減っているため、閉園する園が出て仕方がないと思います。統合をして、職員を充実させて、23人程度のクラスがどの園でも作れるといいのではないかと思います。子どもが多かった時代に合わせず、少子化なら今いる子ども達を大切にするような政策をして欲しいです。</p>  | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>  |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|----|-----|---|---|
|    | 361 | <p>まとめにあったように、今までの区立幼稚園のニーズが減少していることは明らかなので、新しい形へのシフトは必須だと思われる。</p> <p>要因としては、所得が増えずに物価高が進む現代での共稼ぎが必須となる中での仕方ない要因。</p> <p>こども園のような形を取り入れていくことは、普通の流れだと思われるので、新たなニーズとして駅に近くて通勤しやすい立地を活かして統廃合を検討してはいかがかと思った。大規模な幼稚園がないかと思うが、0-5歳児を受け入れられ、多くの教職員が配置できるような園が出来たら、区民のニーズにこたえられるのではないのでしょうか。</p> <p>また、現在の働き方改革が進む中なので、現場の教員への負担増にならないような配慮も多に入れていただきたいです。新しい形へは、区立幼稚園で培ったノウハウが存分に生かされると、次へのシフトが楽しみだと思いました。</p> | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>       |
| 全般 | 362 | <p>預かり保育の拡大や弁当給食の取り組みは保護者にとってありがたいが、他区のような区立幼稚園の廃止、統合について念頭に入れて話し合いを行なった方がいいと思う。</p> <p>私立幼稚園は園バスがあったり、英会話や体操などプログラムが充実していたり、私立保育園でも様々な取り組みが行われていて、サービスの差別化ができない。また幼保無償化もあり、公立でなければという理由がない。</p> <p>多様なニーズに対する取り組みは、民間園への補助で達成できないか議論してほしいです。</p>   | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>また、私立幼稚園と連携を図りながら、区全体の就学前教育・保育の質の向上に取り組んでまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |
|    | 363 | <p>募集人数が基準より満たしてない場合閉園を検討されてしまうことについて。</p> <p>預かり保育のスタートが全ての園、同時期でもないのに他にも理由はあるかと思いますがそれで人数が集まらないからといって閉園を検討されてしまうのはとても悲しいです。私も兄弟も娘も大正幼稚園だったので閉園を考えられてしまうときいてだったら近隣の幼稚園と合併をするなどして名前は残していただきたい。</p>  | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>       |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----|-----|--|--|
| 全般 | 364 | 従来通りの保育、最近の延長保育、支持いたします。中間報告の問題は難しい所と思いますが、子どもの教育環境を守り進化させることこそ少子化対策になると思います。  | 園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。<br>適切に対応策を講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。 |
|    | 365 | 区立幼稚園が今後とも台東区の園児たちのために存続することを願います。各園が、園児の入園のためにご尽力なさっています。保護者のニーズに応えられることと考えております。   |  |
|    | 366 | この地域は、マンション建設なども増え、住民も増えていることから、幼稚園は必要だと思います。利用者の低迷は、共働きの多く、長時間の預かりを求めるニーズとの乖離です。現実には、近くのこども園や保育園には入れず、遠くまで預けに行っていました。朝から夜まであずかってくれるような方式への延長により、伝統ある幼稚園を閉園しないよう要望します。 |  |
|    | 367 | 区立幼稚園を希望している方もいるはずで<br>す。<br>人数が少なくなってしまったからといって、無くしてしまうのではなく、少ない人数でも区立幼稚園は続けていっても良いと思います。<br>今の社会に合わせて、預かる時間をのばすなど改善していけば良いと思います。                                     |  |
|    | 368 | 入園前の未就園児の集まる場がなくなってしまうのは、子育ての母親にとっては困る原因の1つではないでしょうか。<br>併設小学校と園児の交流はお互いにとって必要に思います。小学生にとっては、小さい子の目線になって行動したり、想いを考えたりする事が出来ると思います。園児にとっては、これから小学校へ上がる為の大事な架け橋となると思います。 |  |
|    | 369 | 私立幼稚園と違って費用の面や、保護者との関わりも多く、意見交換やPTA、地域の方々との関わりも多くありのびのびと園生活を送れる区立幼稚園は大事です！   |  |



| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
|    | 370 | <p>園の統廃合と廃園施設の再活用について<br/>           特に園児数減少が著しい園は、比較的公立園の数が多いうエリアのように見受けられることから、ある程度の統廃合もやむを得ないのではないかと感じます。あるいは、子ども園への移行は選択肢としてないものでしょうか。台東区にある数少ない子ども園は、ご存知の通り非常に人気があります。仮に廃園となる園が出てきた場合にも、完全に閉鎖してしまうのではなく、子どもの遊び場として活用してはと思います。特に午後の時間帯の公園は、どこも子供で混雑しており、少子化という割にバランスが悪く感じるポイントであり、また温暖化が進む昨今、夏場は室内での遊び場が不足しているようにも感じます。このような状況を緩和するための一手段として、廃園を活用できるのではと考える次第です。</p> | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。<br/>           頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |
| 全般 | 371 | <p>保護者が区立幼稚園に充実を期待することに対して、時間の拡充や給食、時間外の習い事の実施とあるが、そのニーズを満たすだけでよいのか。もしそれであれば、保育園にいったほうが乳児期より保育が行われるし、よいのではと判断されかねない。たとえ少人数であっても、幼児教育の充実を図り、保育園とはまた違ったメリットのある「子どもの居場所」を整えていくこと、そしてその事実を子育て家庭にしっかりと周知することを期待する。子育て家庭にとっては、自分の子どもに合った、家庭の方針に合った場を探しているのである。</p>  | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。<br/>           頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |
|    | 372 | <p>少子化や各家庭の事情により園児数が減少しているのは事実ですが、閉園を促す様な施策ではなく、園を存続させる取り組みを強化していただきたいです。各園の定員人数を減らし分散化を図ったり入園できる園を区域ごとで決めたり、他にもできることを模索できるのではないのでしょうか。</p>   | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。<br/>           頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----|-----|--|--|
|    | 373 | <p>「今後の対応」の 6 項目は、どれも納得できる内容だと感じました。特に (1) (3) (4) の内容は公立幼稚園としての命綱ともいえる大事な内容だと思います。気になったのは (2) の学級編制ができない場合のことです。今後定員数に足りず閉園となった場合、早ければここ数年で台東区内の公立幼稚園が全廃ということも考えているのでしょうか。これからも大幅な入園者の増加は見込まれないと思いますが、最終的に各地区（単純に浅草地区、下谷地区・・・とはいえないかもしれませんが）に 1 園は残していないと、公教育としての幼児教育が失われる懸念があります。今後の幼児数の推移を考えれば、園数の見直しは必須だと思われませんが、最終的には〇園（園数）は公教育として残す、という方向を示すことを検討していただきたいと思います。</p>  | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |
| 全般 | 374 | <p>区内在勤で子供を以前区立幼稚園に通わせていた立場です。私立幼稚園も利用したことがあります。</p> <p>区立幼稚園のメリットは</p> <p>①教諭の扱いが私立よりも良く、心に余裕がありベテランの先生や教育方針の良い先生に出会う確率が高いこと②小学校との連携があること③行事や用品が華美ではなく過度に教育費がかからないこと④持病や特性のある子も通えることだと思います。</p> <p>反対にデメリットは私立幼稚園や保育園に比べて保育時間がとにかく短いことや平日に保護者が出向く行事があることですが、こちらは延長保育の枠と時間の増加、保護者のボランティアや PTA 活動の見直しで解決できると思います。その為の体制整備の為のある程度の区立幼稚園の統廃合が必要ならばそれは仕方がないと思います。</p> <p>共働き家庭が増える中で、共働き家庭にも対応した園にするか、数少ない専業主婦家庭を幼稚園同士で奪い合う形にするか、どちらかの戦略を立てて実行していかなければいけない段階だと思います</p> | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 | 375 | 近隣の園は統合して、もっと充実した保育ができるのではないのでしょうか。   | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>   |
|    | 376 | <p>私立幼稚園はそれぞれ個性があり、特に台東区は仏教系の園が多いゆえにしつけ重視の園が多い。また下町であることから私立園は園庭がこじんまりしているケースも多い。思い切り外遊びをしたり失敗を恐れずに様々なことにチャレンジできるおおらかな幼稚園も選択肢として必要である。公立幼稚園は園舎も定員を考えると広々しており、園児一人一人が使えるスペースの広さに驚かされる。公立幼稚園の強みをしっかり理解し、大切にしていってほしい。私は台東区の幼児教育の良さが決め手で地元台東区に戻ることを決めた。これからも公立幼稚園に期待している。</p> | <p>今回まとめた対応策を適切に講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>また、私立幼稚園と連携を図りながら、区全体の就学前教育・保育の質の向上に取り組んでまいります。</p>                                |
|    | 377 | 公立幼稚園・私立幼稚園が軒並み園児数を減らす中、ことぶきこども園教育枠は人気である。ことぶきこども園教育枠を選択した保護者を選択理由をアンケートすることで、幼稚園に対する潜在ニーズがつかめるのではないかと。   | こども園の短時間保育内定者に向けて、選択理由などのアンケートを令和5年度より実施していますので、そうしたアンケートも活用しながら、ニーズの分析に努めてまいります。  |
|    | 378 | 日本の資源は「人」。国の根幹である人口減少をなんとかしてもくいとめる事が最重要課題。その為には若い御夫婦が安心して預けられる園児教育が重要である。今日お聞きした①週5回給食②2 外国籍園児受入等を着実に推進して欲しい。   | <p>弁当給食については、保護者ニーズが高いことが確認されたので、令和7年度より週5回の弁当給食を実施してまいります。</p> <p>また、様々な背景を持つ子供たちを受け入れられるよう、教員や支援員の対応力向上や適正配置など受入れ体制の充実を図ってまいります。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----|-----|--|--|
| 全般 | 379 | <p>区立幼稚園の先生方が、幼児の健やかな心身の発達のために、丁寧に温かい保育を実施してくださっていることに対し、感謝しております。しかし、それがなかなか伝わっていないことにもどかしさを感じます。現代の子育てのニーズ（給食、預かり保育の充実等）に応じていくことも存続のために不可欠かと思いますが、それと同時に、広く一般に分かりやすく、区立幼稚園の先生方がされている保育の素晴らしさや大切さがもっと伝わればいいのにと感じます。時代の変化により、アンケート結果を見ても、いかに保護者の負担なく園生活を送れるかということに重きを置かれている方が多いように感じます。身の周りでもそれを感じます。子育て環境も考え方も様々であるため、一概に何がよいとは言えません。それに、育児負担が軽減することは、仕事がある方、実家が遠いなど頼れる場所の少ない保護者にとっては有難いことであることは事実です。しかし、区立幼稚園は、幼児の心身の健やかな発達のためという軸のもと、幼児主体に、様々なこと（給食や預かりの実施も含め）について検討しながら取り組まれてきたのだと思います。その考え方こそが、子どもにとって大切なことであり、広く知られていくことは全保護者にとっても大切なことなのではないかと思えます。次年度から新たなことを実施するとしても、幼児の心身の健やかな発達のためという軸は揺らぐにいてほしいです。そしてそれがしっかり伝わっていくことで、安心感をもって区立幼稚園への入園を選択される方が増えるのではないのでしょうか。</p> <p>難しい時代の変化の中ですが、長く地域に愛されてきた区立幼稚園がなくなることなく、良さが広まり、園児が集まり、活気づいていくことを願います。</p> | <p>区立幼稚園の基本情報や特色について広く発信していくとともに、区立幼稚園の良さをしっかりと守りながら、今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----|-----|--|--|
| 全般 | 380 | <p>今、少子化と言われていますが、子どもを安心して産める社会環境なのか？の議論が決定的に少ないと思います。台東区民に限っても、住宅も物価も保育条件も学童保育も、（未婚、既婚、シングル、外国人、障がい児者、様々な多様な人々の区別なく）日々暮らしていただくだけで精一杯の人がどれほどいるのかを、幼稚園対策に限らずに全般的に丁寧に調べ上げなければ、すべての対策の隙間から抜け落ちていく人が後を絶たないのではないのでしょうか？</p> <p>我が家の孫たちも本来なら保育園生活をする予定でしたが、育休明けても希望保育園に入園できず、（母親は）泣く泣く退職・・・し、幼稚園生活が始まったのです。「少子化」でも、安心して子どもを預けられる保育施設が住んでいる地域にあれば、子どもは増えていくのです。台東区は企業の保育園や認可外が多いことが、絶対的に“安心”にはつながりません。</p> <p>地域にあることでは、幼稚園の立地は好条件です。働かなければ暮らしていけない子育て世代を応援する気があるのなら、今ある公立幼稚園を最大限に活用して、0歳からの長時間保育を、きちんと保育資格のある正規職員で実施すべきです。『あずかり』なんていう位置付けは間違っています。保育園も幼稚園も“子どもを育てる”施設です。保育条件も労働条件もしっかり保障していけば、働き続けられ、その結果保育経験のある、優れた保育士を多数育てることが出来ます。子育て不安でいっぱいのお母さんたちにとっては、そういう質の高いベテランの保育士が「頼りがいのある」「地域の宝物」になっていくのです。</p> <p>住みにくい台東区では、人口減少は止まらなくなると思います。学費の軽減も子育て政策には緊急の実現課題です。ことわっておきますが、これは幼保一元化や「認定こども園」をやれということでは絶対にありません。</p> <p>『地域にある』ということが大前提なのです。今ある公立幼稚園を取り潰すなんてことがあってはなりません。今ある施設を生かして</p> | <p>今後の対応の中で掲げた区立幼稚園に求められる役割をしっかりと果たしていけるよう、今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 |     | <p>ださい。老朽化しているのなら、耐震補強すればいいのです。</p> <p>台東区民であることを誇りに思えるような、子どもたちを行政や議会も含めて“みんな”育てているんだ！と、子どもたち自身が実感できるような方針づくりを期待しています。</p>   |  |
|    | 381 | <p>現在、金竜幼稚園に通っている娘がいます。</p> <p>今後の対応については、概ね異論ありません。総活躍社会を目指すに当たっては、保育園を拡充していく等の流れは今後も続くと思うからです。</p> <p>一方、保護者目線としては姉妹で幼稚園が異なる可能性に不安を感じています。対応変更による転園は子供に皺寄せさせるだけであり、これは避けていただきたいです。募集前から入園予定を把握し、園の統合が可能か、お迎え時間をずらすことが可能かなどの検討をスピード間を持って行うことにより、子供および保護者への影響をできるだけ避けていただきたい。</p> | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>また、頂いたご意見も参考に、子供を安心して預けられるよう、必要に応じて適宜見直しを図ってまいります。</p> |
|    | 382 | <p>行政と区民(保護者)が結束して園児減少という困難を乗り越えるために尽力してほしいし、私自身も区民として、保護者としてその取り組みに参画していきたい。未来を担う子供たちの第一歩となる幼稚園が、この台東区において今後も賑やかに持続していくことを期待している。</p>  | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p>   |
|    | 383 | <p>幼稚園の教育方針や対応など満足していません。</p>   | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p>   |
|    | 384 | <p>僕も区立幼稚園に通ってました。子供ができたら区立幼稚園に通わせたいと思っているので廃園にならないように時代に合った形で存続してください。</p>   | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p>   |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|----|-----|--|---|
| 全般 | 385 | <p>区立幼稚園に関して、区の取り組みとして時代のニーズに対応して頂けていることを区民の一人として感謝申し上げます。区立幼稚園の役割として、質の高い幼児教育の発信、幼児教育と小学校教育との円滑な接続、地域における子育ての支援、多様なニーズをもつ子供たちの受け入れなど、担う役割は大きいと考えます。しかし、課題も確かにあります。集団生活としての適切な人数の確保、満3歳児の受け入れも考えていくことが必要かもしれません。台東区は公私立幼稚園のバランスも良く、研修等も一緒にやってきています。また保育園との研修も充実していると思います。実績があります。台東区としての成果として、自慢できるものだと考えます。乳児保育、幼児教育が人格形成の根幹です。ここで育った子供たちが、将来の台東区の地域を、日本を支える人材になっていきます。どうぞ、よろしく願いいたします。</p> | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>また、私立幼稚園と連携を図りながら、区全体の就学前教育・保育の質の向上に取り組んでまいります。</p>                   |
|    | 386 | <p>区立幼稚園や私立幼稚園の園児数が減少している現状で、保育園自体の数が純増で勢いを増しているのはどうにかならないのでしょうか。</p> <p>まずはそこがどうにかならないと、太刀打ちできるものもできなくなると思います。</p> <p>近隣の公立園との交流を増やしたり、地域の相談の場としても使っていただいたり、区立幼稚園の良さをみんなで広めていければと思います。</p> <p>資料にも書いていただいたような区立幼稚園の良さを今後も残せるよう、どうぞ、よろしく願いいたします。</p>   | <p>今回まとめた対応策を適切に講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>また、区全体の教育・保育に関する量の見込みについては、今年度策定予定の「子ども・子育て支援事業計画」の中で検討してまいります。</p> |
|    | 387 | <p>区立幼稚園は残して欲しい。私立も区立も教育機関である。</p>   | <p>今回まとめた対応策を適切に講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>また、私立幼稚園と連携を図りながら、区全体の就学前教育・保育の質の向上に取り組んでまいります。</p>                 |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|----|-----|---|---|
| 全般 | 388 | <p>地域との関係が大切である。私立幼稚園のサービス内容(時間延長等)に比べられて、公立幼稚園への希望者が少なくなるという見解もあるが、幼稚園教育の充実さから見れば、公立幼稚園の信用は大きいと思う。小学校に臨接していることで、地域との関係が密であるという利点がある。公立幼稚園が地域との交りを広げることで幼稚園への理解も深まり、入園希望の保護者は増加すると思われる。(運動会、音楽会、学芸会、作品展等の案内を地域に広く知らせる等)育英幼稚園 50 周年記念式典に参列してくれた地域の方々はおどろく程多数で、浅草橋地区の大方の代表者が集ったと思われる。この地域との密接な関係保持の努力が 23 名の入園者として結実したと言える。公立幼稚園は小学校と手を組んで、地域の交りの中心になるという意欲が大切である。地域との関係を広げることで公立幼稚園の存在をアピールすることができる。</p> | <p>今回まとめた対応策を適切に講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p>  |
|    | 389 | <p>統廃合については、十分な議論を重ねた上で慎重に判断してほしい。人数が少ないからこそ、一人ひとりをしっかり見ていただけて、安心感がある。先生方ともコミュニケーションが取りやすく、相談もしやすい環境であるため。</p>  | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。<br/>適切に対応策を講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p>                          |
|    | 390 | <p>もう成人した子 3 人がお世話になりました。時代が変わり、働く母が多くなった現在、保育園のニーズが高まっているのを通感しています。ですが、個性のある(例えば宗教色があるなどの)私立幼稚園とは異なる区立幼稚園の良さがあると思って選んだ私としては、基本、全ての区立幼稚園を子ども園にするのが良いのでは?と思います。保育園には少ない教育要素のある区立幼稚園を是非残して下さい。</p>  | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。<br/>適切に対応策を講じながら、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。<br/>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |



| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 | 391 | <p>区立幼稚園は、小学校と同じ敷地にあることが多く、幼稚園の子どもたちは入園したときから、小学校を身近に感じることができます。小学生への憧れも自然に育まれ、それは小学校へのスムーズな移行にも繋がることとなります。保護者として、区立幼稚園に入れてよかったと心から思う点です。小学生となり、なんとなく心細くなったときもすぐ横に懐かしい先生がいるということが子どもたちの心の支えになっています。また、母親の方も、子育てに不安を持っていたとき、孤独を感じたとき、幼稚園の未就園の会などで園長先生に温かく迎え入れてもらったことや同じ子育ての悩みを持つ母同士のつながりを持つことができる場として、区立幼稚園はありがたい場所でした。その後の小学校生活においても、幼稚園時代から繋がりのある保護者のネットワークは大変心強く、ありがたい存在です。</p> <p>つまり、区立幼稚園は単なる幼児教育を受けるだけの場所ではなく、子どもと母親両方へのサポート的な役割も持っていると考えます。</p> <p>無くすのは簡単です。その前に区立幼稚園の良いところをたくさんの人に知ってもらい、その上で選択してもらえよう台東区としても力を入れて周知活動をしてほしいです。100年以上の歴史のある区立幼稚園もあります、台東区として大事にすべきと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> | <p>区立幼稚園の基本情報や特色について広く発信していくとともに、区立幼稚園の良さをしっかりと守りながら、今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p>   |
|    | 392 | <p>・「近い」ということは、子供を連れていく場所を決めるにあたって重要なことだと思うので、もし閉園基準を満たしてしまった場合にもその区域に幼稚園がゼロになってしまうようなことにはしないで欲しい。</p>  | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>なお、万が一閉園を検討する際には、0～5歳の就学前人口や周辺の幼稚園の分布状況等、様々なデータを基に総合的に判断いたします。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 | 393 | <p>台東区の学校は幼稚園に限らず、地域との関わりという部分が非常に大きいと思う。また、公立ということで、想定していた人数に満たなくても存続してきた部分があると思う。定数に満たないから募集停止→閉園ではなく、統廃合を考えていくことはできないのでしょうか。</p> <p>千束幼稚園の施設環境しか見たことがないのですが、陽当りのよさや、園庭、常設プール、幼稚園の遊戯室があること、校庭や屋上など併設の小学校の施設を使用できることがある魅力、また、職員室の広さなども充分確保されており、体調が悪くなっても職員室の片隅で先生に見守られつつ、横になってお迎えを待つスペースがあったり、施設環境はとても良いと思います。既存の施設を活かしてほしいです。</p> <p>私自身の子たちはピークの H28 年度や人数の減少が顕著になってきた令和 2 年度に在園児として通園していました。人数が多くても少なくても、教育を同じように受けさせていただけたいと感じています。園児数が少ないことで、多い時と比べると出来ないことや制約が出てしまうこともあることは実感しましたが、教育の質が落ちたということは感じませんでした。一定数の園児が確保されることは集団を学ぶという視点で考えると望ましいと思いますが、一方で色々な背景を持つ人たちを受け入れる受け皿ともなっているので、人数が多い=質の高い幼児教育の提供とはならないと思います。</p> <p>区立幼稚園に求められる役割を挙げられていますが、保育ニーズに柔軟に対応するには、受け入れる側の発信力（園独自ではなく全園で統一した認識のもの）や、人員の配置が必要だと思われ、格差のある世の中において区立幼稚園があるという安心感がある施策をお願いしたいです。</p> | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|----|-----|--|---|
| 全般 | 394 | <p>私は区立幼稚園に通っていましたが、今でたまに遊びに行きます。結婚して子供ができたらやはり区立幼稚園に通わせたいです。</p> <p>しかし、きっとダブルワークになってしまうと思います、そうすると保育園？でも幼稚園が良いと思うので、ダブルワークでも通園できるように区立幼稚園も対応してください。</p>  | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、多くの保護者が安心して子供を預けられるよう、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>     |
|    | 395 | <p>これから台東区の子どもの数も減少していくのならば、幼稚園にしろ、保育園にしろ、数が少なくなるのは避けられないのかもしれませんが。これからの生活様式に合っているのは保育園なのかもしれませんが、幼稚園の今まで培ってきた幼児教育は素晴らしいものだと思います。わが家の子ども達も幼稚園で本当にのびのびと楽しい3年間を過ごさせていただきました。小学校と同じ敷地にあり、広い校庭を使ったり、小学校に入学後比較的スムーズに馴染めたりするのもいいですね。</p> <p>これから入園をする子ども達のため、幼稚園か保育園か子ども園か、という枠にとらわれず、子ども達と保護者が双方充実した生活を送れるような保育・幼児教育機関・システムを強く希望いたします。よろしく申し上げます。</p> | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>引き続き、関係部署と連携しながら、区全体の就学前教育・保育の質の向上に向けて取り組んでまいります。</p> |
|    | 396 | <p>子供2人を区立幼稚園に通わせたものです<br/>その頃は抽選入園でした、社会の仕組みがかわり共稼ぎが当たり前の時代<br/>未就学は義務教育では無いけれどほぼみんなが何かしらの施設に通う時代に適した区立幼稚園になるように教育委員会は何もしてこなかったように思います、人数が減ったら廃園と言う前に魅力のある、共稼ぎでも通園出来る園作りをしてもらいたいです。</p>   | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、多くの保護者が安心して子供を預けられるよう、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>     |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|----|-----|--|---|
| 全般 | 397 | <p>区内の地域交流もあり、幼稚園だけではなく、区全体で、必要な場所だと思います。</p> <p>人数制限を変更するのではなく、預かり保育があることを認知できる場を増やしてから検討して頂けたらと思います。プレ保育などがあり、各幼稚園では、積極的な募集をして頂いていると思いますが。</p> <p>共働きの場合、延長保育が前提になってしまうので、保育園だけでなく幼稚園も預けることが出来るという選択肢が合った方が良いと思います。</p> <p>「年齢ごとに教育の狙いは異なるが、集団遊びなどの際は10人以上が望ましい」とありましたが、保育園も区内のいくつか見学しましたが、例えば人数が多くても、少なくても、他のクラスとの交流が少ないように思いました。幼稚園では、他の学年との交流も多く、同級生以外でも、年下・年上との交流も深く、子供の成長にとっても良いことだと思いますし、小学校との交流もあり、とても良い環境であると思います。人数ではなく、環境ではないかと思えます。何卒、検討の程、お願い致します。</p> | <p>子供たちの「生きる力」の基礎を培うための幼児教育を実践し、小学校へ円滑に接続していくためには、一定の園児数が確保された環境が必要であると考えます。</p> <p>また、園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について、未就園児保護者が利用する施設や健診事業等へのチラシ配布など周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |
|    | 398 | <p>少子化による乳幼児の減少は避けられない事ではありますが、2年連続で学級編制が出来ない場合の閉園検討については地域の意見を踏まえて慎重に進めていたただきたいと思えます。</p> <p>地域における子育てのニーズをしっかりと集めた上で閉園ありきではなく、幼稚園施設の多様な活用と募集の拡大に努めていただきたい。例えば近隣区から台東区に働きに来られている親の子どもへの預かり保育や園児募集、外国籍乳幼児への対応などの検討をお願いいたします。</p> <p>とくに外国籍の子どもにしっかりと対応できるように専門的な知識をもった支援員の充実を図っていただきたいと思えます。</p> <p>台東区は地域一体となって幼少連携を進めてきた実績があります。地域の支援者との連携を図りながら子どもの教育を最優先に考える施策をぜひともお願いいたします。</p>   | <p>区立幼稚園の良さや特色をしっかりと守りながら、今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>なお、現時点では、区立幼稚園の申込資格である区内在住という要件について緩和することは検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>   |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 | 399 | <p>令和 7 年度から全園預かり保育が始まるとの事で、浸透するには時間がかかるはずですが、実施年度からの入園児数を参考にするのは早すぎると思います。</p> <p>我が子は特別な配慮を必要とする児童です。1歳前後から成長に違和感があり、幼稚園に行ける日は来ないかもしれないという気持ちで過ごしてきた中、区立幼稚園は息子の入園を歓迎してくれました。</p> <p>実際に入園し、登園がスムーズにできず、手をつないで道を歩くという当たり前のことがなかなか難しかった時に、歩いて行ける距離に幼稚園がある、ということがとても重要だったと思いますし、支援員の先生がしっかりと適切な支援をしてくださったおかげで、現在集団活動にも加わることができ、楽しく毎日を過ごせていると思います。</p> <p>私たちにとって、区立幼稚園は欠かすことのできないものでした。ですから、幼稚園を減らすことはしないでほしいです。</p> <p>どうしたら幼稚園への入園を選んでもらえるのか、入園者数を増やすためにということで様々な試みをされていますが、個人的に気になるのは、入園後に引っ越し等で退園してしまうケースが多いということです。</p> <p>離れる人の話を聞くと表向きは引っ越し等の理由ですが、PTA 活動の負担によるものも少なくありませんし、実際、上の子の幼稚園を経験してみて、下の子は保育園を選んだパターンもいくつか知っています。</p> <p>私は今年度の途中で台東区を離れることにしました。年少クラスの時、家庭教育学級で聞いた講師の方のお話は発達障害児の親の私にとって、胸が苦しくなるような内容でした。小学校は幼稚園とは全く世界が違う場所である。という現実を突きつけられました。</p> <p>その頃は、息子は小児科医から知的障害と言われたこともあり、また毎晩の夜泣きが治まらず、漢方薬を飲んでいました。</p> <p>同じ話を聞いても年少児の親と年長児の親で感じ方が違うのだと思います。ただ、立場の上の方が発達障害をよく知らないということは、この先、私たち親子にとって、とても生きづらい場所であると判断し、情緒級のある近隣県へと引っ越すことにしました。</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和 9 年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>また、区立小学校の自閉症・情緒障害特別支援学級については、今後 5 年程度の間には設置することとし、現在準備を進めています。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 |     | <p>台東区には情緒級がなく、園で支援員さんにマンツーマンで見てもらっているような子は、どうしていけばいいのか、不安で仕方ありませんでした。そんな親子の不安を少しでも取り除けるような幼稚園と小学校の連携は必要ではないかと思います。</p>   |  |
|    | 400 | <p>区立幼稚園に子が在園し、週 5 で預かり保育を利用しています。</p> <p>保育園が手ぶら登園などのサービスや課外活動（習い事）を充実させていますが、本来の福祉の観点ではなくサービス業に近い状態になり、職員の負担が大きく保育の質に影響があるという危惧、幼児教育は家庭と園が両輪となって実践するという園の指針に共感し保育園から幼稚園に転園しました。</p> <p>区立幼稚園も人員募集の観点から様々な面で緩和されていることを実感し恩恵を受け有難い気持ちもあります。パブリックコメント内に「幼児教育の本質を丁寧に実践してきた」と記載があったように、本来の「幼児教育の質」に影響を与えるようなことはないようにして頂きたいというのが率直な思いです。親の負担軽減が教職員の負担にならないようにご配慮ください。</p> | <p>区立幼稚園の良さや特色をしっかりと守りながら、今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>また、現在、区教育委員会では、持続可能な教育環境の整備に向けて、台東区立学校園における働き方改革に取り組んでいます。</p> <p>引き続き、教職員が働きやすい環境づくりを推進し、教育活動の質の向上を図ってまいります。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 | 401 | <p>区立幼稚園入園希望数の減少を止めるため、最も重要な課題・対応として「区立幼稚園の魅力や教員の指導力向上」「質の高い幼児教育の提供」と資料と説明で挙げていらっしゃいました。区立幼稚園の教職員方にお世話になっている在園保護者の立場からすると不快でした。</p> <p>教職員方は十分に取り組んでくださっているにも関わらず、幼稚園側がその課題や対応により努力すれば入園希望が単純に増えると予想しているのでしょうか。区立幼稚園入園希望が減少しているのは、各家庭の就労時間などに係る生活様式に幼稚園の制度が合致していないため保育園やこども園が選ばれていることが要因だと思います。</p> <p>また預かり保育の制度実施は選択肢として大変ありがたいと思っておりますが、区立幼稚園が保育園化を進めることにより「保育園の代わりとして区立の幼稚園が選ばれる」ことについて幼稚園側としては本望なのか気になります。</p> <p>区側は区立幼稚園の現場に指導力や質の向上を強いるのではなく、教員が幼稚園教育の理想に向かって取り組むことができる十分な環境を整えてください。保育園化していく制度、様々なニーズがある保護者・園児との状況などの一方、幼稚園らしい教育や繋がりも求められており、その状況でバランスを保ちながら教員が取り組むことについて、現場での無理がないか注視してください。</p> <p>そして、各区立幼稚園が実施している取り組みを、区側が入園を検討している方に伝える努力を課題としてください。</p> | <p>今後の対応策の中に、「情報発信の強化」を新たに追加し、園児の募集案内をはじめ区立幼稚園の基本情報や特色について周知の強化に取り組み、保護者の方に必要な情報が適切に届くよう努めてまいります。</p> <p>これまでも区立幼稚園が取り組んできた質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、各園との連携をより密にしながら、適切な園運営に努めてまいります。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|----|-----|--|---|
| 全般 | 402 | <p>こどもが7名以下ですと、たくさんの子どもと一緒に遊んだり行事に取り組んだりする経験がもてず、協調性も育たないと思います。その結果相手への思いやりに欠ける子や、集団に入ることができない子どもたちをうんでしまうのではないのでしょうか。また、保護者が求めるものは長時間の保育です。私は専業主婦ですので、就労や介護認定を受けている親の世話はしていません。しかし、娘が幼稚園児の時は自営の手伝いや病気、老老介護をしている家族の手伝いなどで忙しく14時に迎えに行くのが本当に大変でした。今のお母さんたちはワンオペで育てている方が多いと思いますので本当に大変だと思います。台東区は23区の中で一番面積が狭い区のように思いますが、区立幼稚園の数が多いように思います。私が育った練馬区は今現在一つのように思っています。是非他の区を参考にしてみてください。私は区立幼稚園を減らし、その人件費で長時間見られる方を起用する方向に持って行って頂きたいと思っております。</p> | <p>共働き世帯の増加や核家族化の進行などにより、長時間保育にニーズが移行している一方で、幼稚園に対するニーズも一定数存在することが、次世代育成支援に関するニーズ調査結果から確認されています。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |
|    | 403 | <p>幼稚園の土地、建物を住民のために有効活用してほしいです。新しい保育園を建設するならば、幼稚園の建物の一部を保育園として利用の方が経済的です。私立保育園を誘致すれば収入も見込めます。私立保育園以外にも、民間企業に幼稚園の施設を貸し出しても良いかと思えます。貸し会議室、リモートワーク用オフィス、幼児向け各種教室に使えるのでニーズはあるのではないのでしょうか。</p> <p>個人的には、幼稚園の施設で保育園のサービスを提供してほしいです。現在2歳の子供が保育園に通っています。保育園のサービスには満足していますが、環境（ビルにある保育園で園庭なし、室内も狭い）には満足していません。子供を近くの幼稚園にあるような広い園庭で遊ばせたいですが、保育園の施設はどこも幼稚園の施設ほど広くないので無理なのが残念です。</p>   |   |
|    | 404 | <p>幼稚園と石浜橋場こども園の幼稚園機能は異なると思います。税金が無駄遣いされてると思っております。</p>  |   |



| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|----|-----|--|---|
| 全般 | 405 | <p>区立幼稚園の園児数が少ない今、早急に合併等の対策もするべきだと思います。</p> <p>個人的な意見になってしまいますが、子供にはたくさんの経験をさせてあげたいと思っています。しかし人数の少ない園ではできる事が限られ、更にお手伝い等の分担が難しく親の負担も増える事になると思います。実際に今通っている園は人数が少なく、運動会・こども会等、人数が足りなくてできない事が多いのが見て分かります。</p> <p>合併により通う園が多少遠くなったとしても、より良い経験をさせてあげられるのであれば私はその方が良いと思っています。</p> <p>合併に反対の意見もあると思いますが、園児数は年々減っているのはデータとしてあり、数年で何倍にも増える事はないかと思っています。園児数の増加傾向が何年も続いた時にまた対策を考え、今やるべき事は今いる子供達により良い環境を整えてあげる事だと思います。</p> <p>不確定なことを理由に現状のままですと、少なくとも私は自分の周りの人や将来子供達が大人になった時に台東区の区立幼稚園を勧めることは出来ません。そういった方が他にもいらっしゃる場合、更に園児数が減って行くと思います。</p> <p>しかし現状をより良くする為の動きがあれば、台東区は今いる園児の事もしっかり考えてくれているのだと分かると思えます。</p> <p>そして合併等によりお金の面でも余裕が出来るのであれば、送迎バスなどを用意する事により、家から幼稚園が遠くても通いやすくなるのではないのでしょうか？(利用者は有料など)</p> | <p>共働き世帯の増加や核家族化の進行などにより、長時間保育にニーズが移行している一方で、幼稚園に対するニーズも一定数存在することが、次世代育成支援に関するニーズ調査結果から確認されています。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|----|-----|--|---|
| 全般 | 406 | <p>区内で来年度 3 歳児入園を迎える子どもは何人くらいいるのでしょうか。近年、子どもの数が減っているにも関わらず保育園数の増加を頓に感じますが、その点は区としてどのように計画されたのでしょうか。保育園数が増加し、希望者が大方保育園に入園することができるようになった後、区立幼稚園で延長保育を始められても、一度保育園に入園すればやはりなかなか転園まではしないように感じます。そういった状況の中で、今回の学級開設基準人数増加では、近い将来閉園となる区立幼稚園が多くなるかと思えます。もしそれを既に予測されていたとすれば、今回の閉園基準はひどく乱暴なものに感じます。閉園を念頭に入れるならば、全園アンケート「お子様の入園先に区立幼稚園を選択した理由を教えてください。」の回答にある、「併設小学校と連携した活動があるから・自宅から近いから」という、計 45.9%にもなる意見をくみ取って、慎重に計画を進めなければならないのではないのでしょうか。もし仮に、富士幼稚園・金竜幼稚園・大正幼稚園・千束幼稚園をいう、比較的近くに集まっている 4 園全てで閉園が決まった場合、自宅近くに幼稚園が無いという家庭がたくさんあるのではないのでしょうか。</p> <p>また仮に、先述 4 園のうち 3 園が廃園となった場合、残り 1 園の人数が増え、その併設小学校への入学希望者が大幅に増加することも考えられるのではないのでしょうか。幼稚園は、その先の小学校にも大きく関わってきます。今一度、閉園が子どもたちに与える影響はもちろんのこと、地域やその先の学校教育に与える影響も合わせて熟考して頂きたいと思えます。</p> <p>「一部の園では園児数が少なく、集団生活や友達づくりに不安を感じるため」が幼稚園を第一希望としない理由の 8 位として挙がっています。「今後の対応」が、区立幼稚園の魅力を高めるものであるならば、その結果を見てから学級編制基準見直しを計るべきであり、同時の閉園検討は尚早だと、強く思います。同アンケートで 13.6%もの回答を占める、「幼稚園のことがよくわからないため」という点にも、ぜひ区を上げて取り組んで頂きたいです。今回の対応策で、時間やお弁当といった物理的障壁をできるだけフラットにした上で、保育園か幼稚園かを</p> | <p>新たな学級編制基準の適用時期について、預かり保育（定期利用）非拡充園は、実施後の浸透期間も考慮して、令和 9 年度入園分からの適用と変更します。</p> <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力を十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> <p>なお、万が一、閉園を検討する際には、0～5 歳の就学前人口や周辺の幼稚園の分布状況等、様々なデータを基に総合的に判断いたします。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|----|-----|--|--|
| 全般 |     | 考えられることが、「変化する保育ニーズに柔軟に対応していく」ということになるのではないのでしょうか。   |  |
|    | 407 | <p>区立幼稚園は私立と違って送迎バスがありません。保護者はみんな、色々な手段を駆使して園まで子どもたちを安全に送り届けています。</p> <p>身近な区立幼稚園が閉園してしまったら自転車での送迎が増え、保護者の負担も増え、交通事故も増えるかもしれません。そうなった場合、区は責任をどう取られるおつもりですか？</p> <p>送迎バスを設置することまで考えているのでしょうか？</p> <p>どうか、子どもたちの幼稚園を閉園させないでください。自分たちの幼稚園がなくなってしまうのはとても寂しいことです。よろしくお願い致します。</p> | <p>万が一、閉園を検討する際には、0～5歳の就学前人口や周辺の幼稚園の分布状況等、様々なデータを基に総合的に判断いたします。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>              |
|    | 408 | <p>就学前の子供様の減少が見られ、親子様の生活スタイル(共働き)など変化しています。保護者のニーズに合わせた形態に移行が必要と思われる。</p> <p>未就園児も対象にして園児数を増やし、それに対する職員の配置をするべきと思います。地域に根差した見守りと子育て支援が出来ると良い。</p>  | <p>預かり保育(定期利用)の全園実施や弁当給食の本格実施について令和7年度より実施してまいります。今後、変化する保育ニーズに柔軟に対応できるよう、より良い園運営に努めてまいります。</p> <p>また、満3歳児保育の実施については現時点では考えておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|----|-----|---|--|
| 全般 | 409 | <p>現状の少人数保育は、手厚い対応をしていたでいて、とても満足しております。ただ、現実的に考えて、学年が上がるに連れて集団活動をするには、人数が少ないことは良いとは言えないとも実感しております。子供の人数が減っている以上、統廃合は避けて通れないと思いますが、4月時点で人数が集まらないクラスは開園出来ないと言うのは、兄弟で通わせたい保護者にとっては、絶望的な状況です。上の子供が入園して、翌年、年子の子供のクラスが開園出来ないとなると、兄弟で別の園に通わせたり、上の子供を転園させたりと、保護者だけでなく、子供にも多大な負担を強いることとなります。</p> <p>また、それを避けるために、人数がギリギリの園は上の兄弟の入園時から避けて選ぶ保護者も出ると思いますし、入園してからも不安を抱えながら通園することになります。統廃合が避けられないのであれば、4年以上前から廃園のお知らせをし、それを参考に、保護者が安心して幼稚園を選べるようにしていただきたいです。廃園が決まっても、自宅との距離や兄弟が通っていることを理由に廃園予定の園を選択する保護者もいると思います。</p> <p>また、廃園を決めるにあたっては、区立幼稚園であることを理由に、近隣幼稚園・こども園との立地も考慮して、園を決めていただきたいです。</p> <p>個人的な意見になりますが、小学生になる前に、保護者と一緒に日常的に荷物を持って自分で歩くことは、子供の交通安全意識と親子のコミュニケーションにとって、とても良い影響があると感じております。すべての子供が毎日徒歩で通うことは難しいと思いますが、出来るだけの配慮をお願いしたいです。</p> | <p>万が一閉園を検討する際には、0～5歳の就学前人口や周辺の幼稚園の分布状況等、様々なデータを基に総合的に判断いたします。</p> <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|----|-----|--|---|
| 全般 | 410 | <p>説明会で入園児童が2年連続で9名以下だと閉園と聞きました。一度閉園にすると再設立は困難だと思いますが、同時に園児を増やすための政策がまだ不十分に思います。幼稚園だけでなく行政でも公立幼稚園の利点や情報をもっと発信して頂きたいと思います。仕事を持つ保護者のために給食、預かり保育は必須です。公立幼稚園での給食の提供や一部でも預かり保育があることを知らず保育園や私立に決める保護者も有ります。公立の利点としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校と隣接や併設しているので、小学校との連携、交流があり、学校にも慣れ親しんでいる。</li> <li>●様々な環境の児童が入園しているので（多様性）、3年間の間に 思いやり、いたわる、助け合うなど自然に身につけていると感じられる（入園・行事・卒園を見て）。</li> <li>●オープンスペースでの遊びはクラスが少人数でも、年少から年長まで合わせると 20人以上となり、集団での遊びが出来、それなりに成果があると思う。</li> </ul> <p>人生の土台としての幼稚園教育、設備の整った広い（都心としては）施設で伸び伸びと遊びや友を通して学ぶことは、小学校での教育にすんなりと移行できると思います。また、地域の人々との交流、国や地域の文化などにも触れるイベントもあります。</p> <p>コロナで中止になったこともありましたが、学校運営連絡協議会委員としてほぼ15年行事と一緒に弁当を食べるなど参加して感じた思いです。</p> <p>毎年のやっとな親離れの児童から友達を手助けできるようになった卒園生まで、大きな成長を感じる素晴らしい公立幼稚園の教育と思います。</p> <p>他区の公立幼稚園の実態、幼児教育の行政方針も比較検討し優れている点は採り入れ進めて頂きたいと思います。</p> <p>また、区外であっても近隣なら入園可能にしてはどうかとおもいます。</p> | <p>区立幼稚園の良さや特色をしっかりとしながら、今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>また、他自治体の取り組みなども参考にしながら、今後の施策を検討してまいります。</p> <p>なお、現時点では、区立幼稚園の申込資格である区内在住という要件について緩和することは検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |

| 分類 | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|----|-----|---|---|
| 全般 | 411 | <p>課題をまとめるのは大事ですが、そもそも根本的に幼稚園ができることは複数あります。閉園にする前に預けられる家庭が増えるよう、区が他の自治体を見習って改善して欲しいです。資料にもありましたが、・預かり時間伸ばす・給食を出す</p> <p>・兄弟を優先的に入れる、これだけでも閉園は防げるはず。学童とかも異年齢保育でもいいのではないのでしょうか。とにかく入園までのハードルが高すぎる。条件が厳しい。が結論です。</p> <p>分析されていてもその分析が活かされ整った環境に幼稚園にはない事が原因なんではないのでしょうか。またこの取り組みの決着者の年齢はおいくつですか。この現状を分かる世代、環境にある方を役員、担当者として選出していないように思います。そうでなければこのような事は起きないはず。古い考えのお持ちの方々が仕切るのではなく次世代交代で新たな方々が見直して欲しいです。</p> <p>話は戻りますが、正社員や契約社員の働き方だと先ず預けるのが無理ですし、保育園と足並みを揃えてみてください。私たちは幼稚園に入らないのではなく、入れないのが現状です。共働きが大半のこのご時世で資格ない。って言われてるようなもんです。また、他にも意見を聞くと兄弟いるだけでも条件厳しくて入れないという話を聞きました。(台東区在中です)入園対象者が狭き門すぎる。</p> | <p>質の高い幼児教育の実践をはじめ、預かり保育（定期利用）の全園実施や弁当給食の本格実施など保護者ニーズに対応した施策を展開するとともに、区立幼稚園の魅力をも十分に発信して、園児数の確保に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |
|    | 412 | <p>・定員 10 名未満の場合、開園しない、2 年連続した場合は閉園について</p> <p>→今年年少で入園しました。来年度以降そのようになった場合、子どもたちは残りの 2 年を今の同学年の人数のみで過ごすことになるのでしょうか？子どもには色々な体験をして欲しいですし、卒園まで同じ幼稚園で過ごしてほしいと思います。</p> <p>個人的な意見ですが、息子は発達障害があり、入園前の 1 年間にプレに通わせて、場所に慣れ、先生に慣れることから始めました。環境の変化に対応するのは定型の子よりも難しく、ストレスがかかります。卒園までは同じ幼稚園で過ごさせてあげたいです。</p>   | <p>万が一、学級編制が出来ない場合でも、該当園の在園児に対して、幼児教育の質が低下することがないように、教育活動に取り組んでまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>                                    |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----|-----|--|--|
|     | 413 | ほとんどの小学校に幼稚園がくっついているので、蔵前小にも欲しい。場所がきついかもしいが、校内、またはくっついているくらいに欲しい。蔵前小は児童数が多いので、そのままあがれる(慣れている)近隣に子供が多いと思う。  | 区内の就学前人口の減少や区立幼稚園の定員に対する充足率の低下から、現時点で区立幼稚園の新設は検討しておりません。現在設置している園を適切に運営し、子供たちを受け入れてまいります。                  |
|     | 414 | 3 ページ「区立幼稚園の所在地」について、北部地域には比較的多くの幼稚園が所在する一方で、南部地域にはいささか少ないように感じられる。とりわけ人口増加が著しい蔵前小学校の学区に区立幼稚園がないのは、ことぶきこども園や私立蔵前幼稚園があるにせよ、あまりにバランスが悪いように感じられるがどうか。   |  |
|     | 415 | 夫婦共働きのため、長時間の預かりに対応した区立幼稚園の設立を希望します。台東区で子育てをするために、選択肢を増やしていただくようお願いいたします。  |  |
| その他 | 416 | <p>区の垣根を越えられないでしょうか。文京区では私立幼稚園もバスなし、給食なし、がほとんどなこともあり、預かり保育もある区立園が抽選になるほどの大人気です。「区立は先生の質も高いからオススメだ」という話も聞いていました。台東区は抽選なしで区立に入れるという話をしたら羨ましがられました。</p> <p>道路一本隔てただけで他の区の子が入園できないのはいかがなものでしょうか。区立だから仕方がないことなのかもしれませんが、特定範囲内なら入園できるなど、もう少し融通を効かせることが地域のためになると思います。</p>     | 区立幼稚園の申込資格である区内在住という要件について、現時点で緩和することは検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。                                   |
|     | 417 | 公立園を統廃合するのであれば、私立園の園バスルート工夫するように区から援助してほしい。幼稚園はただ預ければよいということではなく、家庭の方針や雰囲気合った園を選べるように複数の選択肢があることが大切だと考える。例えば私立園の中で比較的園庭が広い寛永寺幼稚園のバスルートは南部地域をカバーできていないと聞いているし、浅草寺幼稚園は園バスがないので、南部地域からは選びづらい。また園バスがある園はルートをホームページで公開するよう指導してほしい(細かいルートの公開が無理なら、大まかなカバー範囲を地図で示すなど工夫してほしい)。 | <p>私立幼稚園は、区の就学前教育・保育の一翼を担う重要な存在です。</p> <p>保護者が様々な施設から選択できるよう、私立幼稚園と連携を図り、区全体の就学前教育・保育の質の向上に取り組んでまいります。</p> |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| その他 | 418 | <p>そのまま併用される小学校に学区外でも入学できるような枠が欲しいです。</p> <p>区立の幼稚園は併設の小学校との交流が盛んにできており、こども本人も就学への心構えがしやすいし、その枠の為に入園を検討する人は増えると思います。</p>   | <p>学区域内の就学前人口の推移や学校の教室数等をもとに、指定校変更を制限している小学校があり、指定状況は流動する可能性があります。</p> <p>そのため、併設小学校学区域外から通う園児の就学枠を設定することは困難です。</p> <p>募集案内時に、学区域に関する説明を丁寧に行ってまいります。</p> |
|     | 419 | <p>大正幼稚園を卒園した園児は、学区に関わらず大正小学校に入学できるなどの優先権を得られるといいと思います。馴染みのある校舎でそのまま過ごせるのはメリットですし、幼稚園児と交流をもってくれる小学生との関わりもより深くなると思います。</p>  |  |
|     | 420 | <p>隣接している小学校に優先的に入学できる制度があるといいと思います。</p> <p>幼稚園で遊びの時間に小学校の校庭、体育館、ドーム（屋上）を貸してもらえてとても楽しいと子どもから聞いています。慣れた校舎でまた小学生になっても遊べるのが楽しみとも言っています。</p> <p>学区内でも学区外でも隣接しても幼稚園に入ったらそのまま入学できるシステムがあればいいのになと思いました。</p>               |  |
|     | 421 | <p>小学校は学区制ではあるが、区立幼稚園から隣接小学校への優先入学制度があると、区立幼稚園の大きなアドバンテージになると思う。</p> <p>弁当給食の無償化や預かり保育全園実施の実施、子育て世代として非常に嬉しく思っております。台東区立幼稚園の良さがもっと未就園児の保護者に届いて、入園先の選択肢になれば入園希望人数は増えると思います。</p> <p>台東区がより子育てしやすい環境になる事を願っております。</p> |  |
|     | 422 | <p>幼稚園と小学校は併設されている所が多いと思うので、通っている幼稚園の隣の小学校にそのまま入れるようにして欲しいです。（もし人気の小学校に集中するという意見があるとするなら、そういう特典をつければ保育園から幼稚園に転園する子も増えるかもしれません。</p>   |  |



| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| その他 | 423 | <p>区立幼稚園の魅力を増やす施策（隣接小学校への入学許可）を行っていただきたいです。</p> <p>区立幼稚園では日常において隣接小学校と緊密な連携をとっており、幼稚園から小学校への切れ目ない円滑な接続が可能となっており、区立幼稚園の大きな魅力となっています。</p> <p>園児数が減少する中で、区立幼稚園の存続のためにも、区立幼稚園から隣接区立小学校へは指定校制度や学区割に縛られず入学が許可される仕組みを整えていただきたいです。（兄弟在学中、と同様に「隣接区立幼稚園に通学」も指定校変更の許可要件に加えていただきたいです）</p> <p>※学区割の規定のために、目の前にある馴染みの隣接小学校への通学を断念せざるを得ない卒園児をなくしてほしいです。</p> | <p>学区域内の就学前人口の推移や学校の教室数等をもとに、指定校変更を制限している小学校があり、指定状況は流動する可能性があります。</p> <p>そのため、併設小学校学区域外から通う園児の就学枠を設定することは困難です。</p> <p>募集案内時に、学区域に関する説明を丁寧に行ってまいります。</p> |
|     | 424 | <p>台東区立幼稚園の良さは、併設している公立小学校との交流があげられます。その良さを最大限活かせるように、来年度からでも学区域によらず、併設幼稚園から併設小学校に確実に上げられるように制度を見直ししてほしいと思います。清島幼稚園で色々上野小学校と交流しても、学区域が異なるため松葉小学校や大正小学校に入学するという事例が毎年のようにあります。</p>   |  |
|     | 425 | <p>小学校への円滑な接続については、せっかく区立幼稚園に通っているのに学区が違うだけで併設の小学校へ入学できないのは納得しかねます。</p> <p>せめて、学区外であっても幼稚園に通っている園児は併設小学校へ入れるようになれば、区立幼稚園を選ぶきっかけ、選択肢の一つになるのではないのでしょうか？</p>  |  |
|     | 426 | <p>学区外に住んでいても併設している小学校に入学できる枠などが幼稚園独自であれば、私立の幼稚園や保育園にはない十分な魅力となり入園数は増えると思う。実際越境したいが難しいという声も聞くため。</p>   |  |

| 分類  | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-----|-----|---|---|
|     | 427 | <p>いつも思うことですが区外の園児も受入れられないのでしょうか?子どもたちが根岸幼稚園を経て根岸小学校に行ったのですが、何人かの保護者から「家は荒川区なので根岸幼稚園には通わせられなかったんです。小学校と関わるから行かせたかったのですが」と言っていました。ここが改正されると園児が増えそうですが、小学校の越境と違って幼稚園は難しいのでしょうか?預かり&amp;給食の実現も素晴らしいですが、もう一押しするとしたら、その改善と小学校との連携部分をうまく未就園児保護者に説明できれば根岸幼稚園良いなってなるかなと思いました。</p>                                 | <p>区立幼稚園の申込資格である区内在住という要件について、現時点で緩和することは検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>   |
| その他 | 428 | <p>定員の引き上げにより、区立幼稚園の削減を念頭に置いたものと受け取れます。園児の減少により、募集停止もしくは閉園という処置はやむを得ない事と考えます。</p> <p>しかしながら、記載されている定員の引き上げ理由を読み解くと、変更する必要があるのか?と、疑問が残ります。兄と妹が別々の幼稚園に通園する、別の幼稚園に転園する等になると、保護者家庭にかなりの負担増が推定されますので、慎重な判断が必要と考えます。</p> <p>付きましては、再度説明会を開催するべきと思います。その際、父兄の参加も促すべきと思いますので、土曜日または日曜日での開催を考慮して頂きたいお願い申し上げます。</p> | <p>園児数が減少しており、現状のままでは集団教育の質の低下につながりかねないことから、今回、区立幼稚園の今後の対応をまとめました。</p> <p>広くご意見を頂くため、パブリックコメントの実施に併せて、区立幼稚園全保護者への周知、各園やPTA 連合会への説明会など実施したところです。</p> <p>現時点では追加の説明会は予定しておりませんが、今後もホームページ等で対応策の周知に努めてまいります。</p> |
|     | 429 | <p>現在、孫が区立幼稚園に通っています。来年度には下の兄弟も入園を控えています。学級編制基準が10名に引き上げになる事に危機感を覚えています。プレ保育に来ている児童も10名以下と聞いています。在園児が少ない園に対してはかなり高いハードルだと感じました。</p> <p>在園児が少ないとPTAの負担についてもネックになると思います。近年ニュースでも話題になっていましたが、大きく改革をしないと子育て世代の理解は得られない時代です。PTAの廃止をご検討お願い致します。</p>   | <p>頂いたご意見については、各園と共有し、子供たちのためのPTA活動のあり方や負担軽減に向けての方策など検討してまいります。</p>   |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----|-----|--|---|
|     | 430 | <p>PTA 活動の負担について。働く親が増えてきたこと、園児数が減少したことによる一人への負担増加により、仕事と PTA 活動の両立が大きな負担になっていると感じます。実際、上の子が卒園した家庭でも、PTA が無ければ下の子も入園させるんだけど…大変だから保育園又はこども園等に入園することにした…という話をよく聞きます。PTA 活動の一部だけでも外部に委託する等できないのか検討していただきたいです。働く親のために預かり保育を充実させる、しかし PTA 活動の負担により仕事との両立が難しい、というチグハグなことが起こっていると感じます。</p> <p>PTA は母親にとって凄く負担で嫌遠される大きな原因になっているので(母親同士の会話や、入園以前の児童館等での母親同士のコミュニケーションの場でも、本当にとってもよく話題に出ます)その負担が減るだけでも入園希望者は大きく増えると思います。</p> | <p>頂いたご意見については、各園と共有し、子供たちのための PTA 活動のあり方や負担軽減に向けての方策など検討してまいります。</p> |
| その他 | 431 | <p>また最近では小学校の PTA 活動を外部注文するところも増えてきていると聞き及んでおります。</p> <p>幼稚園に通園されているご家庭でも共働きが増えていたり、あるいは働きたいけど幼稚園の PTA 活動に負担を感じる保護者の方もいらっしゃるかと存じます。</p> <p>従って、各幼稚園の判断で PTA 活動を外部注文する選択肢も用意していただけると幸いです。</p> <p>いろいろ意見を申しましたが、今の台東区の現状を考慮いただけましたら幸いです。</p> <p>何卒よろしく願いいたします。</p>   |   |
|     | 432 | <p>【PTA の在り方・平日の集まり・振替休日】</p> <p>専業主婦が担う時代はもう終わっており、働きながら参加が可能な簡素化した体制へ。PTA の存在により幼稚園にアレルギーを持っている親御さん達をよく見ます。平日の PTA 会合や振替休日はフルタイム正社員や職業柄時間や休みに融通があまり利かない方にとってとてもハードル高く感じます。</p>   |   |
|     | 433 | <p>PTA 活動において、共働き世帯の増加や園児数の減少等環境が変わってきている中、保護者の負担が大きくなってきている。PTA 活動の負担軽減のため、今後の活動内容や方法等の見直しもしていただきたい。</p>  |   |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| その他 | 434 | <p>親子参加行事と PTA 活動の見直し<br/> まず、働く親にとって、幼稚園通園を選択する上でネックとなるのは、預かり保育の時間帯に加えて、親のコミット度が高いという点です。保護者関連の会合、親子参加の行事、さらに PTA 活動もあり、こうしたことが幼稚園という選択を躊躇させる一因になっているのではないのでしょうか。</p> <p>私自身、幼稚園入園前に上記の点について問い合わせた所、参加必須の行事は年に数回程度、PTA はできる範囲内で、という内容の回答でしたが、実際には毎回参加を断ることの心理的負担や親子行事に子どもだけを参加させることへの抵抗から、結果的に仕事を休む機会も多く、調整に苦慮することもありました。また PTA については、古くからの慣習的な側面が強く、現代の事情にそぐわない事案も多いため、こうした点を踏まえると、親子参加行事の削減、PTA のスリム化・廃止も検討に値すると考えます。</p> | <p>頂いたご意見については、各園と共有し、子供たちのための PTA 活動のあり方や負担軽減に向けての方策など検討してまいります。</p> |
|     | 435 | <p>PTA 活動が働いている保護者にとって負担になっている。働いていない保護者に PTA 活動を頼り切るのも違う気がする。外部委託などを行い子供達に対する行事の数は減らす事なく、行えないか。</p>   |   |
|     | 436 | <p>預かり保育によって労働者が区立にも多く集まった場合、非労働者が PTA 役員等を引き受けることが多くなりそうだなと思う。役員を引き受けても負担にならない程度の活動に制限してもらいたいです。</p>  |   |
|     | 437 | <p>PTA 活動ももっと簡素化されれば更に有難い。</p>   |   |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| その他 | 438 | <p>現在年中の子どもがおります。小学生の兄は保育園出身です。共働きが増えている環境下、保育園のニーズが高まり、預かり時間が延長されるのは当然かと思われます。一方幼稚園の問題点としては、保護者の業務が多いことだと思います。</p> <p>保育園時代、保護者の参加は運動会、発表会、遠足、保護者会のみであり、年に5回程度でした。幼稚園はPTA活動が多すぎると感じます。【PTA総会、広報誌、ベルマーク、観劇会、バザー、お茶会×2回、家庭教育学級×2回、運動会リハーサル、準備、片付け、式典の準備、片付け】これらは保育園に一つもありませんでした。幼稚園には名もなき家事のようなものがたくさんあり、それらは保護者の無償の働きのうえに成り立っています。パートで働いて保育園に預けることが一番負担が少ないとも聞きます。</p> <p>しかし、幼稚園は教育の質が高く環境が良いのです。子どもにとって幼稚園で生き生きと園庭で遊び工作をし、併設の小学生と交流することは素晴らしい経験です。これらは保育園に出来ないことも多いです。小学校入学への準備期間としては最適な場所と考えます。</p> <p>幼稚園か保育園かを選択するのは保護者なので、子どもにとって素晴らしい場所である幼稚園をPTA活動の多さから敬遠されては元も子もないと考えます。伝統は大切かと思いますが今後、園の存続が危ぶまれる現状であれば、一度PTAの見直しが必要かと思ひます。</p> | <p>頂いたご意見については、各園と共有し、子供たちのためのPTA活動のあり方や負担軽減に向けての方策など検討してまいります。</p> |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| その他 | 439 | <p>園児数減少の背景に、PTA 活動が負担だという声も耳にします。預かり保育を増やし、ワーキングマザーに優しい場所になったとしても、変わらず PTA 活動があることは、相反することだと思います。現在の区立幼稚園に預けているくらいですから、働いていないお母さん方も割合として比較的多いと思います。その中で PTA 活動をすると、働いているお母さんはとても片身が狭いです。</p> <p>「自分の子供のためなのに、なんで参加しないの?」と言う声は、小学校や中学校の PTA でも耳にします。幼稚園ならなおさらだと思います。</p> <p>預かり時間が保育園以下、且つ PTA 活動も活発な区立幼稚園は、今の共働きの親御さん達が預けたい場所でしょうか。</p> <p>PTA 会費の使われ方も様々なようで、園の方にも研究費的な名目で渡しているお金があると思います。それも、各園バラバラです。これは、園が必要としている経費でしょうか? それならば公的な費用になるはずですが。</p> <p>内情は、たぶん一部の PTA 役員しか知り得ないものですが、お金の面に関しても、今一度問いただす方がいいと思います。</p> <p>区立幼稚園 PTA 連合会にしても同じです。教育委員会をお招きして様々な会を開いたりしていましたが、費用も手間もかかるものです。それを今後もしていかねばならないのでしょうか。</p> <p>知れば知るほどにしがらみが多く、「何かをやめる」ことから始めないといけないと思います。どれだけ環境を整えても、内部を変えることをしないと選ばれないのではないかと思います。</p> | <p>頂いたご意見については、各園と共有し、子供たちのための PTA 活動のあり方や負担軽減に向けての方策など検討してまいります。</p>   |
|     | 440 | <p>台東区は子育て支援が少ない。</p> <p>建てられているマンションを見てみると、ファミリー向けが少ない。(台東区が建築許可を出しているので、ファミリーマンションには支援するなどもいいと思う)</p> <p>土地の高騰もあり、共働きでも台東区で家を購入するのが難しくなっている。隣の荒川区の方が安いことが多いので、荒川区に住みたくなる。</p>  | <p>区ではこれまでも、学校給食の食材調達の全面支援や幼稚園・保育園等の給食費等無償化を恒久化する取り組みや子育て世帯住宅リフォーム支援、全ての産婦を対象とした 5 万円の助成など様々な子育て支援策を実施しています。</p> <p>引き続き、本区を取り巻く環境変化を十分考慮しながら、子育て支援の充実に取り組んでまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |

| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| その他 | 441 | <p>谷中地区の場所を考慮してほしいと感じます。台東区の中でも他の地域と違い上野の山があり、近い幼稚園に行くにも上野に上がり鶯谷に降りていけないといけません。障害児児童の受け入れ、外国人の方の受け入れなども区立幼稚園の重要な点とあげられているのに、受け皿が地域になくなるのは矛盾していると思います。</p>  | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。<br/>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>   |
|     | 442 | <p>区立幼稚園の預かり時間の短さ、PTAの煩わしさ、金銭面の優遇、利用年齢など、保育園に比べて需要がない事は明らかだと感じています。そんな中、募集停止や閉園の案が出るのも当然だと思います。</p> <p>もし令和7年度以降の既定人数に満たない園がクラス編制を行わない事が覆らないのであれば、区立幼稚園として運営するのではなく、現在の施設は継続して保育園やこども園として、親と子供達の為の場所として残して欲しいです。</p> <p>恵まれた幼稚園の環境・施設を子供の為に残して欲しいです。</p> | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。<br/>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>  |
|     | 443 | <p>社会の風潮的にも幼児教育に力を入れたいと思うご家庭が増えており、英語・体操・リトミックなどの課外学習が私立園では取り入れられていることも人気の理由に加わっているのではないのでしょうか。(浅草寺幼稚園は園長保育がないのにも関わらず園児が多いのはネームバリューも大きいかと思いますが…)</p> <p>現在は認可保育園でもリトミック・英語・体操の課外学習等は取り入れていますので</p> <p>区立幼稚園でもそのような外部講師による教育活動があると良いのではないのでしょうか。</p>      | <p>区立幼稚園では、教員が様々な研修を通じて専門性の向上を図りながら、「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づき、幼児教育を実践しています。</p> <p>また、区の事業を活用して全園で体操教室を実施するとともに、園の教育目標に応じて英語教育を取り入れている園もございます。</p> <p>現時点で、外部講師による教育活動は検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> |

| 分類  | 項番  | 意見  | 区の考え方  |
|-----|-----|---|--|
|     | 444 | 園での通常保育終了後そのまま課外保育などが欲しい。例えば体操、ピアノ、書道、美術、英語などプラス料金が発生してもやりたい。   | 区立幼稚園では、教員が様々な研修を通じて専門性の向上を図りながら、「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づき、幼児教育を実践しています。<br>現時点で、教育時間終了後の課外学習の実施は検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。                   |
|     | 445 | 以前に比べて子供のニーズも多様化し、それに対応するために職員側の研修なども増えてきているのではないのでしょうか。業務の持ち帰りや休日出勤などが発生しているのではと懸念しています。余裕のある人員配置、適切な昇給などで、現場の方々をサポートする仕組み作りをお願いします。   | 現在、区教育委員会では、持続可能な教育環境の整備に向けて、台東区立学校園における働き方改革に取り組んでいます。<br>引き続き、教職員が働きやすい環境づくりを推進し、教育活動の質の向上を図ってまいります。   |
| その他 | 446 | 先生方の行政関係の仕事が多いように思える、とにかく忙しいそうで余裕がない様に見受けられる。幼稚園が子供の為の教育の場であれば、なるべくそこに重点的時間を割いて欲しい。(現場を知らないので、予想的意見で申し訳ないですが、副園長が出張でいないと聞いた時、出張?!と思ひ、区立だと行政への提出物とかも多いのかなと)。申請、報告等が簡略化出来るのであれば先生方の負担が減るのかと感じる。 | 現在、区教育委員会では、持続可能な教育環境の整備に向けて、台東区立学校園における働き方改革に取り組んでいます。<br>引き続き、教職員が働きやすい環境づくりを推進し、教育活動の質の向上を図ってまいります。   |
|     | 447 | バスめぐりんの活用、バスに乗れる利点を生かし遠くからも来られるようにする。   | 現在も、家庭の事情に合わせて、バスを活用した登園を行なっています。今後は一層の周知に努めてまいります。  |
|     | 448 | 学識経験者への意見聴取が2名からというのは少ない印象を受けました。   | 各園の現状確認とともに、園長とヒアリングを実施したうえで対応策を検討して、幼児教育に専門的知見を有する学識経験者2名から意見を聴取して、今後の対応をまとめました。学識経験者からは、区立幼稚園の役割、対応策について貴重な意見がうかがえたと考えています。<br>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。 |



| 分類  | 項番  | 意見   | 区の考え方  |
|-----|-----|--|--|
|     | 449 | 降園時刻後の体操・ダンス・学習等々の教室開設及び民間委託を可能とする。  | <p>区立幼稚園では、教員が様々な研修を通じて専門性の向上を図りながら、「台東区幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」に基づき、幼児教育を実践しています。</p> <p>現時点で、教育時間終了後の課外学習の実施は検討しておりませんが、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>        |
|     | 450 | ・何年後かに募集停止でなくなった幼稚園の場を支援センター等、療育の施設を作る計画をしてほしい。松が谷を希望する子供が多くなり、すぐに対応できない等が増えている。・保護者の相談の場や一時預かり、病児保育も視野に入れて預けられたらと願います   | <p>今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>  |
| その他 | 451 | 小学校との交流があるのがすごく良いとこだと思うので学区外の園児でもその幼稚園に通っていたらそのまま小学校に入学できるようにしてほしいです。小学校の校庭やプールが使用できたり、小学校の子どもたちとの交流があることで慣れている部分も多く、入学するのにスムーズになるかと思えます。保護者同士も知っているのも心強いと思えます。子ども同士も仲の良いお友達と同じ小学校に行けると思うとメンタル的にもすごく良いと思えます。 | <p>学区域内の就学前人口の推移や学校の教室数等をもとに、指定校変更を制限している小学校があり、指定状況は流動する可能性があります。</p> <p>そのため、併設小学校学区域外から通う園児の就学枠を設定することは困難です。</p> <p>募集案内時に、学区域に関する説明を丁寧に行ってまいります。</p> |
|     | 452 | 園児数確保の為に、まず併設の小学校があるなら、その幼稚園に通っている園児は学区域外に居住していても入学 OK にした方がいいと思えます。小学校の定員が増えすぎてしまう様であれば学区域外の場合、小学校まで徒歩 10 分等の条件を設ければそこまで増えすぎないのではと思えます。   | <p>学区域内の就学前人口の推移や学校の教室数等をもとに、指定校変更を制限している小学校があり、指定状況は流動する可能性があります。</p> <p>そのため、併設小学校学区域外から通う園児の就学枠を設定することは困難です。</p> <p>募集案内時に、学区域に関する説明を丁寧に行ってまいります。</p> |

| 分類  | 項番  | 意見  | 区の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| その他 | 453 | <p>我が家は3歳まで保育園に通わせ、4歳から幼稚園に通わせています。共働きなのですが、平日に保護者参加イベントが多すぎます。</p> <p>PTAの活動も本当に必要か疑問に思います。バザーの参加など効率の悪いものが多く、取りやめてもいいのではないのでしょうか。</p> <p>今後幼稚園と保育園の垣根がなくなり、統合されこども園化することになると思われます。今までの慣習を無理に残すのではなく、最新の考えをされてはいかがでしょうか。</p> | <p>頂いたご意見については、各園と共有し、子供たちのためのPTA活動のあり方や負担軽減に向けての方策など検討してまいります。</p> <p>また、今回まとめた対応策を適切に講じて、区立幼稚園のより良い運営に努めてまいります。</p> |